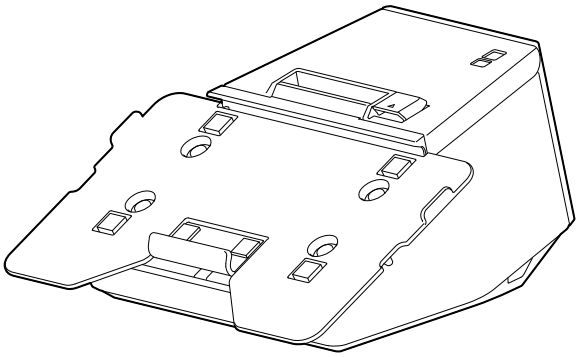
EPSON

TM-m30II-SL

詳細取扱説明書



製品概要

製品の特長について説明します。

タブレットのセットアップ

本製品にタブレットやディスプレイを取り付ける方法を説明します。

プリンターのセットアップ

製品および周辺機器の設置・設定作業について説明します。

専用オプションの使用方法

本製品専用のオプション品の使用方法などについて説明します。

高度な活用法

製品の高度な活用方法について説明します。

アプリケーション開発情報

本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

製品の取り扱い

製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

付録

製品仕様、インターフェイス仕様および文字コード表について説明します。

M00135805
Rev. F

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

Wi-Fi®、WPA ™、WPA2 ™ は Wi-Fi Alliance® の登録商標または商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

Apple, Apple TV, Apple Watch, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. tvOS is a trademark of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Android ™ は Google LLC の商標です。

Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS　コマンドシステム

エプソンは、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済みのものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどのエプソン POS プリンターとディスプレイに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティーもあるため、将来アップグレードが行いやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

©Seiko Epson Corporation 2021–2023

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、以下のような被害が想定される内容を示しています。 • 人が傷害を負う可能性 • 物的損害を起こす可能性 • データなどの情報損失を起こす可能性
注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

警告事項

⚠ 警告

- 本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置したりしないでください。
  内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
- アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 煙が出る、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
  異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
  すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
- お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
- 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。
- 各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
  発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
- 開口部から内部に、金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。

⚠ 警告

- 必ず指定の AC アダプター（PS-180）を使用してください。火災・感電のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
  電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱して火災になるおそれがあります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
- AC アダプターを取り扱う際は、以下の点を守ってください。感電・火災のおそれがあります。
  * 雨や水のかかる場所で使用しない
  * 電源コードで吊り下げない
  * コネクターにクリップなどの金属性のものを接触させない
  * 布団などで覆わない
- ドロアーキックコネクターに、電話線を差し込まないでください。電話回線またはプリンターを破損するおそれがあります。
- 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

注意事項

⚠ 注意

- 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。
- 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。けがのおそれがあります。
  マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
- プリンターカバーの開閉の際は、カバーと本体との接合部（継ぎ目）に手を近づけないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
  * 電源コードを加工しない
  * 電源コードに重いものを載せない
  * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  * 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

オープンソースソフトウェアのライセンス使用許諾文

本製品は弊社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。本製品が利用しているオープンソフトウェアに関する情報は以下の URL からご確認ください。
http://xxx.xxx.xxx.xxx/licenses.html
（xxx.xxx.xxx.xxx はプリンターの IP アドレス）

Bluetooth® インターフェイスに関する注意

電波放射について

電波放射の環境への影響について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けた無線モジュールを搭載しています。本機器に搭載している無線モジュールからは、他の無線機器（たとえば携帯電話など）が放出する電磁エネルギーよりもはるかに低く抑えられています。
ただし、他のデバイスやサービスに干渉の危険があるような特定の環境下では、本機器の使用が建物の所有者や団体の責任者などにより制限されることがあります。空港のように特定の環境下で、無線デバイスの使用が制限されるかどうかがはっきり分からない場合は、電源を入れる前に本機器の使用許可について問い合わせをしてください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI－A

周波数について

本製品は、2.4 GHz 帯の「2.402 ～ 2.480 GHz」にて使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。
この無線機器は、2.4 GHz 帯を使用します。FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20 m です。



本製品使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

本書について

本書の目的

本書は、POS システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要な情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章　製品概要

第 2 章　タブレットのセットアップ

第 3 章　プリンターのセットアップ

第 4 章　専用オプションの使用方法

第 5 章　高度な活用法

第 6 章　アプリケーション開発情報

第 7 章　製品の取り扱い

付録　製品仕様
インターフェイス仕様
文字コード表

もくじ

■ 安全のために 3
記号の意味 3
警告事項 3
注意事項 4
■ 使用制限 5
■ オープンソースソフトウェアのライセンス使用許諾文 5
■ Bluetooth® インターフェイスに関する注意 6
電波放射について 6
■ 本書について 7
本書の目的 7
本書の構成 7
■ もくじ 8

製品概要 13
■ 特長 13
■ 製品構成 15
付属品 15
オプション 15
■ 各部の名称と働き 16
本体正面 16
本体底面 17
パネル LED 18
コネクター 19
オンラインとオフライン 21
■ ステータスとエラー 22
ステータス表示 22
Bluetooth 接続の状態 23
ネットワーク接続の状態 23
エラー 24
■ NV メモリー 25
NV グラフィックスメモリー 25
ユーザー NV メモリー 25
メモリースイッチ（カスタマイズバリュー） 25
R/E（レシートエンハンスメント） 25
メンテナンスカウンター 25
■ 無線 LAN の簡単セットアップ 27
■ スマートデバイスのための便利な機能 28
QR コード 28
■ 複数インターフェイスによる印刷 29

タブレットのセットアップ 30

■ セットアップの流れ 30

■ 取り付け可能なタブレット 31

■ 正面タブレット 32

取り付け可能なタブレットのサイズ 32
取り付け可能なタブレットの種類 32

■ 背面ディスプレイ 34

■ セットアップの準備 35

タブレットの準備 35
ケーブル類の引き回し 35

■ 正面タブレットの取り付け 36

■ 周辺機器の接続 41

■ AC ケーブルの接続 42

■ ロックレバーカバーの取り付け 45

■ タブレットテーブルの交換 46

プリンターのセットアップ 48

■ セットアップの流れ 48

■ プリンターの設置 49

横置き設置の場合 49
縦置き設置の場合 50

■ 紙幅の変更 52

■ 周辺機器の接続 53

■ 無線 LAN ユニットの接続 58

■ カスタマーディスプレイの接続 59

■ 外付けオプションブザーの接続 60

取り付け位置 60

■ キャッシュドロアーの接続 61

キャッシュドロアーの要求仕様 61
ドロアーキックケーブルの接続方法 62

■ 電源の接続 63

AC ケーブルの接続方法 63

■ ホストとの接続 64

USB インターフェイス 64
有線 LAN インターフェイス 64
Bluetooth インターフェイス 64
無線 LAN インターフェイス（OT-WL05/OT-WL06 使用時） 68

■ パワースイッチカバーの取り付け 70

■ ロール紙ニアエンド検出機能の設定 71

専用オプションの使用方法 72

■ OT-DM30SL （カスタマーディスプレイ） 72
OT-DM30SL の取り付け方法 72
画面の輝度調整 76
外装面のお手入れ 76
製品仕様 76
使用制限 77

■ OT-WH30SL（壁掛け金具） 78
OT-WH30SL の使用方法 78

高度な活用法 81

■ ソフトウェア設定 81
機能 82

■ ネットワーク設定 90
設定方法 90
設定の流れ 90
EpsonNet Config によるセットアップ 91
EpsonNet Config（Web バージョン）によるセットアップ 92
arp/ping コマンドによるセットアップ 93
MAC アドレスの確認方法 94

■ 設定 / 確認モード 95
セルフテストモード 97
NV グラフィックス情報印字モード 97
R/E（レシートエンハンスメント）情報印字モード 98
ソフトウェア設定モード 98
初期設定値復元モード 100
インターフェイス設定モード 100
TM-Intelligent 設定値情報印字モード 103
接続デバイス情報印字モード 103
16 進ダンプモード 104

■ ステータスシートの印刷 105

■ インターフェイス設定の初期化 107
インターフェイス設定モードを使う方法 107
ステータスシートボタンを使う方法（参考） 107

■ TM-Intelligent 機能 108
サーバーダイレクトプリント 108
スプーラーと迂回印刷 108
ステータス通知 109

■ ネットワークテザリング（iOS 端末のみ） 110
ネットワークテザリングが使用可能なタブレットデバイス 111
ネットワークテザリングが使用可能なファームウェアバージョン 111
ネットワークテザリングを有効にする 111

接続手順 112

アプリケーション開発情報 114

■ プリンターの制御方法 114
ePOS-Print XML 114
ePOS-Device XML 114
ESC/POS 114

■ キャッシュドロアーの制御方法 115

■ 外付けオプションブザーの制御方法 116

■ ソフトウェア 117
開発キット 117
ドライバー 117
ユーティリティー 118
その他 118
ダウンロード 119

■ iOS 用アプリケーション開発および配布について 120

■ バーコード、2 次元シンボル印刷に関する注意事項 120

■ 証明書自動更新機能 121
概要 121
実施方法 122
動作確認 123

製品の取り扱い 124

■ 電源の入 / 切 124

■ ロール紙のセット / 交換 125
横置き設置の場合 125
縦置き設置の場合 127

■ プリンターの持ち方 129

■ プリンターの輸送 129

■ ロール紙が詰まったときは 130

■ ロール紙カバーが開かないときは 131

■ プリンターのお手入れ 132
外装面のお手入れ 132
サーマルヘッド / プラテンローラーのお手入れ 132

付録 134

■ 製品仕様 134
印刷仕様 135
文字仕様 137

用紙仕様 139
印刷領域 140
印刷位置とカッターの位置 141
電気的仕様 141
環境仕様 142
外形図 143
■ インターフェイス仕様 145
USB インターフェイス 145
ネットワークインターフェイス 146
Bluetooth インターフェイス 149
■ 文字コード表 153
■ モデルの識別方法 153

製品概要

本章では、製品の特長および概要について説明しています。

特長

タブレット一体型プリンター

- iPad や Android 端末などのタブレットを本体に取り付けて使用可能
- タブレットは、上下のホルダーで挟み込むだけで取り付け可能
- 設置方法として横置き、縦置き、壁掛けが可能
- TM-m30II-H を内蔵し、TM-m30II-H と同等の開発環境を提供（NFC タグ機能除く）

印字

- 高速レシート印字が可能（最大印字速度 250 mm/s）
- 紙幅 58 mm 用ロール紙ガイドを使用すると、紙幅 58 mm に対応可能
- 豊富な言語対応（ANK（タイ語含む）/ 日本語（JIS 第 1・第 2・第 3・第 4 水準）/ 簡体字中国語 / 繁体字中国語 / 韓国語を搭載）
- 縦置き設置時に、プリンターから見やすい向きで印刷する、まとめ印刷（180 度回転）機能をサポート

使い勝手

- ロール紙を投げ込むだけの簡単な用紙セット
- 常時接続しているシステムの印刷処理の合間に、別のシステムから割り込んで接続し、印刷処理を行う機能をサポート
- ニアエンドセンサー標準装備 (縦置き設置時のみ有効）
- Ethernet/*Bluetooth*/Wi-Fi それぞれの接続状態を表すインジケーター LED を搭載
- バックフィード時に用紙を押さえる機構を搭載したモデル *1 では、トップマージンを削減しながら連続印刷が可能
- オプション装着用 USB コネクター（Type-A）を 3 ポート装備
- タブレット端末接続用 USB コネクター（USB-A - Device Charging）は最大 2.1 A 供給可能

*1：モデルの識別方法については、153 ページ「モデルの識別方法」を参照してください。

ソフトウェア

- TM-Intelligent 機能を搭載
  - 本製品から Web サーバーに一定間隔で印刷データを要求する、サーバーダイレクトプリントに対応
  - 印刷データをスプーラーに保存できるので、プリンターの状態に関わりなくアプリケーションを印刷処理から解放
  - ネットワークプリンターを登録している場合、迂回処理を実現
    プリンターが印刷できない状態でも、他のプリンターから印刷できます。
  - 本製品から Web サーバーに一定間隔でプリンターのステータスを通知する、ステータス通知に対応
- スマートデバイスのカメラでバーコードを読み取って、その操作をトリガーにして印刷するオペレーションを実現可能

- プリンターを設定するための iOS/Android ™ 版ユーティリティーを提供（Epson TM Utility for iOS/Android）
- 各種バーコード、GS-1 DataBar、2 次元シンボル（PDF417、QR コード、MaxiCode、Composite Symbology、Aztec Code、DataMatrix）の印字が可能
- メンテナンスカウンター機能搭載

環境

- 用紙節約機能搭載

その他

- オプションとしてカスタマーディスプレイ、無線 LAN ケーブルセット、外付けオプションブザー、ハンディスキャナーを装着可能
- プリンターのセキュリティー証明書の登録と定期更新を自動化することが可能（Epson ePOS SDK for JavaScript を利用したアプリケーションソフトで証明書自動更新機能を利用した場合）

製品構成

付属品

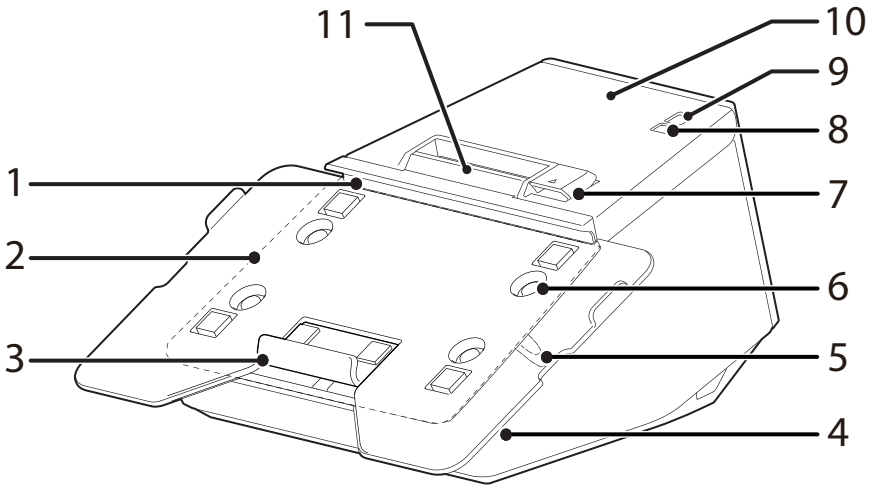
- 紙幅 58mm 用ロール紙ガイド
- 80 mm 幅ロール紙（動作確認用）
- パワースイッチカバー
- AC アダプター（本体内蔵）
- AC ケーブル
- ロックレバーカバー
- ネジ
- タブレットテーブル（大）
- マニュアル類

オプション

- TM-m30II-SL 専用壁掛け金具（型番：OT-WH30SL）
- TM-m30II-SL 専用カスタマーディスプレイ（型番：OT-DM30SL）
- 無線 LAN ケーブルセット（型番：OT-WL05/OT-WL06）
- カスタマーディスプレイ（型番：DM-D30/DM-D70）
- 外付けオプションブザー（型番：OT-BZ20）
- 固定用テープ（型番：DF-10）

各部の名称と働き

本体正面

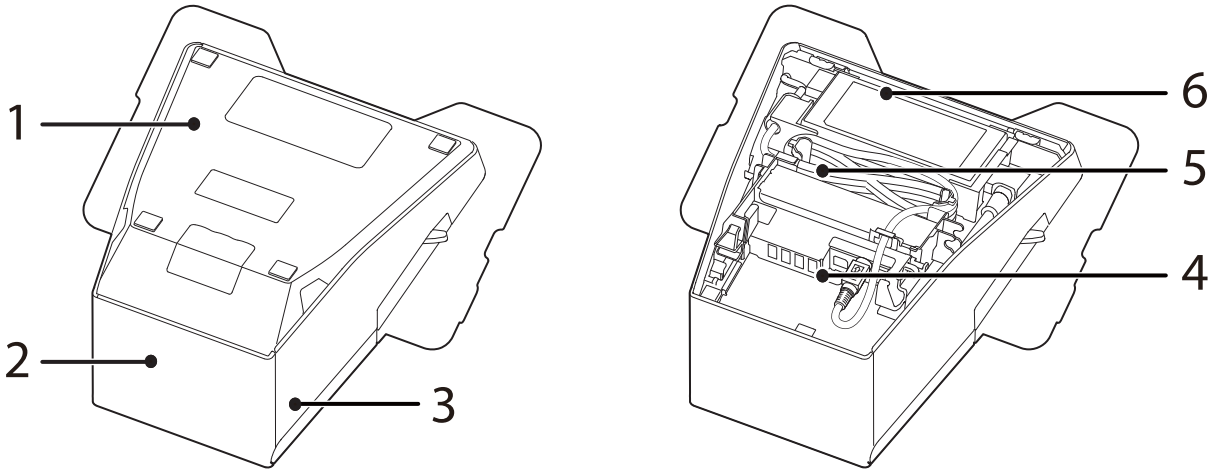


1	上側タブレットホルダー	タブレットの上側を押さえるホルダーです。
2	タブレットテーブル（標準）	タブレットを載せるテーブルです。
3	下側タブレットホルダー	タブレットの下側を保持するホルダーです。
4	セキュリティースロット	盗難防止用のセキュリティーワイヤーなどを接続します。両側にあります。
5	ロックレバー	タブレットを固定するレバーです。
6	ネジ	タブレットテーブルを固定するネジです。
7	カバーオープンレバー	ロール紙カバーを開けるときに操作します。
8	紙送りボタン	このボタンを 1 回押すと、ロール紙が 1 行分送り出されます。押し続けると、連続的に紙が送られます。
9	パワースイッチ	このスイッチを押して、電源を入れたり切ったりします。
10	ロール紙カバー	ロール紙をセット / 交換するときに開けるカバーです。
11	パネル LED	LED の詳細は、18 ページ「パネル LED」を参照ください。

参考

パワースイッチを使わずに電源を切る場合は、電源オフ処理の実行コマンドをプリンターに送ってから電源を切ることを推奨します。それにより、最新のメンテナンスカウンター値が保存されます。（メンテナンスカウンター値は、通常 2 分ごとに保存されます。）コマンドの詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。

本体底面



1	底面カバー	コネクターにケーブルなどを接続するときに外します。
2	背面カバー	コネクターにケーブルなどを接続するときに外します
3	側面カバー	コネクターにケーブルなどを接続するときに外します。
4	コネクター	各種デバイスを接続するためのコネクターです。
5	DC ケーブル	AC アダプターとプリンターを接続して電源を供給します。
6	AC アダプター	プリンターに電源を供給します。

注意

- 必ず指定の AC アダプター（PS-180）を使用してください。火災・感電のおそれがあります。
- AC アダプターの入力電圧とコンセントの電圧が適合しない場合は、AC ケーブルをコンセントに接続しないでください。プリンターが破損することがあります。
- 異常が確認されたときは、すぐにプリンターの電源を切り、AC ケーブルをコンセントから外してください。
- AC ケーブルは、本製品に付属されているものを使用してください。

パネル LED

パワーLED

- 電源が入っているときは、点灯します。
- 電源が切れているときは、消灯します。
- 電源投入時のネットワーク起動中、電源オフ待機中、ファームウェア書き換え中は、点滅します。

> 注意　電源オフ待機中（パワー LED 点滅中）に、パワースイッチで電源オンさせないでください。正常に再起動できない場合があります。

エラーLED

プリンターが印字できない状態（オフライン中）のとき、点灯または点滅します。

- 電源オン直後、またはリセット直後（オフライン状態）に点灯します。しばらくした後に自動的に消灯し、印刷可能な状態となります。
- エラー発生中は点灯または点滅します。（表示パターンについては、22 ページ「ステータスとエラー」を参照してください。）
- 通常時（オンライン中）は、消灯します。

ペーパーLED

- ロール紙の残量がないときに点灯します。
- ユーザーに紙送りボタン操作を促す場合に、点滅します。

> 参考　ロール紙ニアエンド検出機能を有効にした場合、ロール紙の残量が少ないとき（ニアエンド状態）も点灯します。本機能は、縦置き設置時のみ有効です。
> 設定についての詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。制限についての詳細は、71 ページ「ロール紙ニアエンド検出機能の設定」を参照してください。

Wi-Fi LED

- Wi-Fi に接続されているときは、点灯します。
- Wi-Fi に接続されていないとき、有線 LAN に接続しているときは、消灯します。
- IP アドレスが取得できていない場合など一時的に通信できない状態であるときは、点滅します。

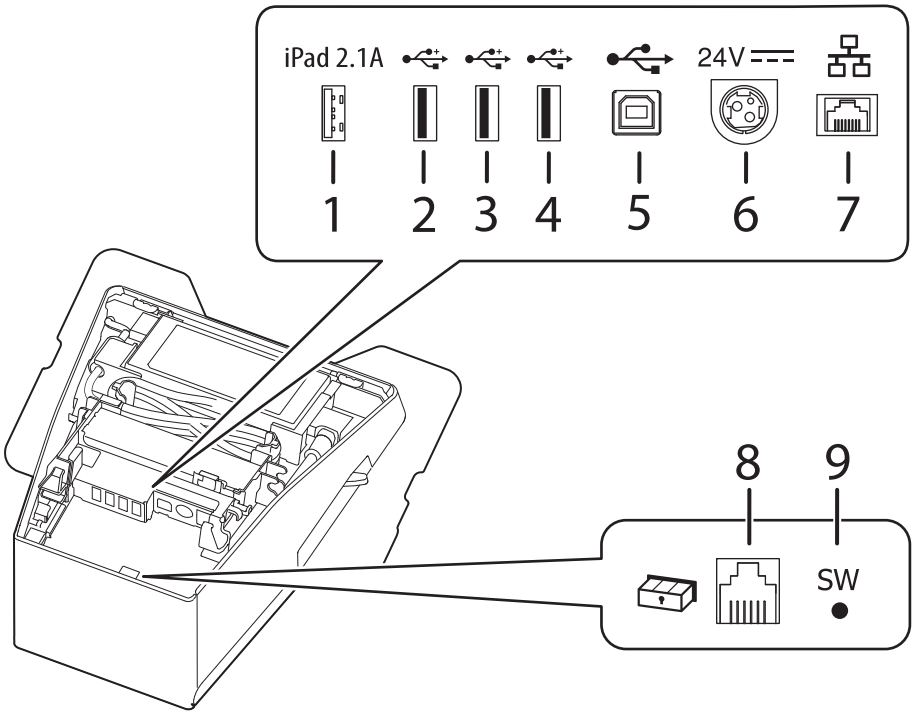
Ethernet LED

- Ethernet に接続されているときは、点灯します。
- Ethernet に接続されていないとき、Wi-Fi に接続しているときは、消灯します。
- IP アドレスが取得できていない場合など一時的に通信できない状態であるときは、点滅します。

Bluetooth LED

- *Bluetooth* で接続されているときは、点灯します。
- *Bluetooth* で接続されていないときは、消灯します。
- *Bluetooth* ペアリング待機中のときは、点滅します。

コネクター



1	USB コネクター（USB-A - Device Charging） USB 端子の色：白色	タブレット端末に接続する USB ケーブルを接続します。タブレット端末を充電しながらデータ通信することができます。 プリンターの電源を切ると、給電しません。
2,3,4	USB コネクター（Type-A） USB 端子の色：黒色	オプションの無線 LAN ケーブルセットやカスタマーディスプレイ、ハンディスキャナーなど周辺機器の USB ケーブルを接続します。 プリンターの電源を切ると、給電しません。
5	USB コネクター（Type-B）	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
6	電源コネクター	AC アダプターの DC ケーブルを接続します。
7	LAN コネクター	10BASE-T/100BASE-TX LAN ケーブルを接続します。
8	ドロアーキックコネクター	キャッシュドロアーまたは外付けオプションブザーのモジュラーケーブルを接続します。
9	ステータスシートボタン	インターフェイスに関するステータスシートを印刷したり、インターフェイスに関する設定を初期化したりする場合に使用します。

参考

USB コネクター（USB-A - Device Charging（USB 端子の色 白色））について

- 接続するタブレット、スマートフォン、USB 機器の純正ケーブルを使用してください。
- デバイスの充電仕様によっては、充電できない場合があります。
- デバイスが最適な電流値に設定を行うため、充電が開始されるまで数秒かかる場合があります。また、接続直後に一度、充電を停止する場合があります。
- USB コネクター（USB-A - Device Charging）に定格電流を超える機器が接続されると、機器への充電は停止します。（134 ページ「製品仕様」）
- デバイスの使用方法によっては、十分に充電されない場合があります。（例えば、画面の明るさが最大だったとき、スリープ機能（画面消灯）が無効に設定されている場合など。）
- 製品の故障、不具合、誤動作により充電できずに生じた損害などの純粋経済損害に対して、当社では一切の責任を負いかねます。
- USB コネクター（USB-A - Device Charging）にタブレット端末を接続すると、本製品の *Bluetooth* は使用できなくなります。
  タブレット端末を充電しながら *Bluetooth* を使用したい場合は、[有効なインターフェイスの選択] を「*Bluetooth*」に設定します。設定方法は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。
  この場合の供給電流は、ファームウェアバージョンによって異なりますのでご注意ください。
  * 03.11B ESC/POS 以降：iOS 端末で最大 2.1 A、Android 端末で最大 1.5 A
  * 03.11B ESC/POS より前：端末によらず最大 0.5 A
  また、接続するタブレットによっては充電できない場合がありますので、事前に十分な確認および評価を行なった上でご使用ください。
- データ通信目的で、USB コネクター（USB-A - Device Charging）に Android 端末を接続する場合、下記の条件を満たしていることをご確認ください。
  条件：Android OS バージョン 10 以上、かつカーネルバージョン 4.9.15 以上であること
  ただし、条件を満たしている端末においても動作を保証するものではありません。動作を確認のうえご使用ください。
- iOS 端末の場合、プリンターがネットワークに有線接続されていれば、Lightning-USB ケーブル 経由でネットワーク接続可能になります。詳細は、110 ページ「ネットワークテザリング（iOS 端末のみ）」を参照してください。

オンラインとオフライン

オンライン

オフラインに移行する事象が発生していない場合、プリンターはオンラインになり、通常の印刷ができる状態になります。

オフライン

以下のような状態では、プリンターは自動的にオフラインになります。

- 電源入 / 切処理中の状態
- 設定 / 確認モード実行時 （16 進ダンプモードを除く）
- 紙送りボタンを使用しての紙送り実行時
- 紙なしで印字停止したとき（ロール紙エンド検出器の紙なし検出時）
- 操作待ち状態
- エラー発生時（22 ページ「ステータスとエラー」）
- ロール紙カバーのオープン中

ステータスとエラー

LED の点灯 / 点滅によってプリンターの状態が表示されます。

> 注意　エラー発生時は印字できません。

> 参考　LED パターンからエラーの種類を区別できません。アプリからプリンターステータスを読み取ってエラーを識別し、ユーザーに復帰手順を伝えるようアプリ開発を行ってください。

ステータス表示

●:消灯　○:点灯　☼:点滅　-:考慮しない

パワー LED	エラー LED	ペーパー LED	Wi-Fi LED	Ethernet LED	***Bluetooth*** LED	プリンターの状態
○	●	●	-	-	-	オンライン（通常状態）
○	○	○	○	○	○	電源投入後の初期化中
○	●	-	●	●	●	セルフテスト実施中
○	●	-	-	-	-	紙送りボタンによる紙送り中
○	○	-	-	-	-	非印字中のロール紙カバーオープン
○	●	☼	●	●	●	セルフテスト続行待ち
○	●	☼	-	-	-	マクロ実行機能の実行待ち
○	○	☼	-	-	-	ステータスシート印刷時のロール紙カバー閉待機中
○	○	○	-	-	-	ロール紙エンド
○	●	○	-	-	-	ロール紙ニアエンド *1
○	○	-	-	-	-	自動復帰エラー
						復帰可能エラー
○	☼ *2	-	-	-	-	USB 充電のみ対応している機器が接続されている
○	☼	-	●	●	●	復帰不可能エラー 注意： すぐに電源を切ってください。 電源を入れ直しても同じエラーが発生する場合は、故障の可能性があります。販売店またはサービスセンターにご相談ください。
☼	●	●	●	●	●	ファームウェア書き換え中
☼	●	☼	●	●	●	ファームウェア強制書き換えモード中

パワー LED	エラー LED	ペーパー LED	Wi-Fi LED	Ethernet LED	*Bluetooth* LED	プリンターの状態
☼*3	○	●	●	●	●	電源オフ処理中
☼*4	●	●	●	●	●	電源オフ待機中 参考： 電源オフ処理コマンドを実行した場合にこの状態となります。パワースイッチを使用せずに電源を切る場合は、プリンターの稼動状態の情報を確実に保存するために、この方法を採ることを推奨します。
○*5	●	-	-	-	-	TM-Intelligent 機能の警告

*1：ロール紙残量少を検出するためには、ロール紙ニアエンド検出の設定を有効にする必要があります。本機能は、縦置き設置時のみ機能します。設定についての詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。制限についての詳細は、71 ページ「ロール紙ニアエンド検出機能の設定」を参照してください。
*2：エラー LED の点滅パターンは、点灯 320 ms、消灯 320 ms を 5 秒間繰り返した後、消灯します。
*3：パワー LED の点滅パターンは、点灯 320 ms、消灯 320 ms を繰り返します。
*4：パワー LED の点滅パターンは、点灯 160 ms、消灯 2400 ms を繰り返します。
*5：パワー LED の点滅パターンは、点灯 4960 ms、消灯 160 ms を繰り返します。

Bluetooth 接続の状態

●:消灯　○:点灯　☼:点滅　-:考慮しない

パワー LED	エラー LED	ペーパー LED	Wi-Fi LED	Ethernet LED	*Bluetooth* LED	プリンターの状態
○	●	●	-	-	☼	*Bluetooth* ペアリング待機中
○	●	●	-	-	○	*Bluetooth* 接続中
○	●	●	-	-	●	*Bluetooth* 非接続中

* 点滅パターンは、点灯 320 ms、消灯 320 ms を繰り返します。

ネットワーク接続の状態

●:消灯　○:点灯　☼:点滅　-:考慮しない

パワー LED	エラー LED	ペーパー LED	Wi-Fi LED	Ethernet LED	*Bluetooth* LED	プリンターの状態
○	●	●	○	●	-	Wi-Fi 接続中
○	●	●	☼	●	-	Wi-Fi（IP アドレス未取得）
○	●	●	●	○	-	Ethernet 接続中

パワー LED	エラー LED	ペーパー LED	Wi-Fi LED	Ethernet LED	***Bluetooth*** LED	プリンターの状態
○	●	●	●	☼	-	Ethernet（IP アドレス未取得）
○	●	●	☼	☼	-	ネットワーク ファームウェア起動中
○	●	●	●	●	-	ネットワーク未接続

* 点滅パターンは、点灯 320 ms、消灯 320 ms を繰り返します。

エラー

復帰方法により、自動復帰エラー・復帰可能エラー・復帰不可能エラーに分類されます。

自動復帰エラー

- ヘッド高温エラー　　ヘッド温度が低下すると自動的に復帰します。
- 印字中カバーオープンエラー　ロール紙カバーを閉じることにより自動的に復帰します。
- TM-Intelligent 機能の警告　プリンター設定を適切に設定することで自動的に復帰します。

復帰可能エラー

- オートカッターエラー　異物落下などによりカッター刃がロックするとエラーとなります。軽微なロックであれば自動復帰しますが、自動復帰しない場合は異物や紙ジャムした用紙を取り除き、ロール紙カバーを閉じることにより復帰します。

参考　ロール紙カバーを閉じる代わりに専用コマンドでもエラーから復帰できますが、その場合はカバーオープンが検出され、オフラインとなります。

復帰不可能エラー

- 高電圧エラー、CPU 実行エラー、通信ユニットエラーなどがあります。電源を入れ直しても同じエラーが発生する場合は故障の可能性があります。販売店またはサービスセンターにご相談ください。

注意　復帰不可能エラーが発生した場合は、すぐに電源を切ってください。

NV メモリー

本プリンターには NV メモリー（Nonvolatile Memory: 不揮発性メモリー）が搭載されており、NV メモリーに保存されたデータは、電源を切っても保持されます。ユーザーが使用できる NV メモリーには以下のメモリー領域があります。

- NV グラフィックスメモリー
- ユーザー NV メモリー
- メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）
- R/E（レシートエンハンスメント）
- メンテナンスカウンター

注意	NV メモリーへの書き込み回数は、目安として 1 日 10 回以下になるようにアプリケーションを作成してください。

NV グラフィックスメモリー

レシートに印字するお店のロゴなどのグラフィックを複数登録できます。
グラフィックの登録は、TM-m30II Utility または ESC/POS コマンドで行います。
登録内容の確認は、TM-m30II Utility または NV グラフィックス情報印字モードで行います。

ユーザーNV メモリー

プリンターのカスタム設定やメンテナンス情報といった情報をテキストデータで保存し、必要なときに読むことができます。

メモリースイッチ(カスタマイズバリュー)

プリンターのさまざまな設定を行うことができます。
メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）の詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

R/E(レシートエンハンスメント)

NV グラフィックスメモリーに登録したお店のロゴなどを、トップロゴとしてレシートの印刷前に自動印刷したり、ボトムロゴとして用紙カット前に自動印刷するように設定できます。
設定は、TM-m30II Utility または ESC/POS コマンドで行います。
設定内容の確認は、TM-m30II Utility または R/E(レシートエンハンスメント) 情報印字モードで行います。

メンテナンスカウンター

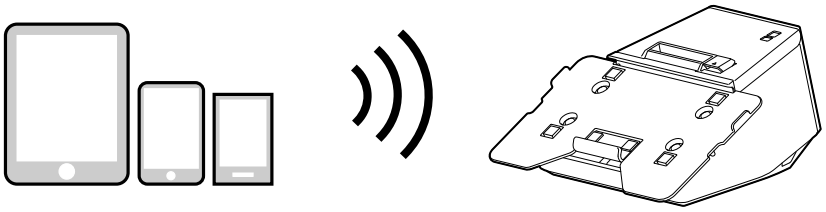
印字行数、オートカッター動作回数、製品稼動時間などをメンテナンスカウンター情報として自動的にプリンターのメモリーに記録する機能です。カウンター情報を参考にし、定期点検や部品交換などに活用できます。

参考

- ヘッド走行距離、オートカッター動作回数は、セルフテスト（97 ページ「セルフテストモード」参照）で確認できます。
- メンテナンスカウンター値は、通常 2 分（最大 4 分）ごとに NV メモリーに保存されます。ただし、省電力状態のとき、およびパワースイッチを使わずに電源を切った場合は、自動保存されません。

無線 LAN の簡単セットアップ

本製品は、無線 LAN アクセスポイントを使わずにプリンターに直接接続できるモード（SimpleAP）を搭載しています。これにより、アクセスポイントなどのネットワーク環境を介さずに、プリンター設定ツール（Epson TM Utility、EpsonNet Config、または EpsonNet Config（Web バージョン））を利用して、プリンターの無線 LAN のセットアップが簡単に行えます。



無線 LAN の接続設定が初期値（工場出荷状態）の場合、プリンターの電源を入れると自動的に SimpleAP モードで起動し、下図の印字を行います。無線 LAN の接続設定が初期値から変更されている場合は、その設定に従って起動し、アクセスポイントへ接続します。

SimpleAP Start
SSID : EPSON_Printer
Encryption Type : WPA2-PSK
Passphrase : 12345678

IP Address : 192.168.192.168
MAC Address : xx-xx-xx-xx-xx-xx

スマートデバイスのための便利な機能

ステータスシートに印刷された QR コードを使うことにより、簡単に本製品をネットワークに接続できます。

QR コード

ステータスシートに印刷された QR コードを、スマートデバイスのカメラで読み取ることで、プリンター情報（デバイスを特定するための情報）を取得できます。
取得した情報で対象プリンターを特定し、ネットワーク経由または *Bluetooth* 経由で印刷データを送ることができます。

参考

- 本機能を使用するためには Epson ePOS SDK を使ったプログラミングが必要です。QR コードスキャンの操作と、プリンター簡単選択 API を使った対象プリンターの特定を組み合わせることにより、本機能を実現できます。
  詳細は「Epson ePOS SDK for Android/iOS ユーザーズマニュアル」および Epson ePOS SDK のサンプルプログラムを参照してください。サンプルプログラムには、QR コード読み取りの実装方法のサンプルも含まれています。
- Epson TM Utility for iOS/Android を使うと、本機能のデモンストレーションをお試しいただけます。

複数インターフェイスによる印刷

複数のインターフェイスを持つモデルでは、使用するインターフェイスを限定することなく、全てのインターフェイスを使用できます。スマートデバイスを近くにあるプリンターに一時的に接続して印刷する、などに活用できます。

プリンターはインターフェイスごとの独立した受信バッファーを持っており、優先順位に従ってアクティブなインターフェイスを切り替えながら、各受信バッファー内のデータを処理します。

1 つのインターフェイスを、主接続インターフェイスに設定できます。主接続インターフェイスから受信したデータは優先して処理されます。
初期設定では最初にデータを受信したインターフェイスが主接続インターフェイスに設定されますが、あらかじめ主接続インターフェイスを選択しておくこともできます。

アクティブなインターフェイスの受信バッファーが空になって設定時間（初期設定では 1 秒）が経過すると、インターフェイスの切り替えが有効となります。この状態のときにデータを受信したインターフェイスがアクティブとなります。

注意	*Bluetooth* を使用しない場合は、第三者による不正なペアリングを防止するため、*Bluetooth* セキュリティーレベルを「Middle（中）」または「High（高）」に設定してください。 セキュリティーレベルは、Epson TM Utility、TM-m30II Utility、またはインターフェイス設定モードで変更できます。

参考	主接続インターフェイスの選択と有効インターフェイスの切り替え時間は、ソフトウェア設定で行えます。ソフトウェア設定の詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

タブレットのセットアップ

本章では、本製品にタブレットやディスプレイを取り付ける方法を説明しています。

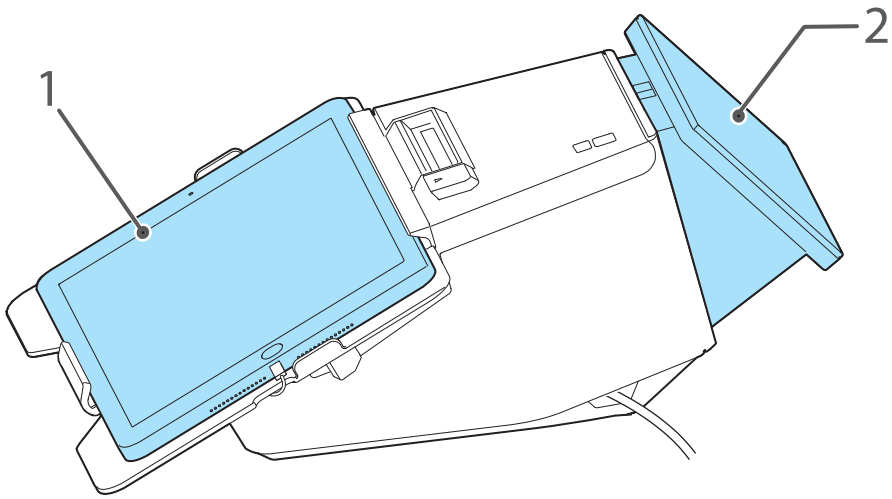
セットアップの流れ

本章では、タブレットやディスプレイの取り付けを以下の順番で説明しています。



取り付け可能なタブレット

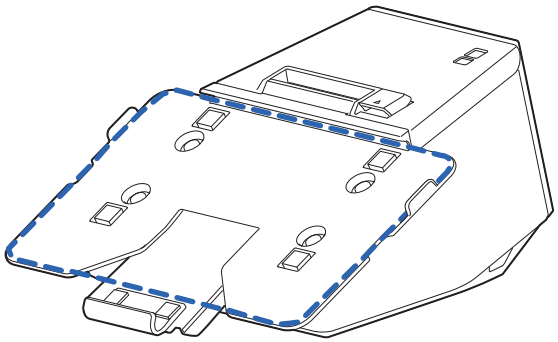
本製品は、タブレットやディスプレイを取り付けて、タブレット一体型のプリンターとして使用できます。
1: 正面タブレット
2: 背面ディスプレイ（OT-DM30SL）



正面タブレット

取り付け可能なタブレットのサイズ

取り付け可能なタブレットの最大サイズは以下のとおりです。
縦 216 mm 以下、横 304 mm 以下、厚さ 9 mm 以下
タブレットが、タブレットテーブルからはみ出さないように取り付けます。



取り付けるタブレットによって、適切なタブレットテーブルを選択してください。

タブレットテーブルの種類	取り付け可能なタブレットのサイズ (目安)	
	縦	横
標準	176 mm 以下	282 mm 以下
大	216 mm 以下	304 mm 以下

タブレットテーブルの交換方法は以下のとおりです。
46 ページ「タブレットテーブルの交換」

取り付け可能なタブレットの種類

取り付け可能なタブレットと USB コネクターへの接続は以下のとおりです。
USB コネクターの配置は、19 ページ「コネクター」を参照してください。
○：接続可能、△：製品により異なる、--：仕様外

種類	USB コネクター / 製品名	USB-A Device Charging (最大 2.1 A)		Type-A (最大 0.5 A)	Type-B	タブレットテーブル
		データ通信	充電	充電	データ通信	
Apple 社製 *1	iPad（第 5 世代） iPad（第 6 世代） iPad（第 7 世代）	○	△ *2	--	--	標準
	iPad Air 2					
	iPad Pro（第 3 世代） iPad Pro（第 4 世代）	--	--	--	--	大
	iPad mini 4	○	△ *2	○ *3	--	標準
Windows タブレット		--	--	--	○	標準 / 大
Android 端末		△ *4	△ *2	--	△ *5	標準 / 大

*1: Lightning コネクター搭載モデルが接続可能です。
Lightning-USB ケーブルは、Apple 社純正品、または MFi 認証のものを使用してください。MFi 非認証の Lightning-USB ケーブルを使用したり、延長ケーブルを使用したりすると、データ通信や充電が正しく行われないことがあります。

*2: USB-A - Device Charging コネクターにタブレット端末を接続すると、本製品の ***Bluetooth*** は使用できなくなります。タブレット端末を充電しながら ***Bluetooth*** を使用したい場合は、［有効なインターフェイスの選択］を「***Bluetooth***」に設定します。設定方法は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。
この場合の供給電流は、ファームウェアバージョンによって異なりますのでご注意ください。

- 03.11B ESC/POS 以降：iOS 端末で最大 2.1 A、Android 端末で最大 1.5 A
- 03.11B ESC/POS より前：端末によらず最大 0.5 A

また、接続するタブレットによっては充電できない場合がありますので、事前に十分な確認および評価を行なった上でご使用ください。

*3: 使用方法によっては十分に充電できないことがあります。充電したい場合は、画面の明るさを暗くするなどして、消費電力を下げてください。

*4: Android 端末をデータ通信目的で接続する場合、下記の条件を満たしていることをご確認ください。
条件 : Android OS バージョン 10 以上、かつカーネルバージョン 4.9.15 以上であること
ただし、条件を満たしている端末においても動作を保証するものではありません。動作を確認のうえご使用ください。

*5: OTG ケーブルが利用でき、USB ホスト機能が利用できるものに限ります。

参考

本体の USB コネクターに接続できないタブレットの場合は、接続ケーブルを本体内部から、AC ケーブルのように外部に引き出してください。

背面ディスプレイ

背面ディスプレイとして、オプションの OT-DM30SL を取り付けることができます。取り付け方法は以下を参照してください。

72 ページ「OT-DM30SL の取り付け方法」

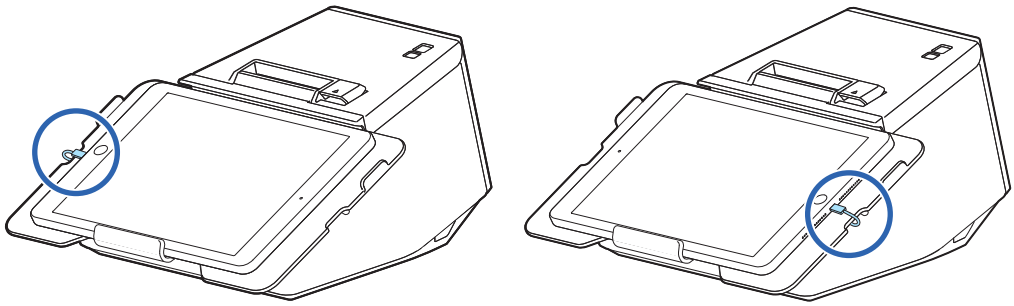
セットアップの準備

プリンターにタブレットを取り付けるために以下の準備をしてください。

タブレットの準備

正面タブレットとして使用するタブレット、タブレットとプリンターを接続する接続ケーブルを用意します。タブレットのコネクターの位置により、プリンターの左右どちらからでも接続ケーブルを配線することができます。

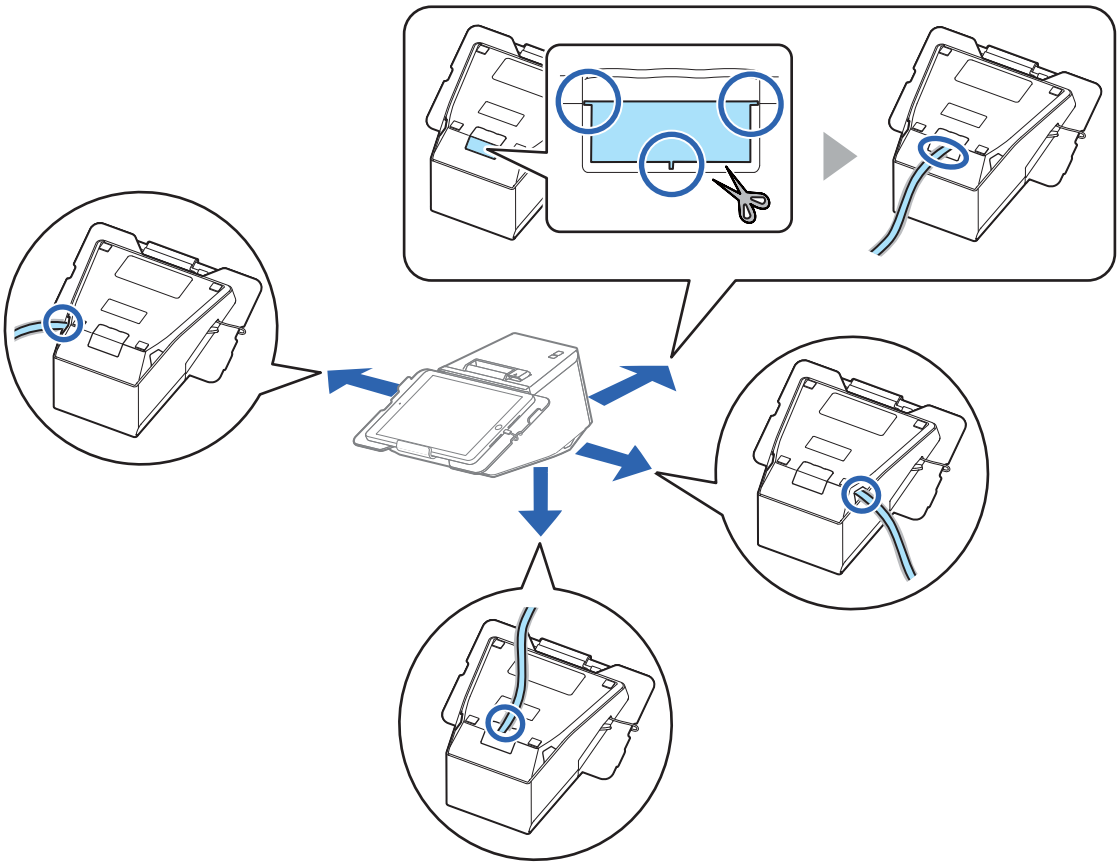
31 ページ「取り付け可能なタブレット」



ケーブル類の引き回し

AC ケーブルやインターフェイスケーブルは、プリンターの設置場所に合わせて 4 か所から引き出すことができます。プリンターを設置する場所に合わせて、引き出す場所を決めてください。

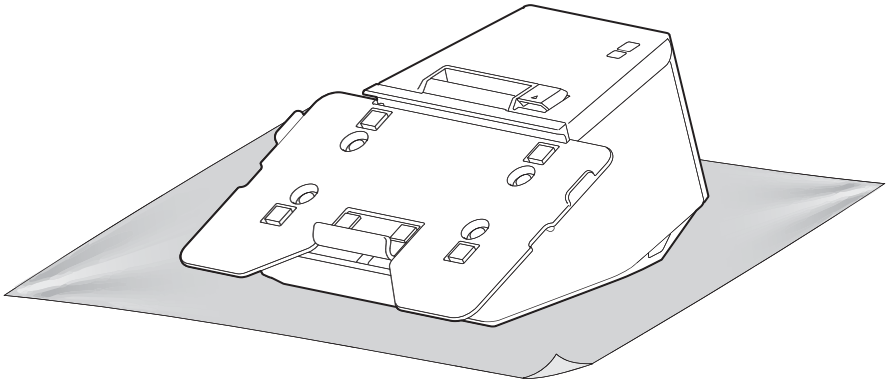
背面から引き出す場合は、底面カバーの一部を切り取ってください



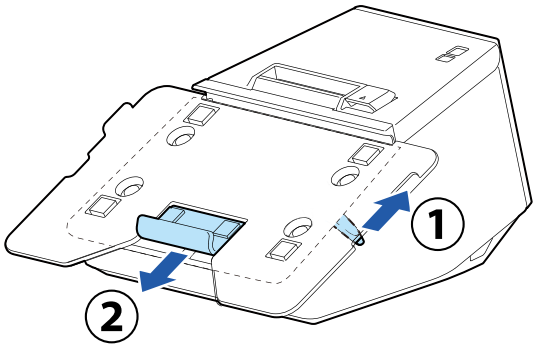
正面タブレットの取り付け

正面タブレットの取り付け方は以下のとおりです。

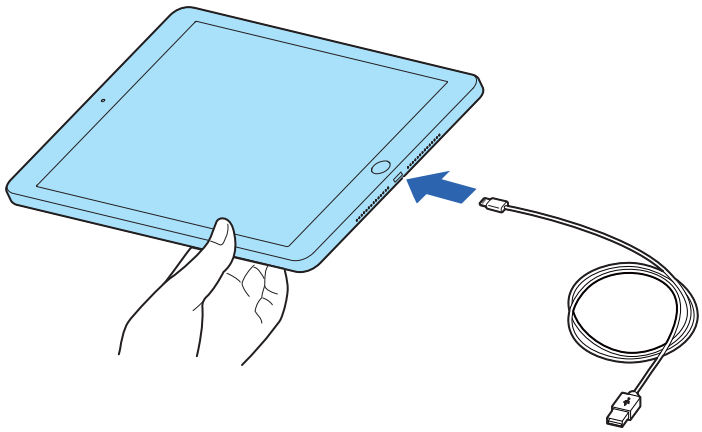
1　**柔らかい布などの上にプリンターを置きます。**



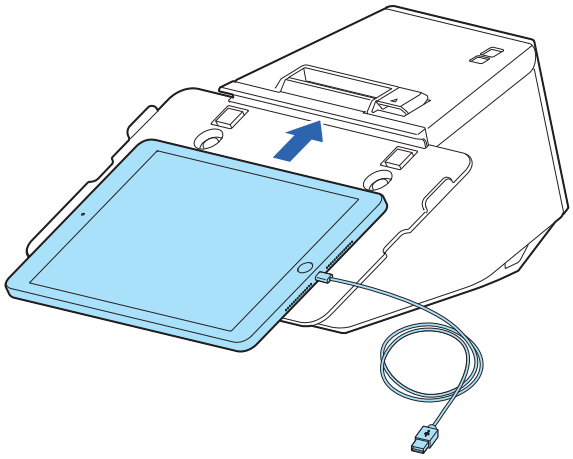
2　**ロックレバーを操作し、下側タブレットホルダーを下げます。**



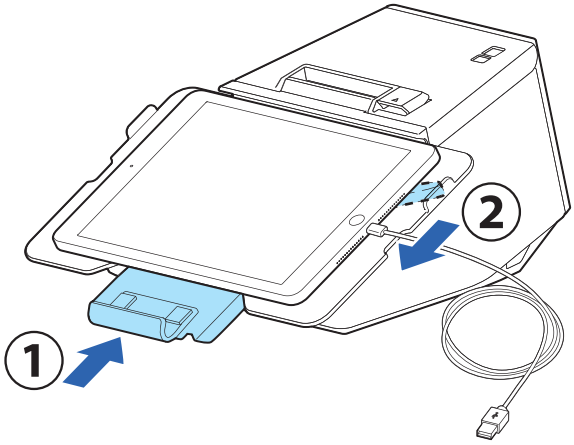
3　**タブレットに接続ケーブルを接続します。**



4 タブレットを上側タブレットホルダーに押し当てます。

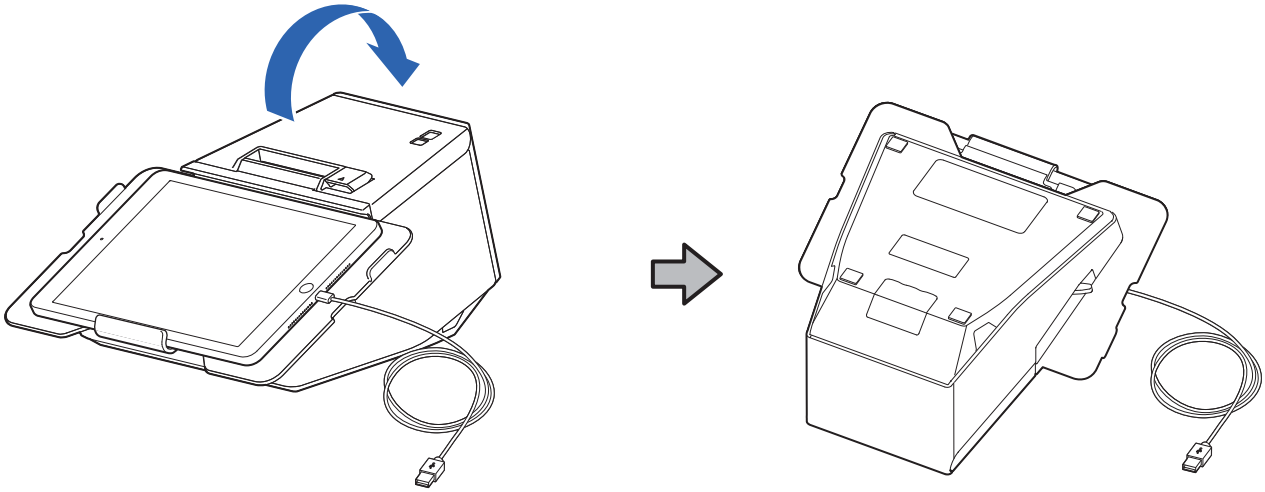


5 下側タブレットホルダーでタブレットを挟み込み、ロックレバーを操作し固定します。

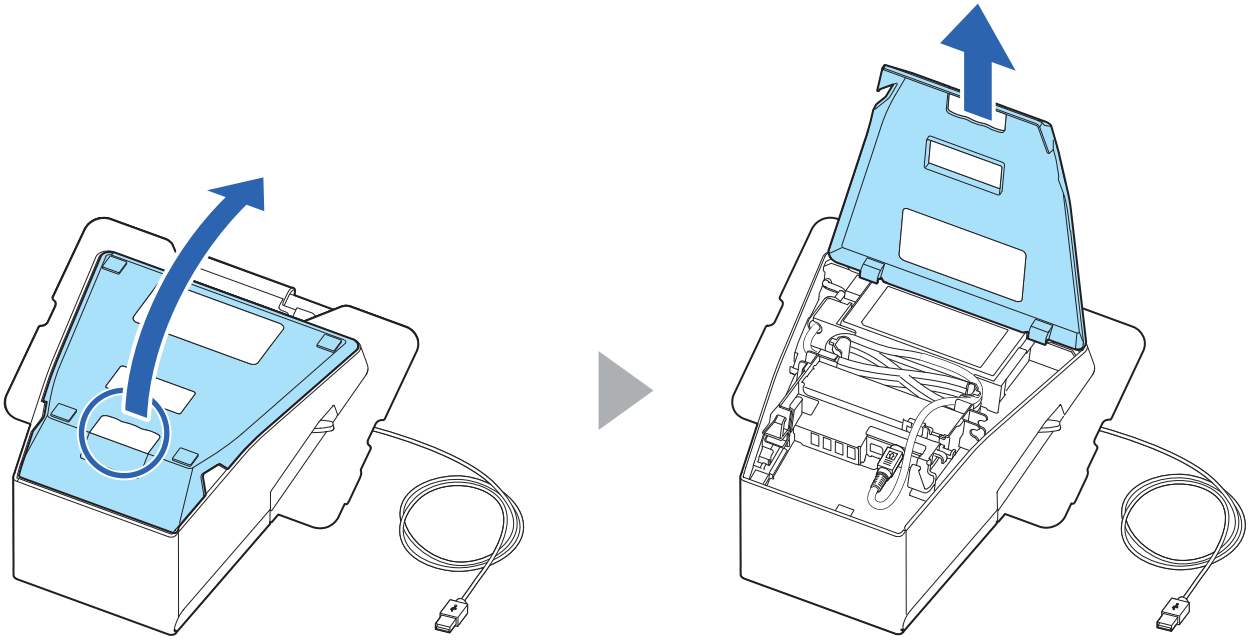


> **注意**　タブレットがタブレットテーブルからはみ出す場合は、タブレットテーブルをタブレットテーブル（大）に交換します。
> ☞ 46 ページ「タブレットテーブルの交換」

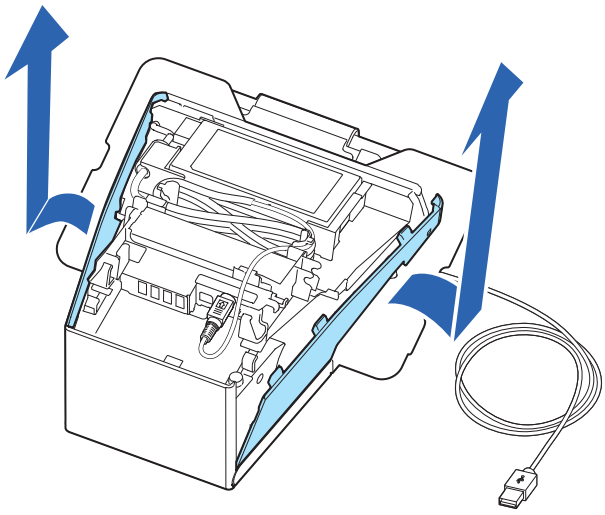
6 プリンターを裏返します。



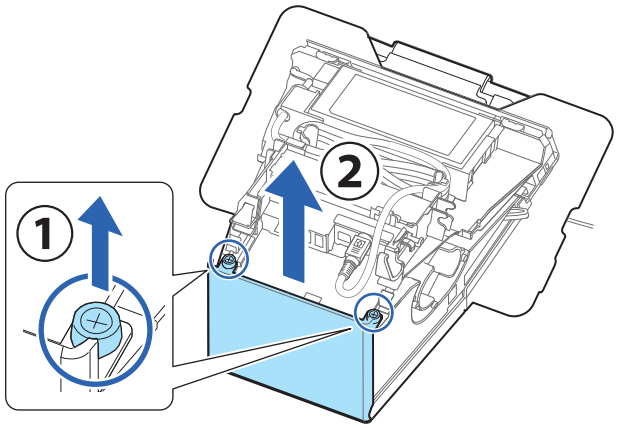
7　底面カバーを外します。



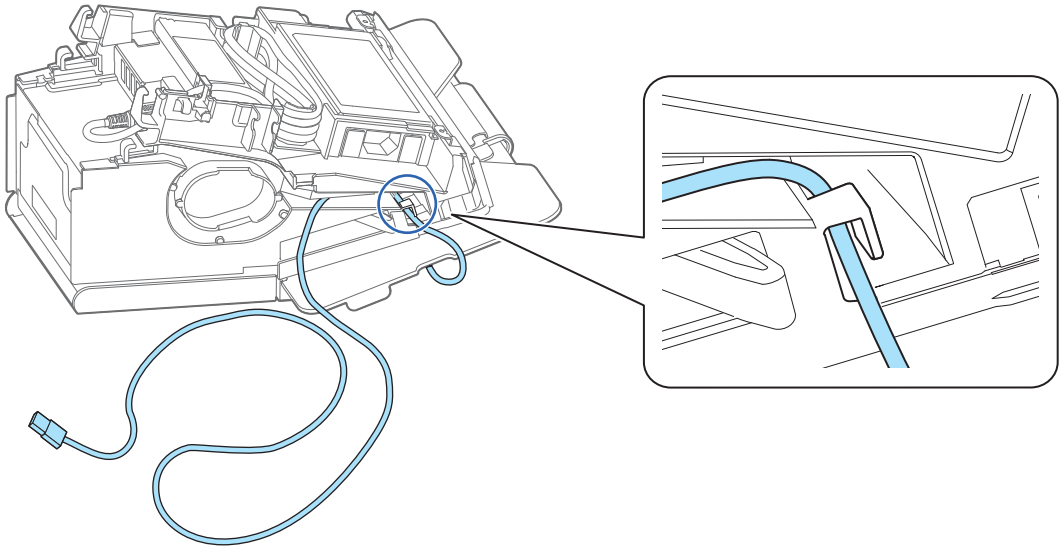
8　側面カバーを外します。



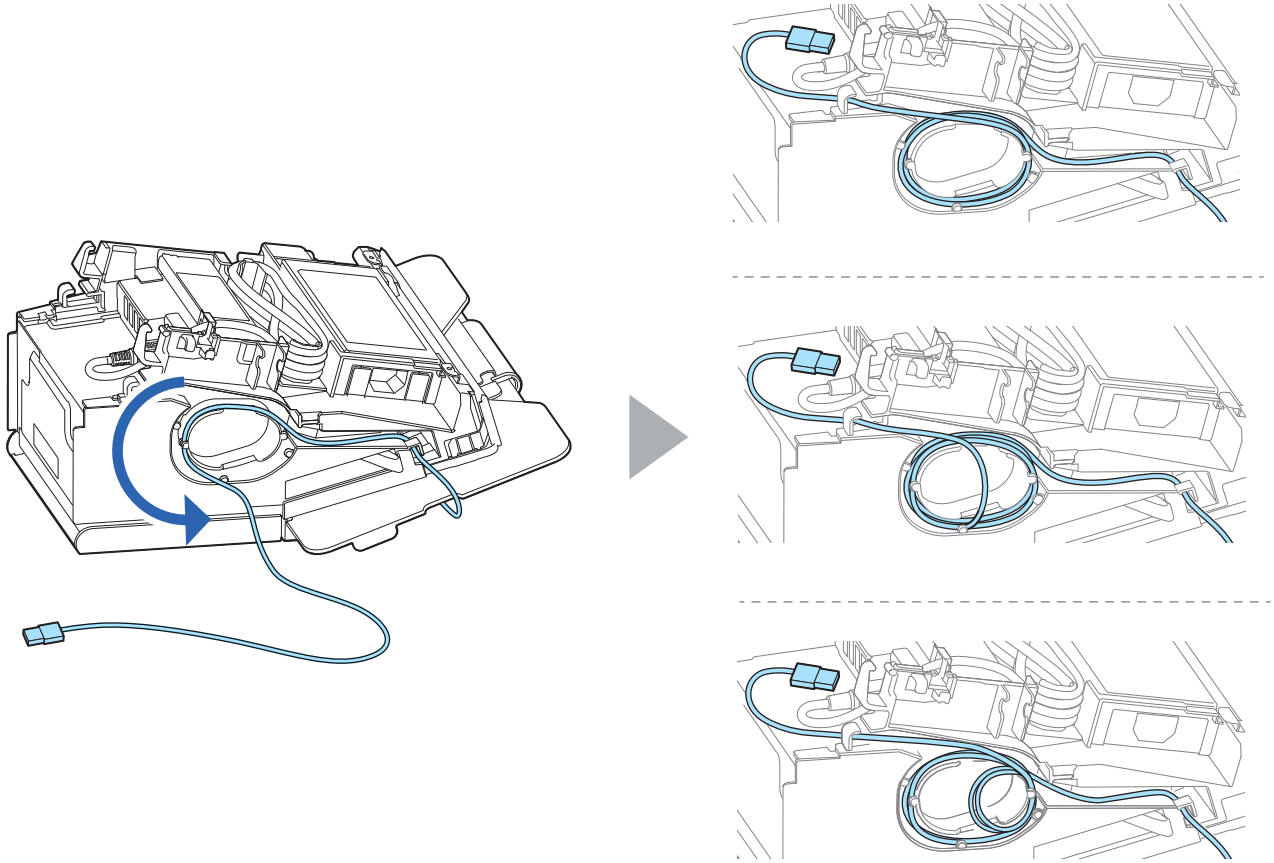
9 背面カバーを外します。



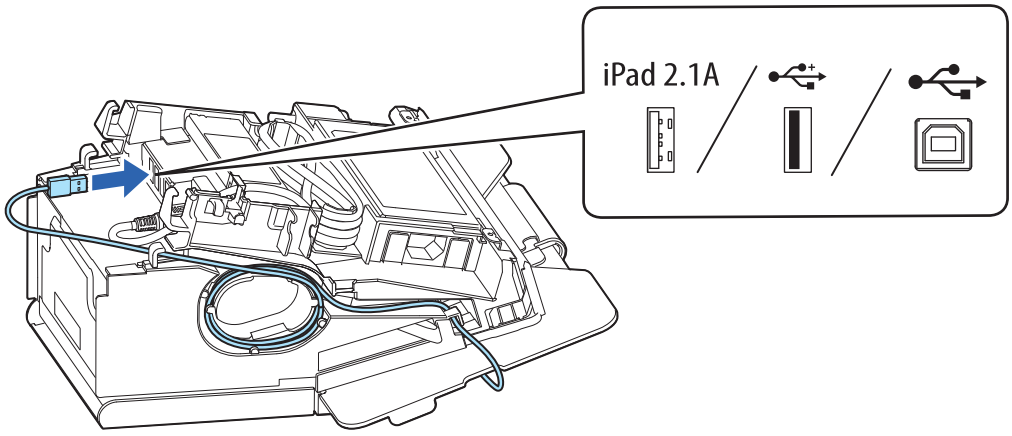
10 側面のフックに接続ケーブルを通します。



11 接続ケーブルを下図のように側面に巻いてケーブルの長さを調整します。



12 接続ケーブルを、適切な USB コネクターに接続します。



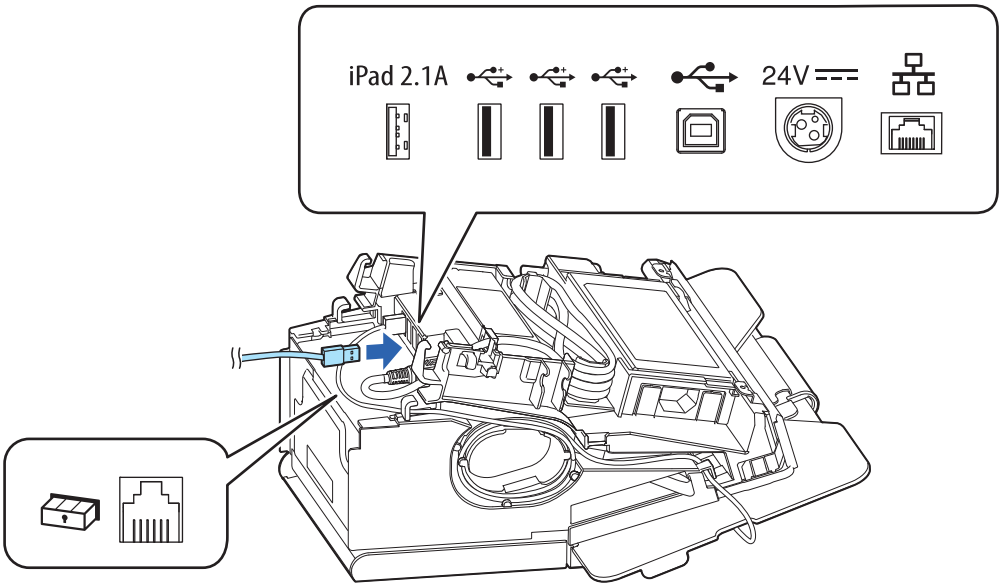
参考　コネクターに接続できないタブレットの場合は、接続ケーブルを本体の切り欠きから引き出してください。

周辺機器の接続

必要に応じて周辺機器のインターフェイスケーブルを、プリンター内部のコネクターに接続します。

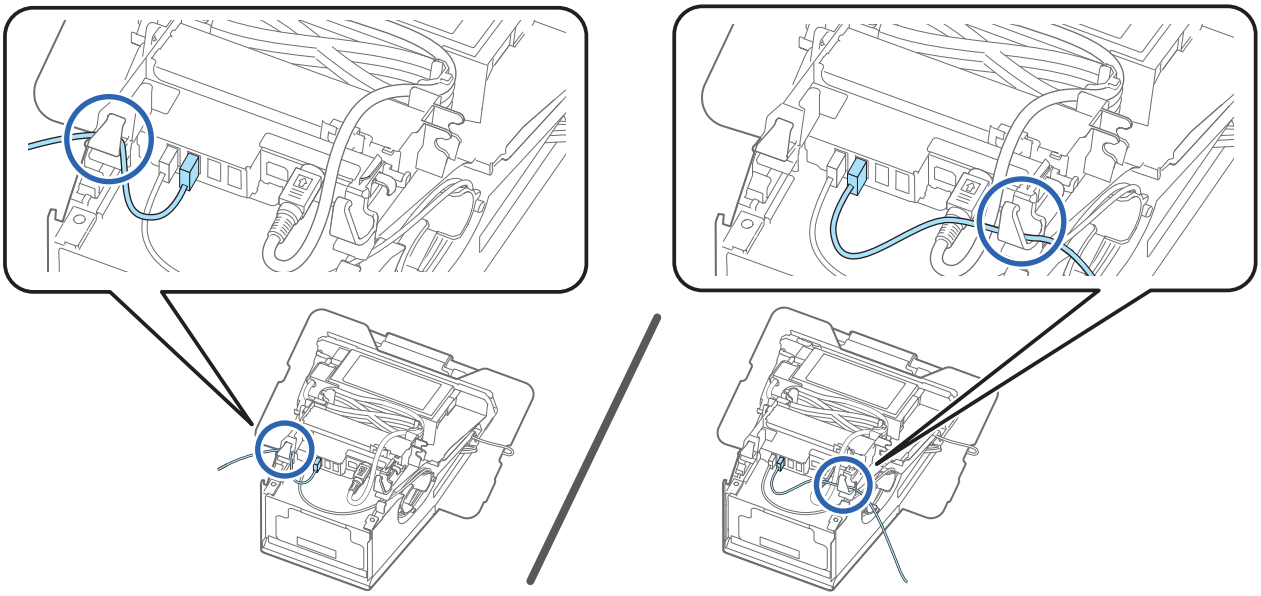
1　**プリンター内部のコネクターに、インターフェイスケーブルを接続します。**

各コネクターの種類は、19 ページ「コネクター」を参照してください。



2　**フックを通して、インターフェイスケーブルを引き出します。**

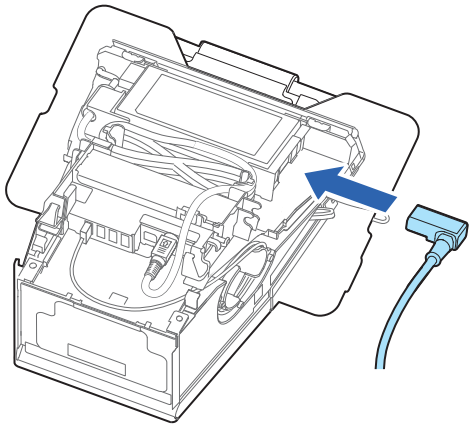
インターフェイスケーブルをプリンターの背面または底面から引き出す場合は、フックを通しません。



AC ケーブルの接続

AC ケーブルの接続方法は以下のとおりです。

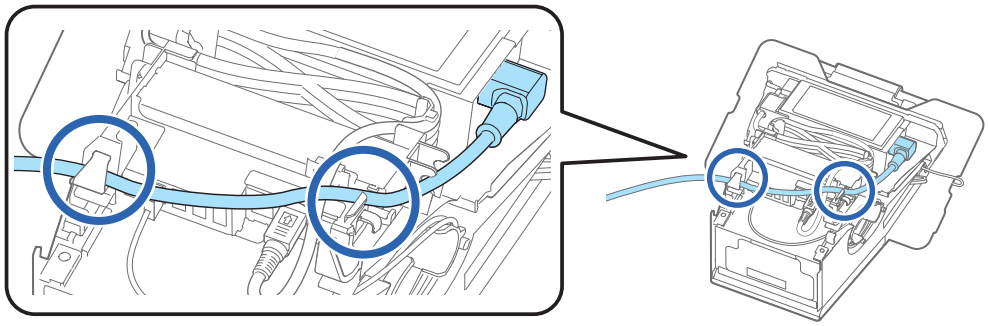
1　AC ケーブルのプラグを AC アダプターに接続します。



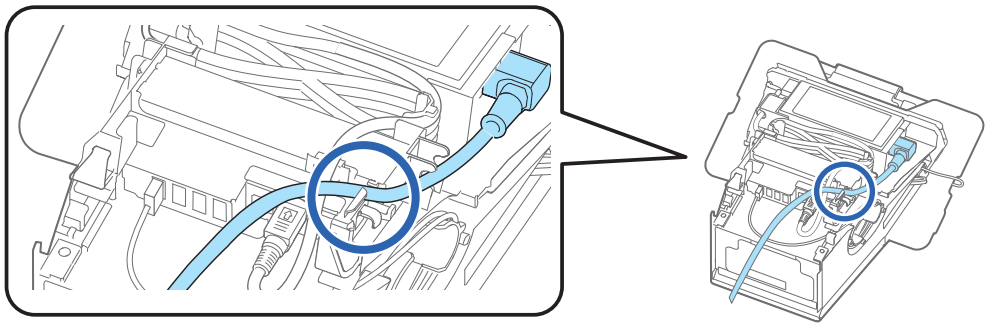
2　AC ケーブルを引き回します。

AC ケーブルは、４方向（左、右、背面、底面）に引き出すことができます。
35 ページ「ケーブル類の引き回し」
引き出す方向に応じた引き回しをしてください。

- プリンターの左側から引き出すとき



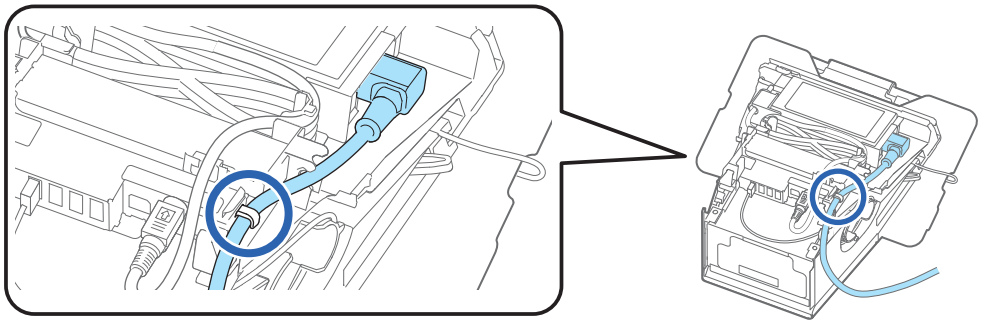
- プリンターの背面・底面から引き出すとき



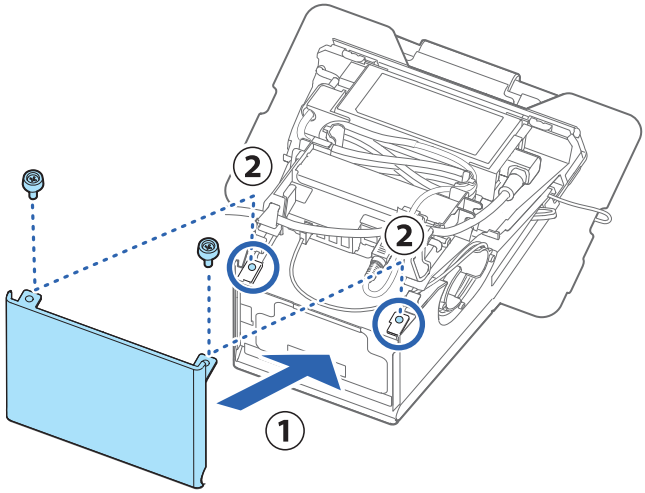
参考

底面から引き出すときは、AC アダプター側のプラグを、底面カバーに通しておいてください。

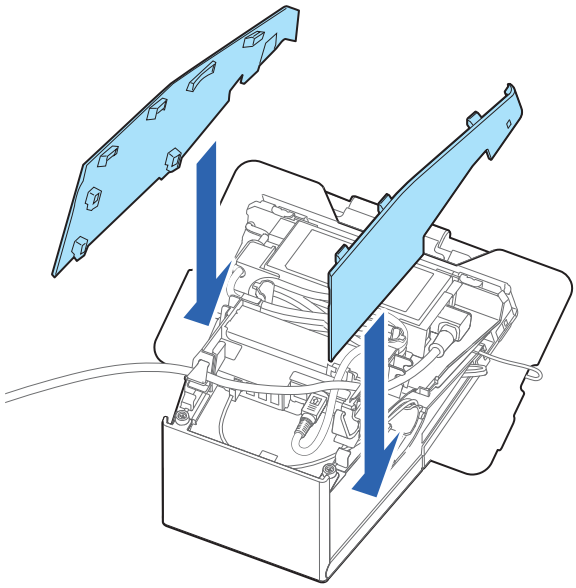
- プリンターの右側から引き出すとき



3　背面カバーを取り付けます。

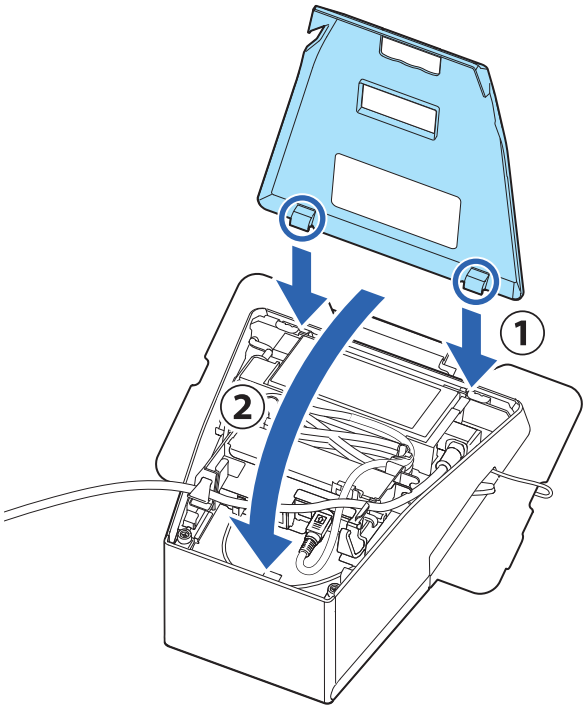


4　側面カバーを取り付けます。

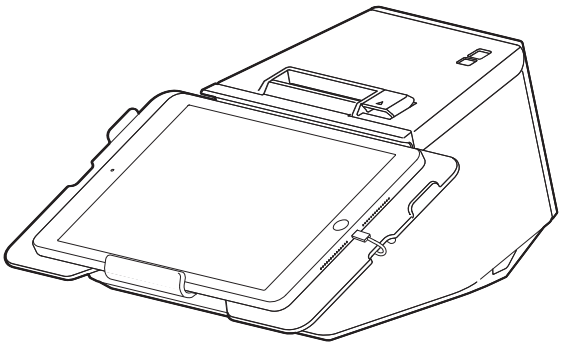


5 底面カバーを取り付けます。

AC ケーブルを 4 方向（左、右、背面、底面）のいずれかから引き出します。

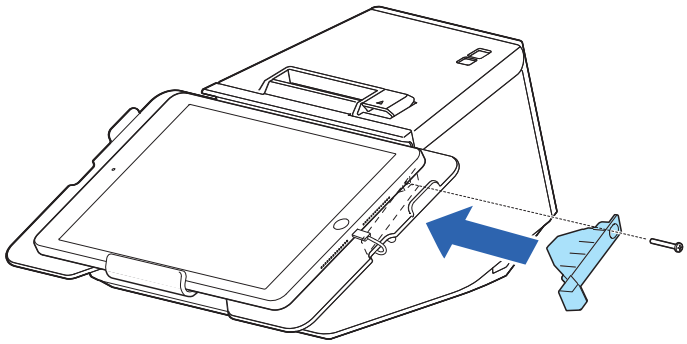


以上で、本製品を使用する準備は終了です。



ロックレバーカバーの取り付け

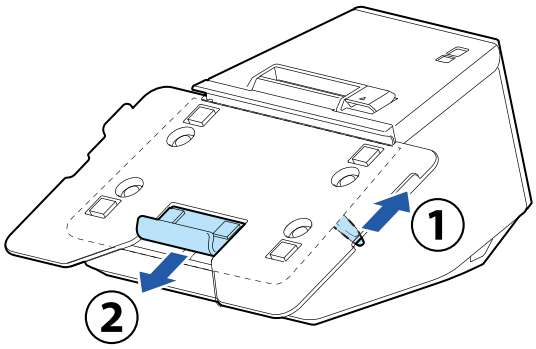
ロックレバーカバーを取り付けると、ロックレバーを操作できなくなるため、タブレットの盗難防止に有効です。



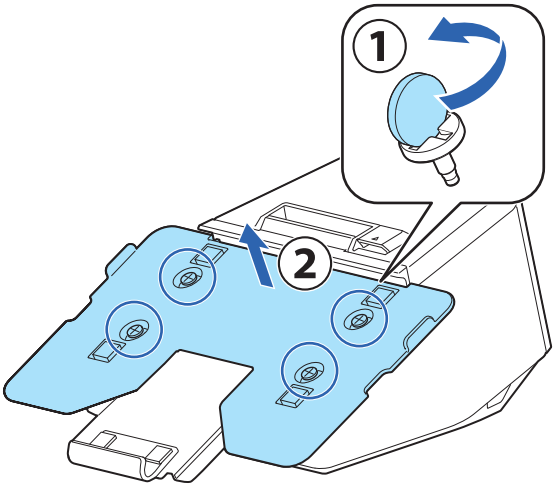
タブレットテーブルの交換

取り付けるタブレットのサイズにより、タブレットテーブルを交換してください。
取り付け可能なタブレットのサイズについては、32 ページ「正面タブレット」をご覧ください。

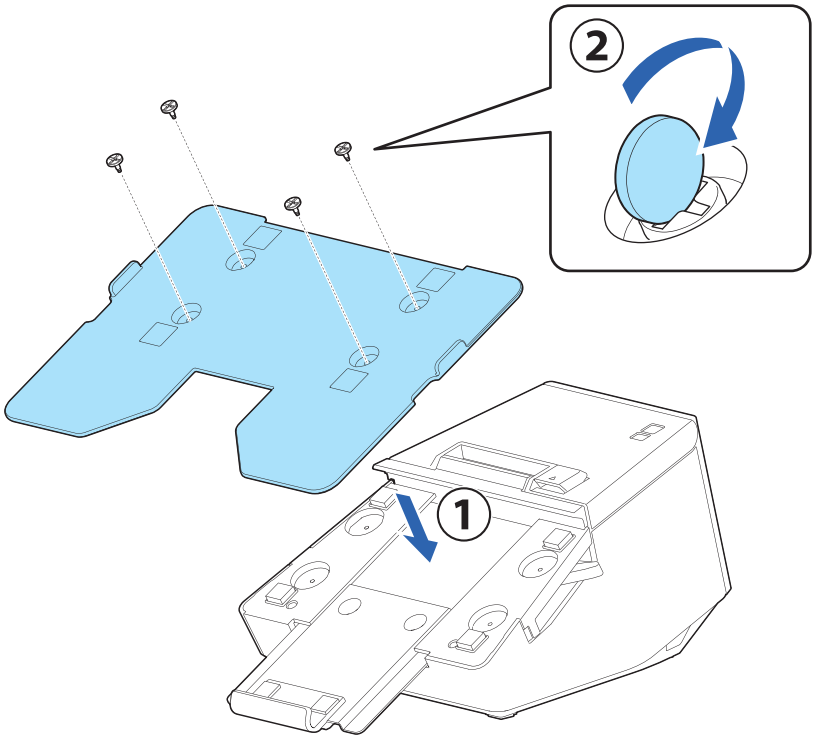
1　ロックレバーを操作し、下側タブレットホルダーを下げます。



2　硬貨などを使用し、ネジを外します。



3　タブレットテーブルを交換し、ネジで固定します。



プリンターのセットアップ

本章では、本製品を使用する前に必要な、製品および周辺機器の設置・設定作業について説明しています。

セットアップの流れ

本章は、本製品および周辺機器のセットアップの流れに沿って、以下のような構成となっています。



プリンターの設置

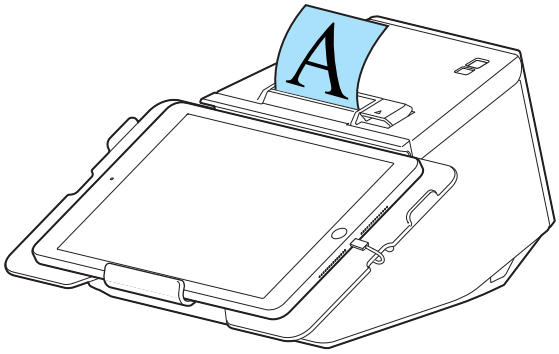
本製品は、横置きや縦置きに設置して使用できます。

注意

- ホコリや塵の多い場所には設置しないでください。
- 操作時に強い衝撃をプリンターに与えないでください。印字不良を起こす可能性があります。
- 設置時に、プリンター底面にコードや異物などを挟み込まないように注意してください。
- キャッシュドロアー使用時は、キャッシュドロアーの振動でプリンターが動かないようにプリンターを固定してください。

横置き設置の場合

プリンターを水平で平らな場所に設置します。
ロール紙は上方向に排紙され、ロール紙カバーも上方向に開きます。



プリンターの固定方法

プリンターを机などに固定したい場合は、オプションの固定用テープ（型番：DF-10）をご使用ください。
固定用テープの使用方法は以下のとおりです。

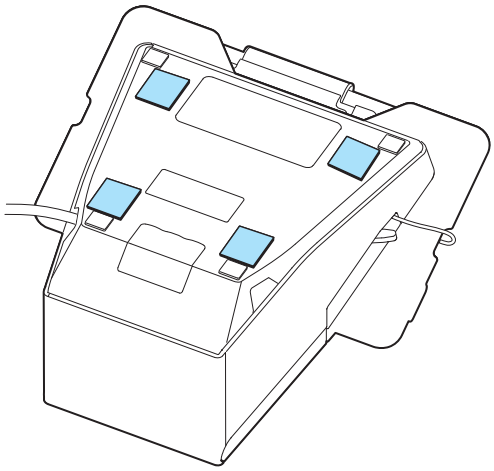
1 **プリンターの電源を切ります。**

2 **AC ケーブルをコンセントから抜きます。**

3 **プリンターを裏返します。**

4 **固定用テープの片側の接着面のシールを剥がします。**

5 **固定用テープを４か所に貼り付け、底面側の接着面のシールを剥がします。**



6 **プリンターを設置面へ置き、しっかりと押し付け、固定します。**

参考

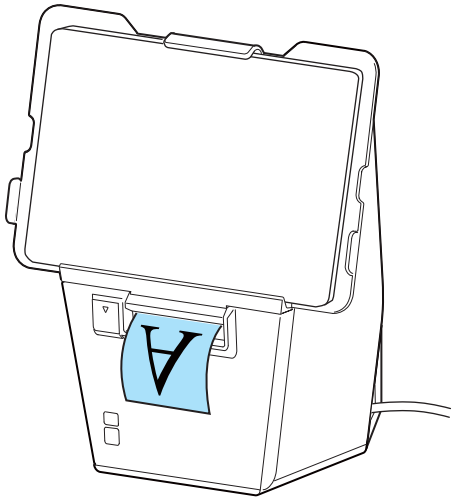
- 固定用テープは面ファスナー構造になっています。本製品を設置面から剥がすような力を加えることで、設置面から取り外すことができます。ただし、取り外しと取り付けを繰り返すと、面ファスナーの接着力が弱まるおそれがあります。その場合は固定用テープを新しいものと交換してください。
- 固定用テープを４か所に貼り付けるため、DF-10 は２セット必要です。

縦置き設置の場合

縦置き設置には、２つの方法があります。

- オプションの固定用テープ（型番：DF-10）を使用して机の上に立てて設置する
  51 ページ「プリンターを立てて設置する方法」
- オプションの壁掛け金具（型番：OT-WH30SL）を使用して、壁に取り付けて設置する
  78 ページ「OT-WH30SL（壁掛け金具）」

ロール紙は手前方向に排紙され、ロール紙カバーも手前方向に開きます。



プリンターを立てて設置する方法

プリンターを机の上などに立てて設置する手順は以下のとおりです。
プリンターは水平で平らな場所に設置してください。

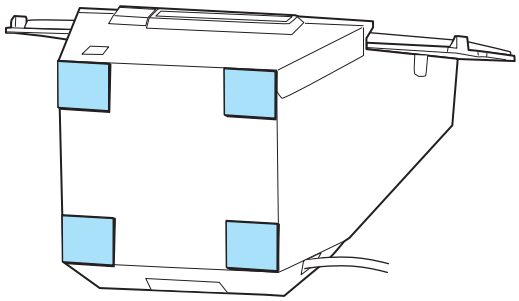
> 注意
>
> 本製品を立てて設置する場合は、必ず固定用テープ（型番：DF-10）を使用して固定してください。机の上に置いただけですと、プリンターやタブレットを強く押すと転倒するおそれがあります。

1 **プリンターの電源を切ります。**

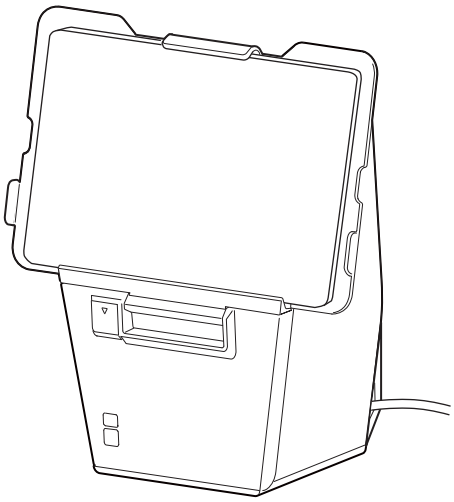
2 **AC ケーブルをコンセントから抜きます。**

3 **固定用テープの片側の接着面のシールを剥がします。**

4 **固定用テープを 4 か所に貼り付け、底面側の接着面のシールを剥がします。**



5 **プリンターを設置面へ置き、しっかりと押し付け、固定します。**



> 参考
>
> - 固定用テープは面ファスナー構造になっています。本製品を設置面から剥がすような力を加えることで、設置面から取り外すことができます。ただし、取り外しと取り付けを繰り返すと、面ファスナーの接着力が弱まるおそれがあります。その場合は固定用テープを新しいものと交換してください。
> - 固定用テープを 4 か所に貼り付けるため、DF-10 は 2 セット必要です。

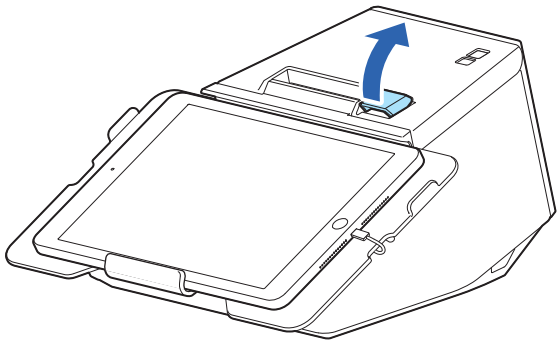
紙幅の変更

付属の紙幅 58 mm 用ロール紙ガイドを取り付けると、使用するロール紙の紙幅を 80 mm から 58 mm に変更することができます。紙幅を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

> **注意**
>
> - 紙幅を 58 mm に変更して使用すると、80 mm に戻して使用することはできません。紙に触れていない部分のプリントヘッドがプラテンローラーとこすれて破損したり、オートカッター刃が摩耗している可能性があります。
> - やむを得ず 80 mm に戻す場合は、ソフトウェア設定の変更が必要です。
>   詳細は 81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

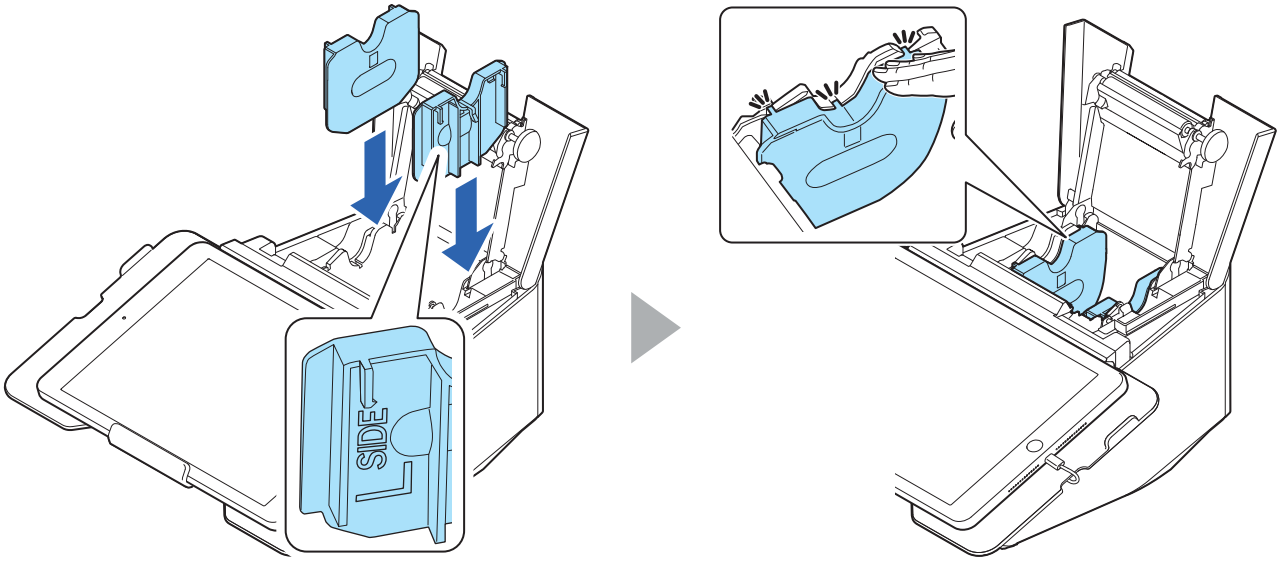
1 **プリンターの電源を切ります。**

2 **ロール紙カバーを開けます。**



3 **ロール紙ガイドの 3 箇所の突起をプリンターの角穴に合わせ、押し込みます。**

「**L SIDE**」と刻印されているロール紙ガイドを**右側**に取り付けてください。



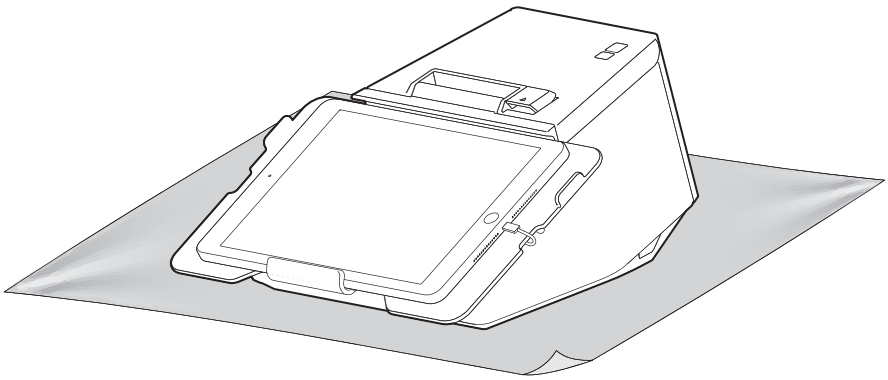
周辺機器の接続

周辺機器やインターフェイスケーブルをプリンター内部のコネクターに接続する方法を説明します。それぞれの周辺機器の接続方法は次項以降を参照してください。

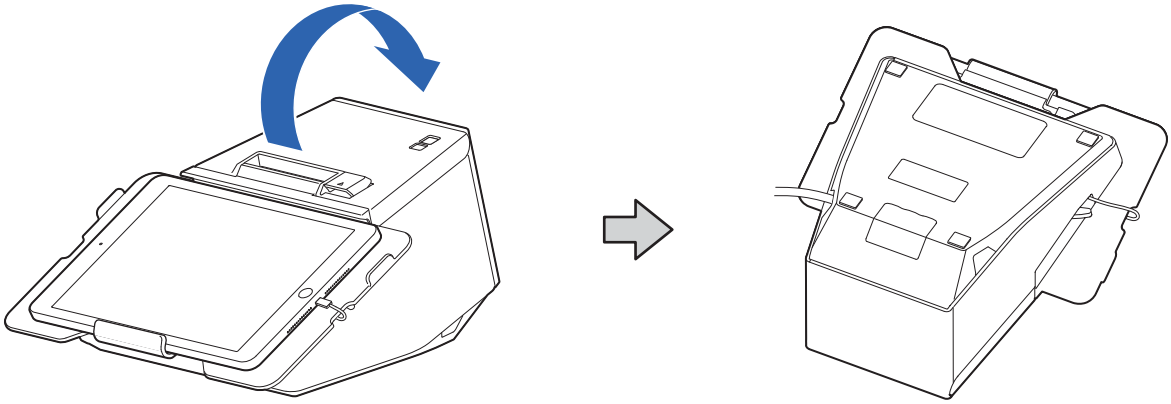
1 プリンターの電源を切ります。

2 AC ケーブルをコンセントから抜きます。

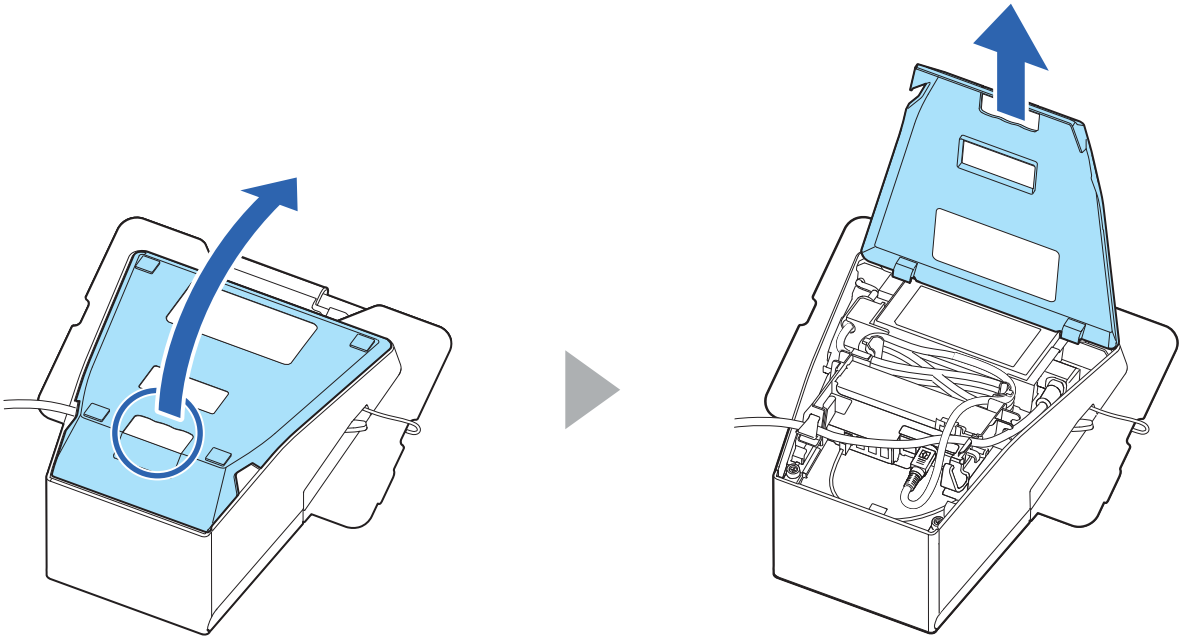
3 柔らかい布などの上にプリンターを置きます。



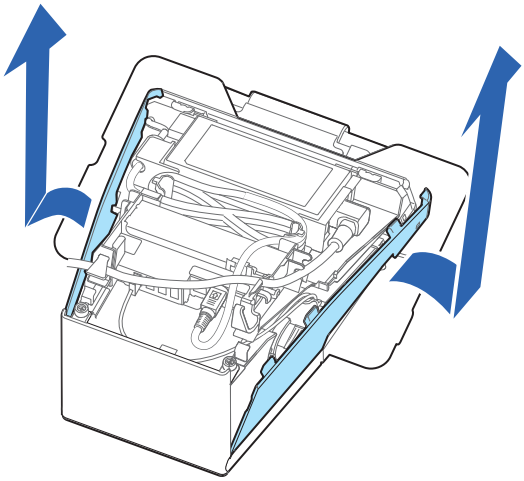
4 プリンターを裏返します。



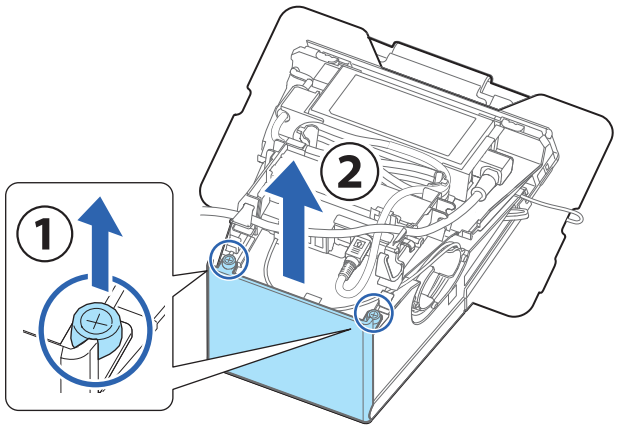
5　底面カバーを外します。



6　側面カバーを外します。

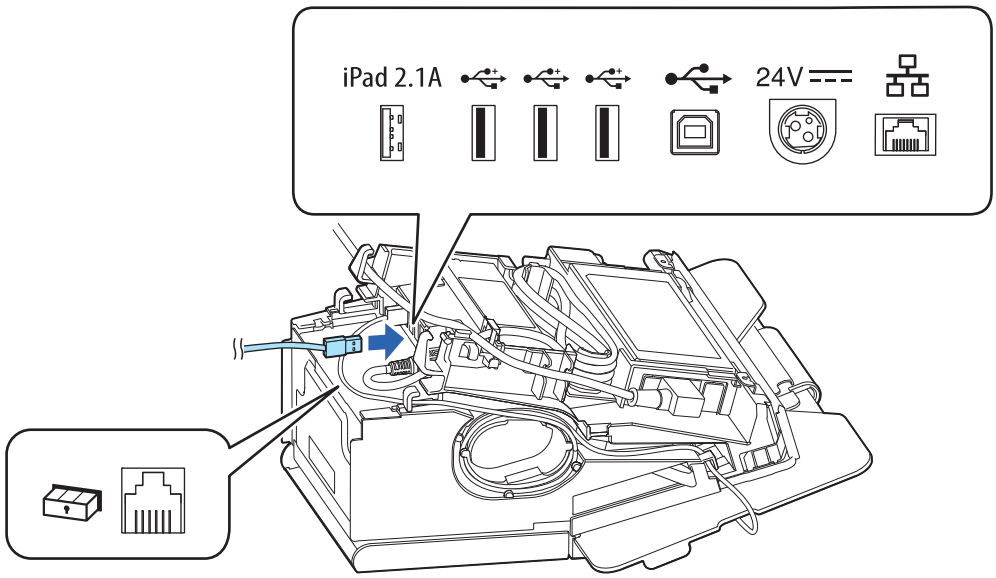


7　背面カバーを外します。



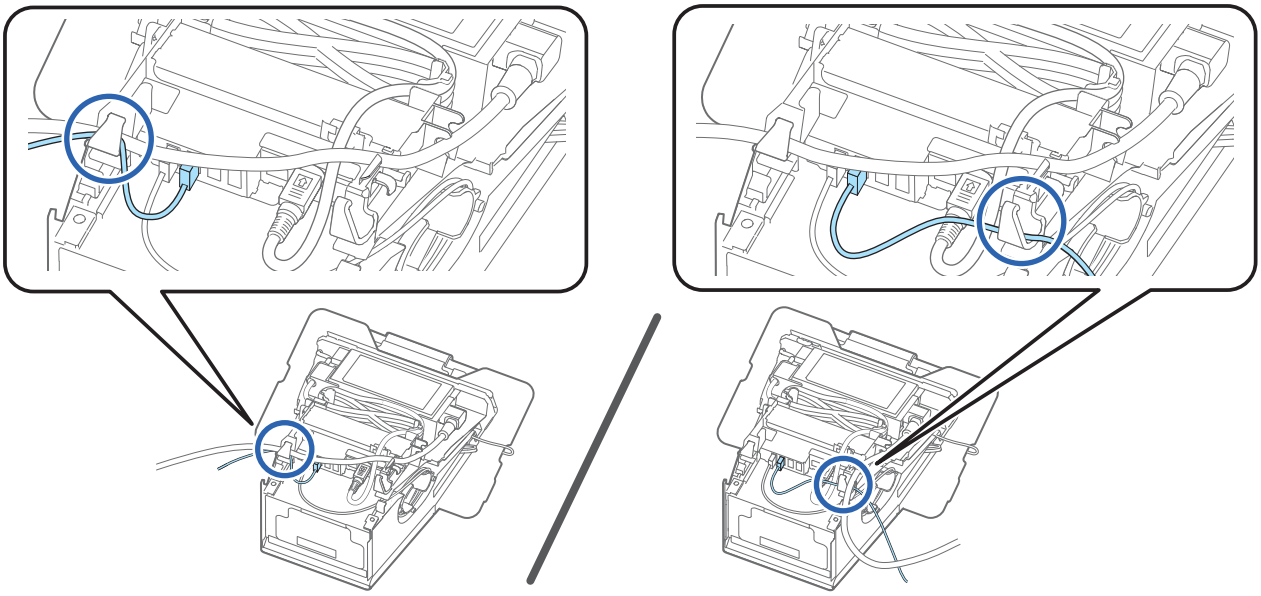
8 プリンター内部のコネクターに、インターフェイスケーブルを接続します。

各コネクターの種類は、19 ページ「コネクター」を参照してください。

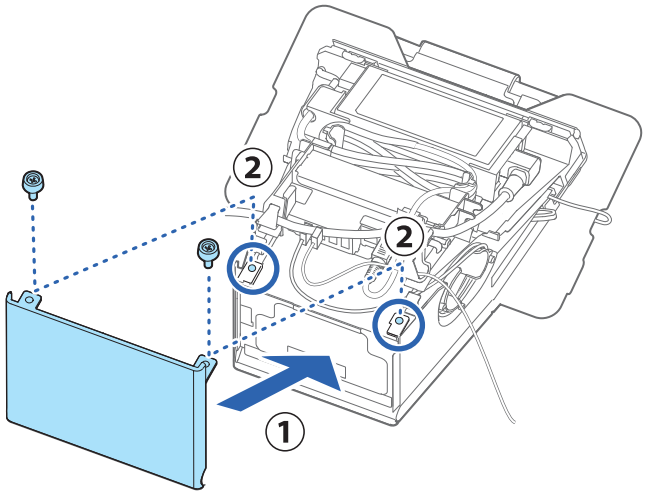


9 フックを通して、インターフェイスケーブルを引き出します。

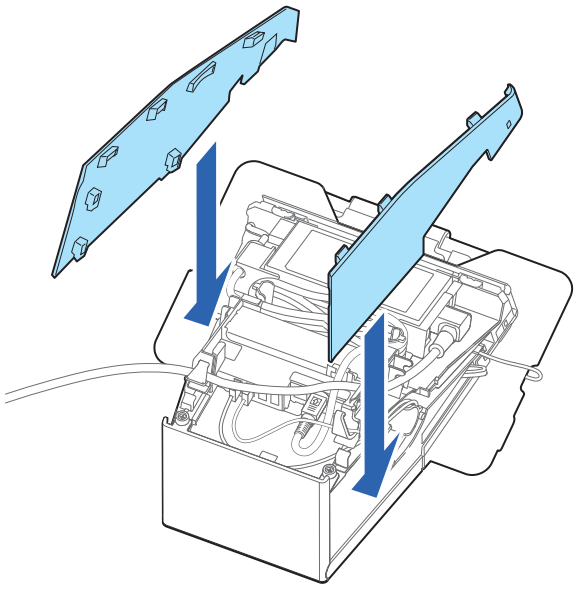
インターフェイスケーブルをプリンターの背面または底面から引き出す場合は、フックを通しません。



10 背面カバーを取り付けます。

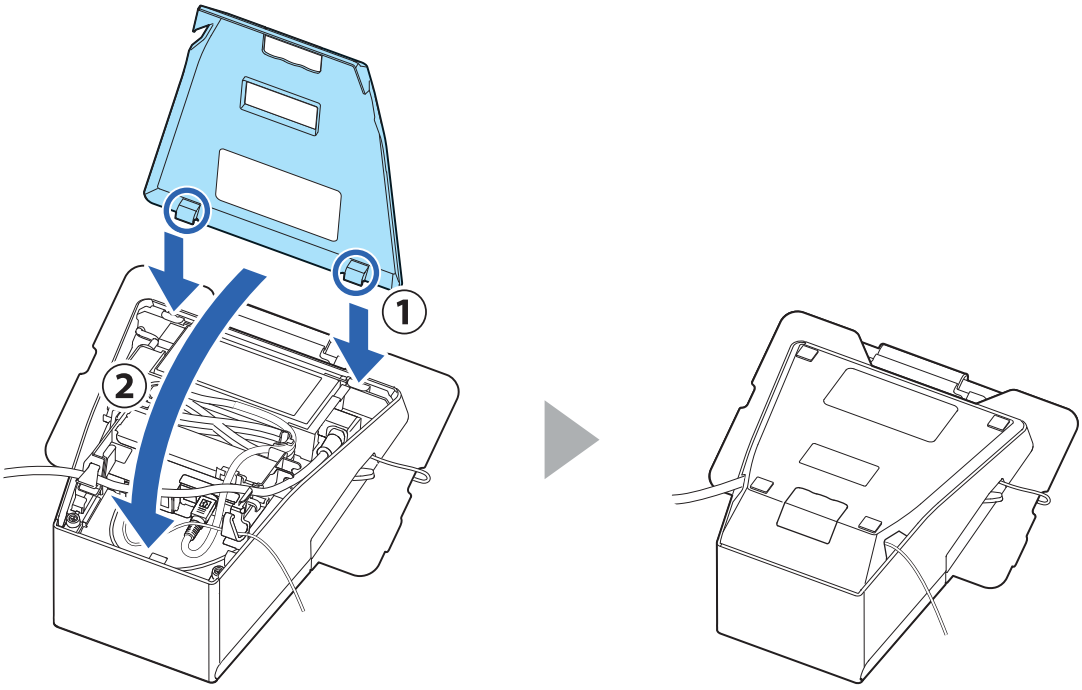


11 側面カバーを取り付けます。



12 底面カバーを取り付けます。

インターフェイスケーブルを底面カバーの左側、右側、底面側、背面側のいずれかから引き出します。



13 インターフェイスケーブルをデバイスに接続します。

14 AC ケーブルをコンセントに接続します。

⚠ 警告

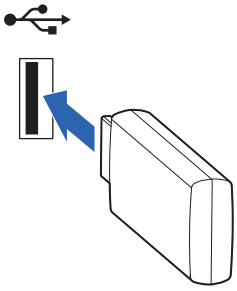
- AC アダプターの入力電圧とコンセントの電圧が適合しない場合は、AC ケーブルをコンセントに接続しないでください。プリンターが破損することがあります。
- 異常が確認されたときは、すぐにプリンターの電源を切り、AC ケーブルをコンセントから抜いてください。

無線 LAN ユニットの接続

オプションの無線 LAN ケーブルセット（OT-WL05/OT-WL06）を使用すると、本製品を Wi-Fi 接続で使用できます。取り付け方法の詳細については、無線 LAN ケーブルセットのユーザーズマニュアルを参照してください。

注意

・無線 LAN ユニットの接続は、必ずプリンターの電源を切ってから行ってください。

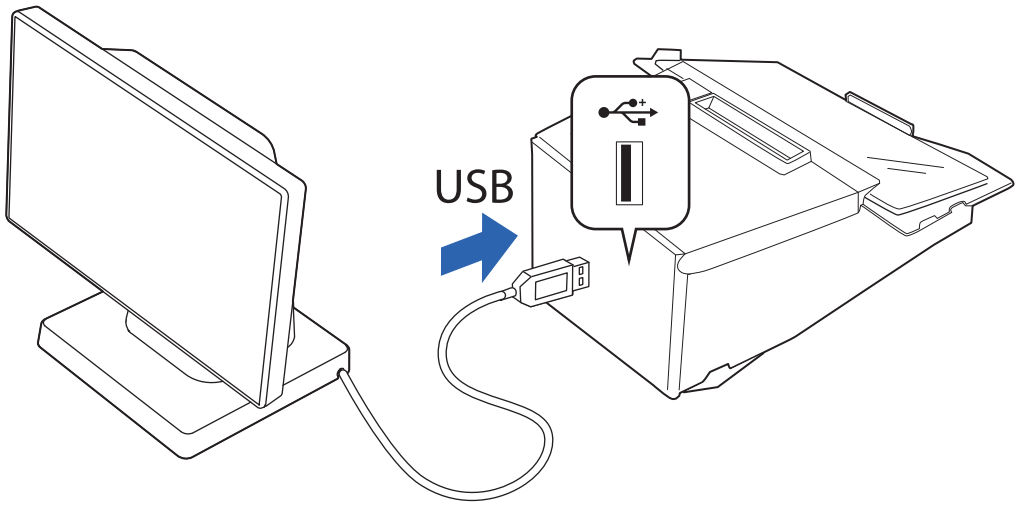


カスタマーディスプレイの接続

オプションのカスタマーディスプレイ（DM-D30/DM-D70）の USB ケーブルをプリンターの USB コネクターに差し込みます。取り付け方法の詳細については、カスタマーディスプレイのユーザーズマニュアルを参照してください。

> **注意**
> カスタマーディスプレイの接続は、必ずプリンターの電源を切ってから行ってください。

> **参考**
> オプションの専用カスタマーディスプレイ（型番：OT-DM30SL）を、プリンターの背面ディスプレイとして取り付け可能です
> ☞ 72 ページ「OT-DM30SL の取り付け方法」



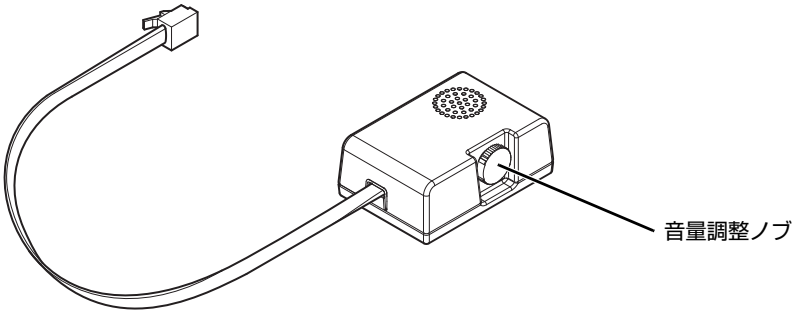
外付けオプションブザーの接続

外付けオプションブザー（型番：OT-BZ20）をプリンターのドロアーキックコネクターに接続すると、コマンドによって、あるいはエラーが起きたときや用紙の自動カット時など、プリンターが特定の動作をしたときにブザーが鳴るように設定できます。また、ブザーを鳴らす場面に応じて、ブザー音のパターンや回数を異なる設定にできます。

ブザーの有効 / 無効設定およびブザー音のパターン、回数などの設定はメモリースイッチ（カスタマイズバリュー）で行います。メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）の詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

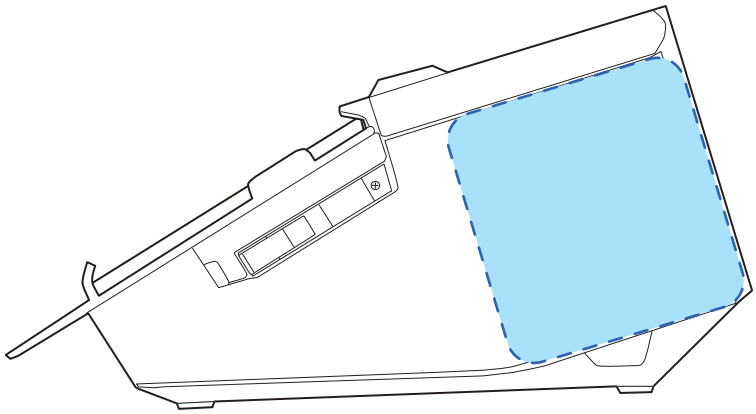
注意

- 外付けオプションブザーの接続 / 取り外しは、必ずプリンターの電源を切ってから行ってください。
- 外付けオプションブザーとキャッシュドロアーを同時に使用することはできません。分岐コネクターなどを使用して両方を同時にプリンターに接続しないでください。



取り付け位置

外付けオプションブザーは、以下の位置に取り付けることを推奨します。どちらの側面にも取り付け可能です。



注意

- ロール紙が排出される面には取り付けないでください。
- 液体などが内部に入るのを防ぐため、外付けオプションブザーの音量調整ノブが横向き、または下向きになるように取り付けてください。

キャッシュドロアーの接続

注意

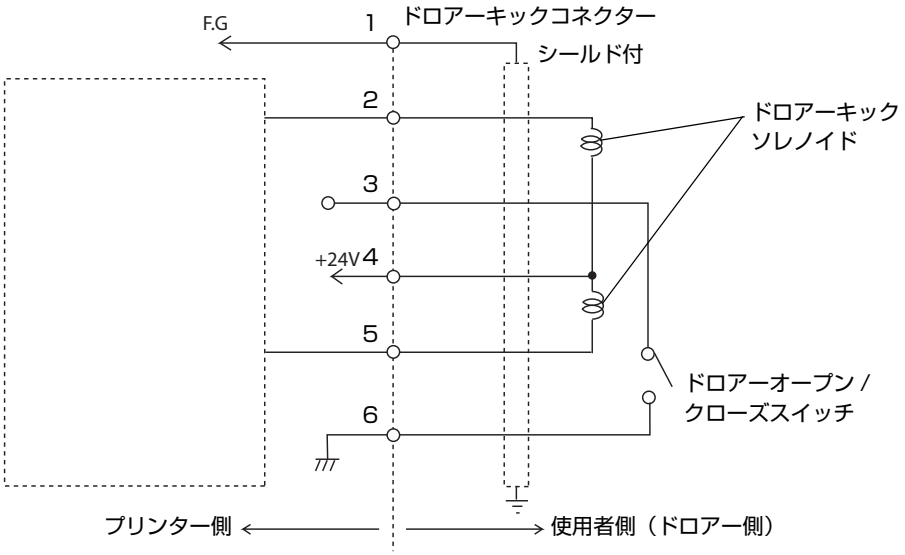
- 外付けオプションブザーとキャッシュドロアーを同時に使用することはできません。分岐コネクターなどを使用して両方を同時に接続しないでください。
- メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）のオプションブザーの有効 / 無効設定（81 ページ「ソフトウェア設定」参照）が「有効」に設定されていると、キャッシュドロアーを使用することはできません。キャッシュドロアーを使用するときは、必ず「無効」に設定してください。
- 2 ドライブを同時に駆動することはできません。
- ドロアー駆動パルスを連続して送る場合は、ドロアー駆動パルスの 4 倍以上の時間間隔をあけてください。

キャッシュドロアーの要求仕様

ドロアーの仕様は、製造メーカーやモデルによって大きく異なります。本プリンターに指定外のドロアーを接続する場合、ドロアーの仕様が以下の条件を満たすことを確認してください。
以下の条件を満たさない場合は、機器が破損するおそれがあります。

- ドロアーキックコネクター4-2ピン間または4-5ピン間にドロアーキックソレノイドなどの負荷があること
- ドロアーオープン / クローズ信号を使用する場合は、ドロアーキックコネクター3-6 ピン間にスイッチがあること
- ドロアーキックソレノイドなどの負荷の抵抗値が 24Ω 以上、または入力電流が 1 A 以下であること
- ドロアーの電源は、ドロアーキックコネクター 4 ピンの 24 V 出力以外は使用しないこと

ドロアーキックコネクター接続図

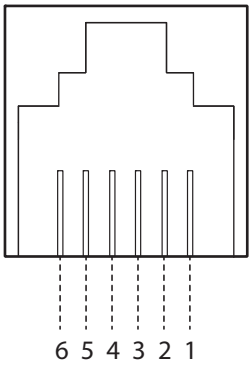


適合コネクター

モジュラーコネクター RJ12

ピン･アサイン

ピン番号	信号名	方向
1	フレーム GND	–
2	ドロアーキックドライブ信号 1	出力
3	ドロアーキックオープン / クローズ信号	入力
4	+24 V	–
5	ドロアーキックドライブ信号 2	出力
6	シグナル GND	–

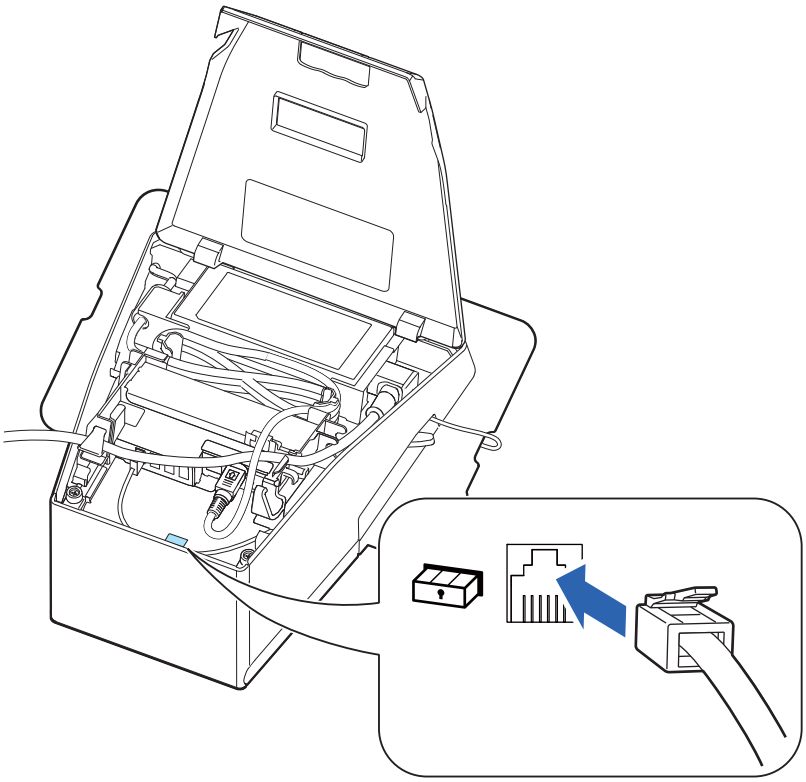


ドロアーキックケーブルの接続方法

警告

- ドロアーキックケーブルは、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- ドロアーの電源は、必ずプリンターの電源（コネクターピン 4）を使用してください。
- ドロアーキックコネクターに、一般公衆回線などのコネクターを差し込まないでください。
  一般公衆回線またはプリンターを破損するおそれがあります。

ドロアーキックケーブルをプリンターのドロアーキックコネクターにカチッという音がするまで押し込みます。



電源の接続

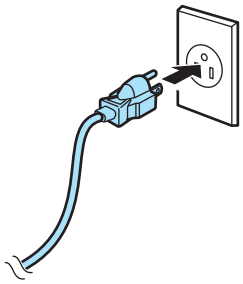
⚠ 警告

- 必ず指定の AC アダプター（PS-180）を使用してください。火災・感電のおそれがあります。
- ACアダプターの入力電圧とコンセントの電圧が適合しない場合は、ACケーブルをコンセントに接続しないでください。
  プリンターが破損することがあります。
- 異常が確認されたときは、すぐにプリンターの電源を切り、AC ケーブルをコンセントから外してください。
- AC ケーブルは、本製品に付属されているものを使用してください。

AC ケーブルの接続方法

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 AC ケーブルのプラグをコンセントに接続します。



3 プリンターの電源を入れます。

ホストとの接続

USB インターフェイス

USB ケーブルを介してホストデバイスと接続する場合は、USB ケーブルをプリンターに接続し、ホストデバイスを起動してから、プリンターの電源を入れてください。

> 注意
> USB ケーブル接続時は、ケーブルに負荷がかからないように使用してください。ケーブルやコネクターが破損する可能性があります。

有線 LAN インターフェイス

LAN ケーブルを使用して、本プリンターをハブ経由でネットワークに接続します。
ネットワークの設定は、EpsonNet Config、EpsonNet Config（Web バージョン）、または arp/ping コマンドで行います。
ネットワーク設定の詳細は、90 ページ「ネットワーク設定」を参照してください。

Bluetooth インターフェイス

お使いになる機器の *Bluetooth* ペアリング機能などにより、プリンターとの接続を確立させてください。
別途提供している EPSON TM *Bluetooth*® Connector（Windows）や、Epson TM Utility（iOS または Android）で、ペアリングすることもできます。

> 注意
> - ホストコンピューターとプリンターとの無線接続を維持するのではなく、印字を開始する際に都度接続を行う場合は、ホストコンピューターが印字開始を指示してから実際にプリンターが印字するまでに時間がかかる場合があります。これは、ホストコンピューターとプリンターとの間で、接続のための処理を行う時間が必要なためであり、必要な時間は使用環境により異なります。
> - ホストコンピューターのアプリケーションからのデータ転送がすでに終了している場合でも、*Bluetooth* モジュール内部のバッファーに、プリンターへ未送信のデータが残っている場合があります。コネクション切断時にバッファーに残っているデータは破棄されるため、印字を行う際や無線のコネクションを切断する際には、送信したデータが確実に印刷されたことをステータスなどを利用して確認してください。

> 参考
> - EPSON TM *Bluetooth*® Connector の詳細については、TM *Bluetooth*® Connector ユーザーズマニュアルを参照してください。
> - デバイス名とパスキーは、TM-m30II Utility または Epson TM Utility で編集できます。
> - *Bluetooth* セキュリティーレベルの初期設定は「Middle（中）」です。詳細については、81 ページ「ソフトウェア設定」を 参照してください。

スマートデバイスから設定する

必要なもの

以下のものをご用意ください。

- 設定用端末　　：iOS 端末または Android 端末
- 設定用ユーティリティ　：Epson TM Utility for iOS/Android

Epson TM Utility for iOS/Android の実行

1　Epson TM Utility for iOS/Android を実行します。



2　メニューの「***Bluetooth*** セットアップウィザード」から設定します。

以降画面の指示に従ってください。

Windows コンピューターから設定する

以下の手順に従って設定します。

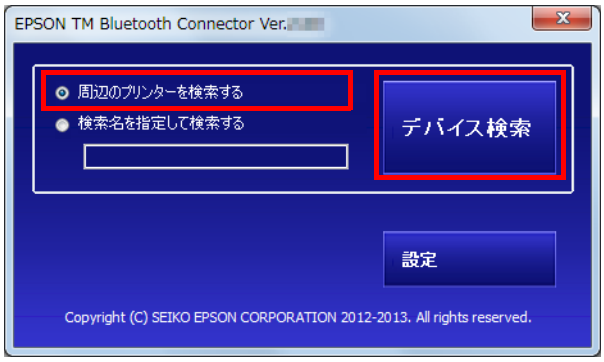
1 ***Bluetooth*** **対応のコンピューターを用意します。**

TM *Bluetooth*® Connector をインストールしておきます。

2 **プリンターの電源を入れます。**

3 **TM *Bluetooth*® Connector を起動します。**

4 **［周辺のプリンターを検索する］を選択し、［デバイス検索］をクリックします。**

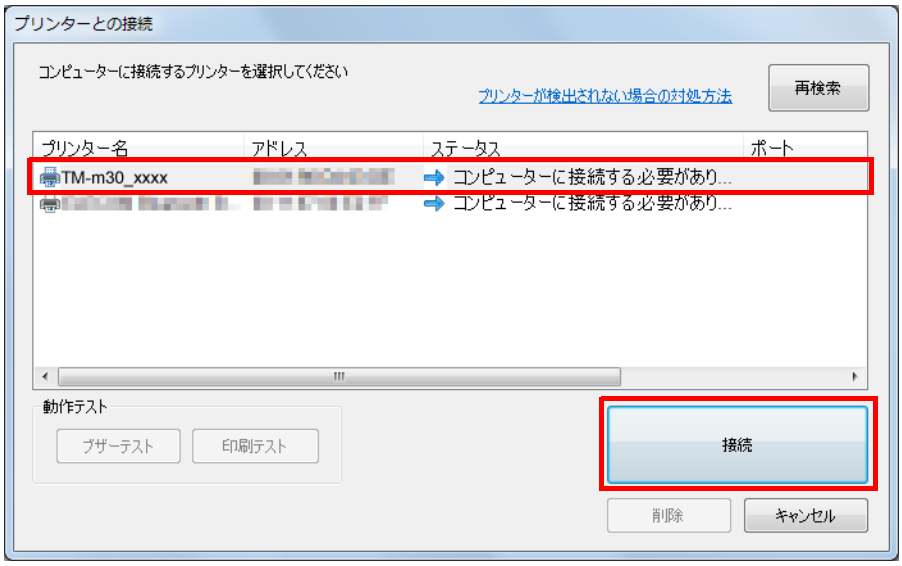


参考

［デバイス検索］をクリックしてもプリンターが見つからない場合は、*Bluetooth* ソフトウェアの製造元を確認してください。

1. OS の［コントロール パネル］を開きます。
2. コントロール パネルの検索ボックスで、「*Bluetooth*」と入力し、［*Bluetooth* 設定の変更］をクリックします。
3. ［*Bluetooth* 設定］ダイアログ ボックスで、［ハードウェア］タブをクリックし、［Microsoft *Bluetooth* Enumerator］を探します。見つからない場合、その *Bluetooth* ソフトウェアでは、Epson *Bluetooth* プリンターが検出されず、コンピューターに接続できないことがあります。

5 **ペアリングしたいプリンターを選択し、［接続］をクリックします。**



6 パスキーを入力する画面が表示されたら、パスキーを入力して［OK］をクリックします。

7 プルダウンリストから使用するポートを選択し、［OK］をクリックします。

8 ［接続完了］画面が表示されます。［ブザーテスト］または［印刷テスト］をクリックして動作を確認します。

9 ［終了］をクリックし、メイン画面に戻ります。

10 TM *Bluetooth*® Connector の［X］ボタンをクリックし、終了します。

参考

- TM *Bluetooth*® Connector で［デバイス検索］をクリックしたときにエラーが表示される場合は以下を確認してください。
  - コンピューターに *Bluetooth* のアダプターが接続されているか
  - Windows の設定で *Bluetooth* が有効になっているか
- TM *Bluetooth*® Connector でデバイスが表示されない、またはペアリング後 TM *Bluetooth*® Connector のステータスが［⊗］になる場合は、以下を確認してください。
  - プリンターの電源が入っていることを確認してください。
  - プリンターがコンピューターから 10 m 以上離れていないことを確認してください。
  - 電子レンジやコードレス電話、その他のワイヤレスデバイスなど、*Bluetooth* プリンターに干渉する他のデバイスが無いことを確認してください。
  - プリンターとコンピューターが壁をはさんで別室にある場合、プリンターとコンピューターを同じ部屋に移動してください。
  - 検索時間が短いと、プリンターを検出されないことがあります。検索時間を長くし、再検索してみてください。
  - コンピューターとプリンターが通信している間、そのプリンターは他のコンピューターから検出できません。検出しようとしているプリンターが、コンピューターと通信していないことを確認してください。

無線 LAN インターフェイス（OT-WL05/OT-WL06 使用時）

iOS 端末または Android 端末から、Epson TM Utility を使って簡単にプリンターをネットワークに接続できます。また、Windows コンピューターから SimpleAP 経由で接続し、ネットワーク設定ツール（EpsonNet Config または EpsonNet Config（Web バージョン））を使用して無線 LAN の設定を行うことを推奨します。

注意

- 無線LANを使用する場合にはLANケーブルを抜いてください。LANケーブルが接続されていると無線 LAN が無効になります。
- アクセスポイントを同時にセットアップする場合は、事前にアクセスポイントの設定を行い、正しく動作することを確認してください。
- 周辺の電波状況をよく調査したうえで、ご使用ください。
- 近隣の無線LAN機器使用店舗などが使用するチャンネルと、重ならないように調整してください。
- キッチンの電子レンジなど、電波干渉を発生させる機器がある環境でのご使用は、以下の点にご配慮ください。
  * 電波干渉を発生させる機器から、プリンターをできるだけ離して設置してください。
  * 電波干渉を発生する周波数帯から離れたチャンネルをご使用ください。
  * 電波干渉を発生させる機器とプリンターの間に、遮へい板を設置してください。
  * 干渉が発生しない周波数帯、2.4 GHz または 5 GHz のどちらかをご使用ください。
  * アクセスポイントのオートチャンネル設定時、機器が電波干渉を発生するチャンネルにならないようにご注意ください。
- OT-WL06を使用してステルスSSIDとW53またはW56で接続する場合は、ファームウェアバージョン 03.12B ESC/POS 以降が必要です。

スマートデバイスから設定する

必要なもの

以下のものをご用意ください。

- 設定用端末　　：iOS 端末または Android 端末
- 設定用ユーティリティー　：Epson TM Utility for iOS/Android

Epson TM Utility for iOS/Android の実行

1　**Epson TM Utility for iOS/Android を実行します。**



2　**メニューの「Wi-Fi セットアップウィザード」から設定します。**

以降画面の指示に従ってください。

Windows コンピューターから設定する

必要なもの

以下のものをご用意ください。

- 設定用コンピューター　：Windows 10/8/7
  無線 LAN 機能を搭載したコンピューター
- 設定用ソフトウェア　：EpsonNet Config または
  Web ブラウザー（EpsonNet Config (Web バージョン)）

以下の手順に従ってプリンターの接続を設定します。

1 **プリンターの電源を入れます。**

プリンター起動後に「SimpleAP Start」と印字されることを確認してください。
印字されない場合は、インターフェイス設定モードで SimpleAP モードを起動してください。詳細は、100 ページ「インターフェイス設定モード」を参照してください。

2 **Windows のワイヤレスネットワーク接続の機能を起動し、表示される画面で、接続するデバイスに [EPSON_Printer] を指定します。**

パスフレーズ入力の画面が表示された場合、「12345678」を入力します。
工場出荷時の設定は以下のとおりです。

ネットワークモード	SimpleAP モード
SSID	EPSON_Printer
Passphrase	12345678
IP アドレス	192.168.192.168

3 **プリンターとの接続完了後、ネットワーク設定ツール（EpsonNet Config または EpsonNet Config（Web バージョン））を使用して無線 LAN を設定します。**

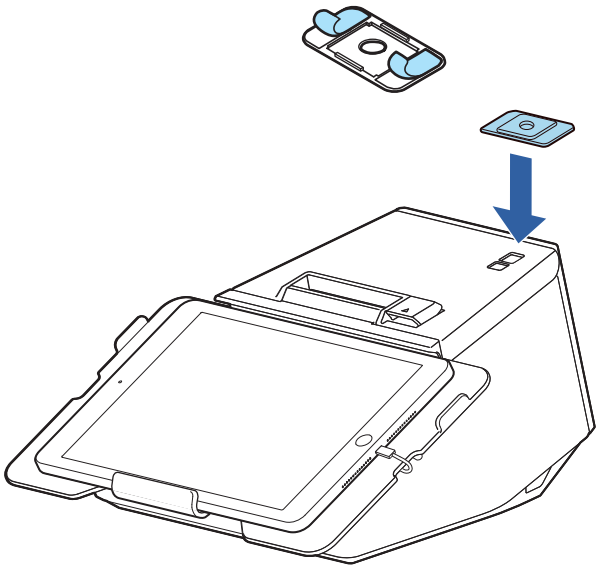
EpsonNet Config の詳細については、91 ページ「EpsonNet Config によるセットアップ」を参照してください。
EpsonNet Config（Web バージョン）の詳細については、92 ページ「EpsonNet Config（Web バージョン）によるセットアップ」を参照してください。

4 **無線 LAN 設定が完了したら、プリンターの電源を入れなおしてください。**

パワースイッチカバーの取り付け

パワースイッチを誤って押してしまうことを防ぐために、付属のパワースイッチカバーを取り付けることができます。パワースイッチカバーの穴にピンセットのような先の細いものを差し込むことによって、電源を入れたり切ったりできます。

> **警告**　パワースイッチカバーを装着した状態で異常が発生したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

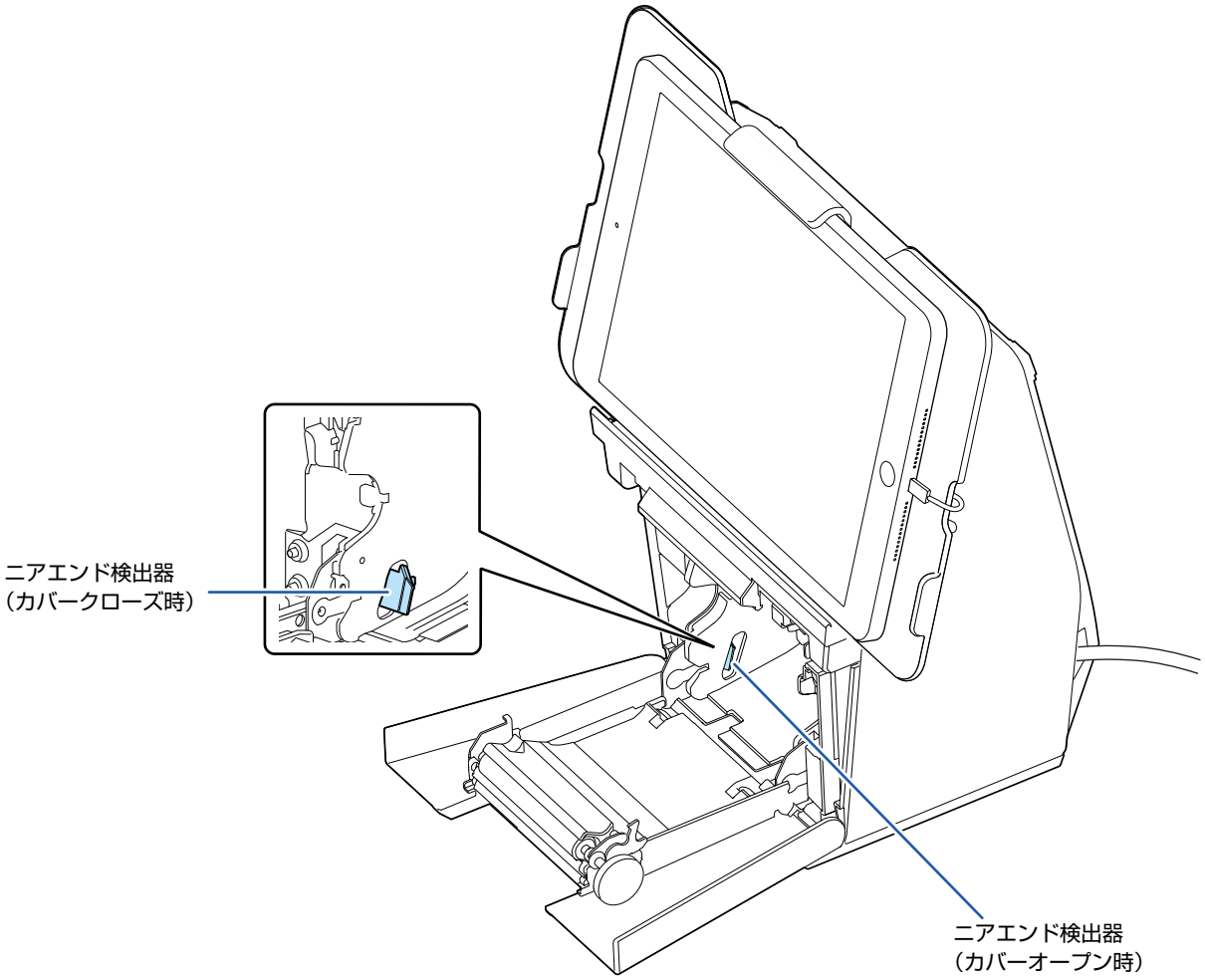


ロール紙ニアエンド検出機能の設定

ロール紙ニアエンド検出機能を有効にすると、ロール紙の残量が少なくなったことを検出できます。この機能を有効にするには、TM-m30II Utility または Epson TM Utility for iOS/Android から設定をする必要があります。

注意

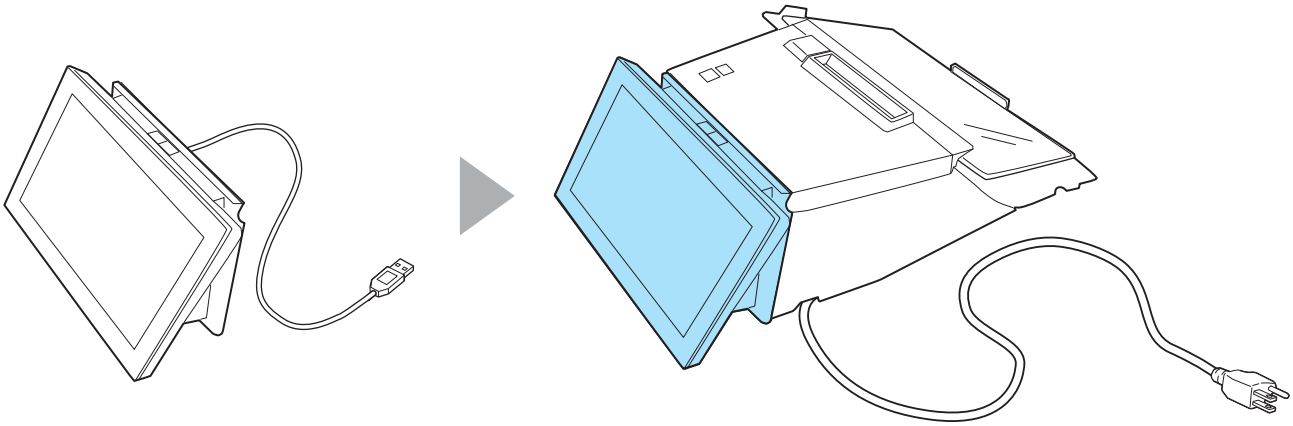
- ロール紙ニアエンド検出機能は、縦置き設置時のみ機能します。横置き設置時には機能しません。
- ロール紙の中心部は、それぞれのロール紙仕様により形状が若干異なるため、厳密にニアエンドを検出することはできません。



専用オプションの使用方法

OT-DM30SL（カスタマーディスプレイ）

オプションの OT-DM30SL は TM-m30II-SL 専用のカスタマーディスプレイです。OT-DM30SL の使用方法は以下のとおりです。

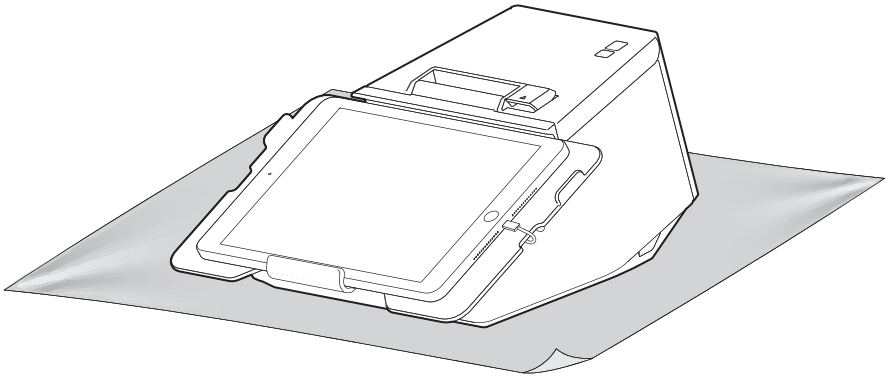


参考

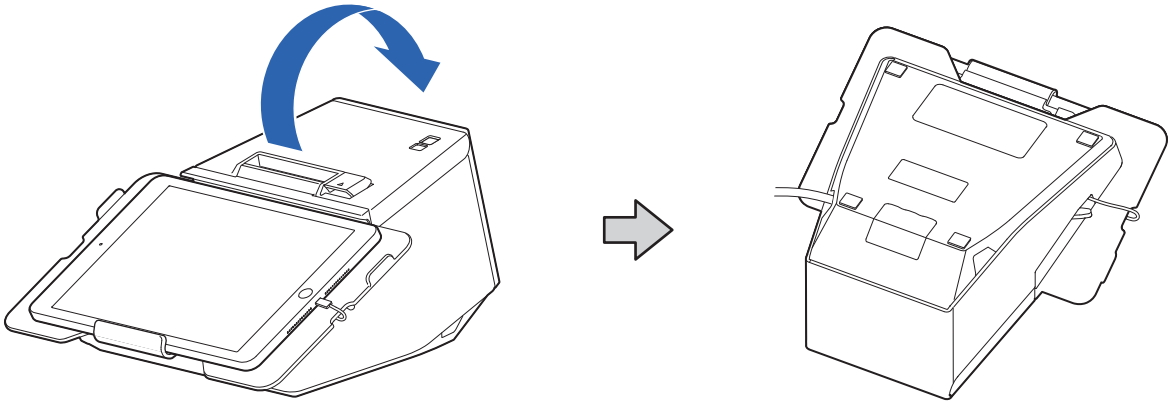
OT-DM30SL の画面の表示機能は DM-D70 と同等です。表示機能などの詳細な仕様は、DM-D70 ユーザーズマニュアルを参照してください。
☞ https://www.epson-biz.com/?prd=dm-d70&inf=manual

OT-DM30SL の取り付け方法

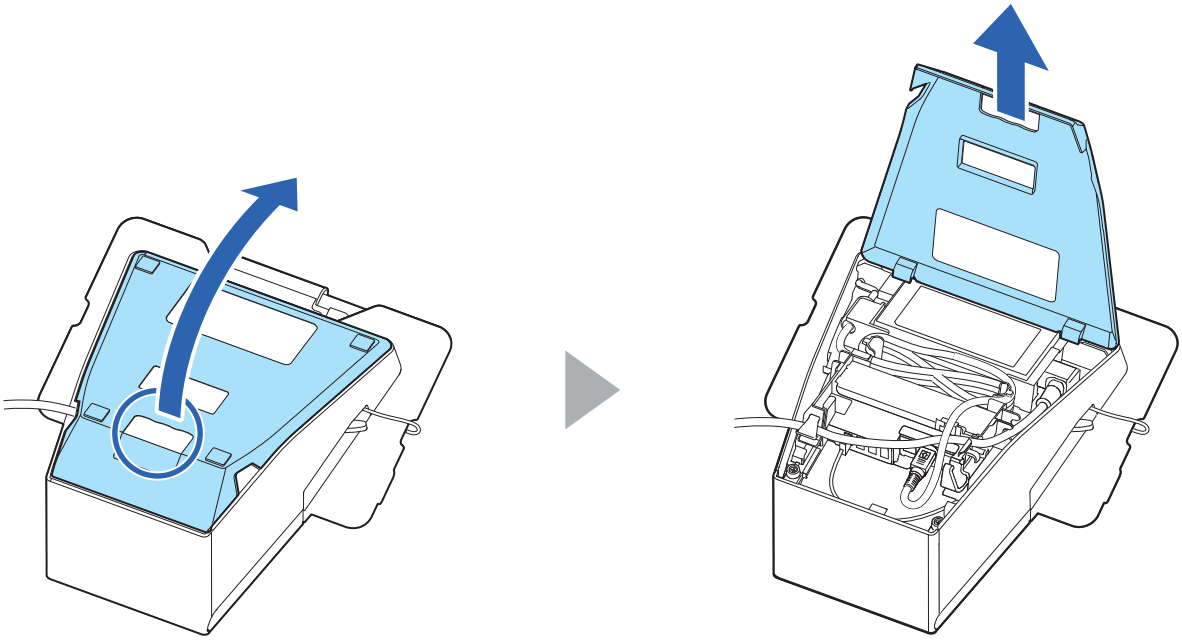
1. プリンターの電源を切ります。
2. AC ケーブルをコンセントから抜きます。
3. 柔らかい布などの上にプリンターを置きます。



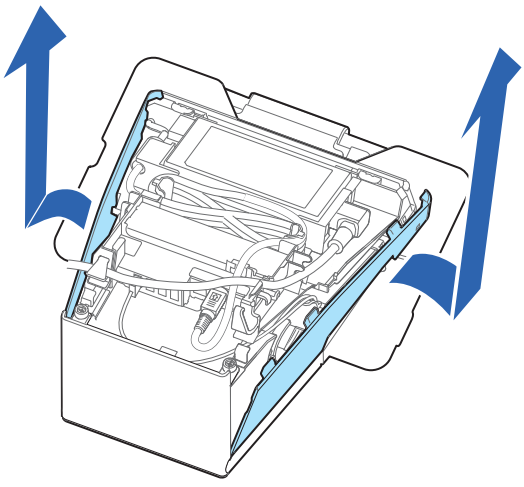
4 プリンターを裏返します。



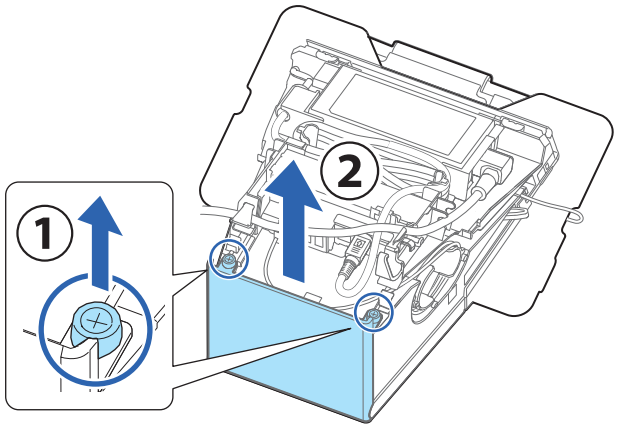
5 底面カバーを外します。



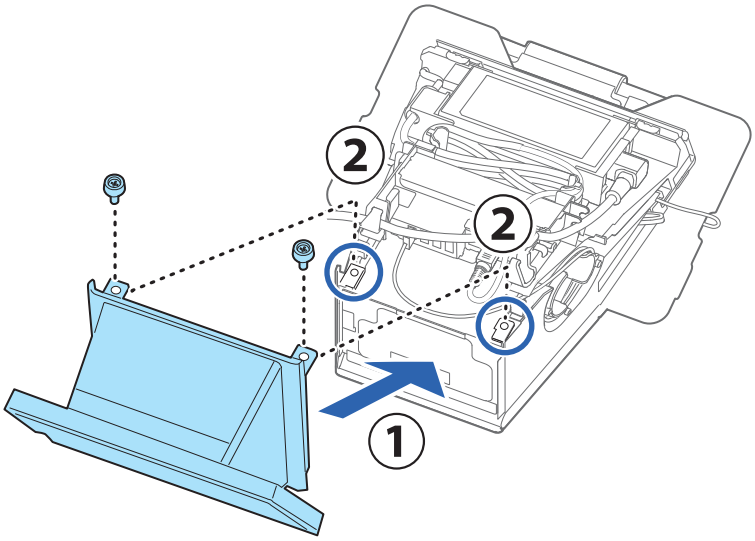
6 側面カバーを外します。



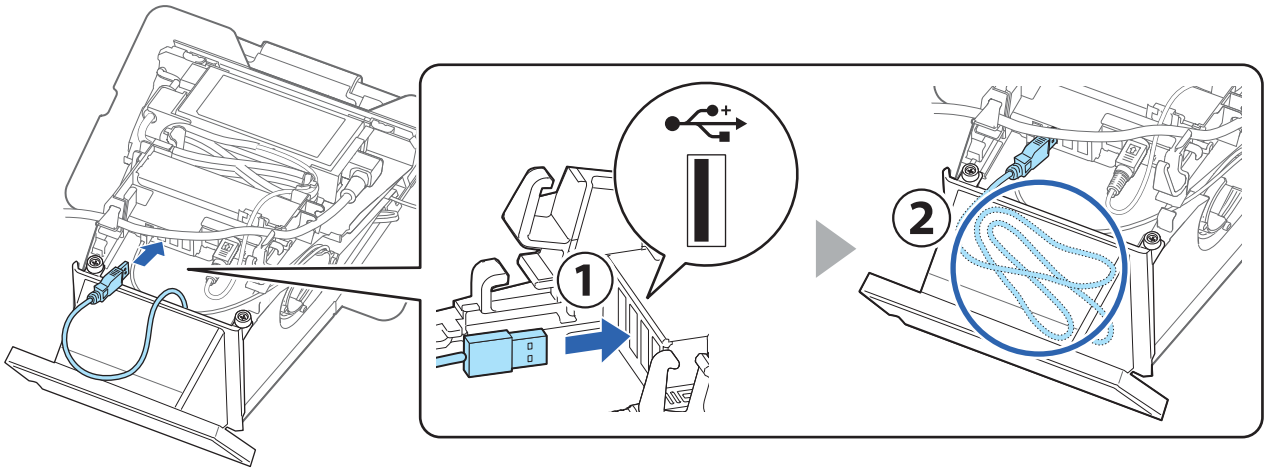
7 背面カバーを外します。



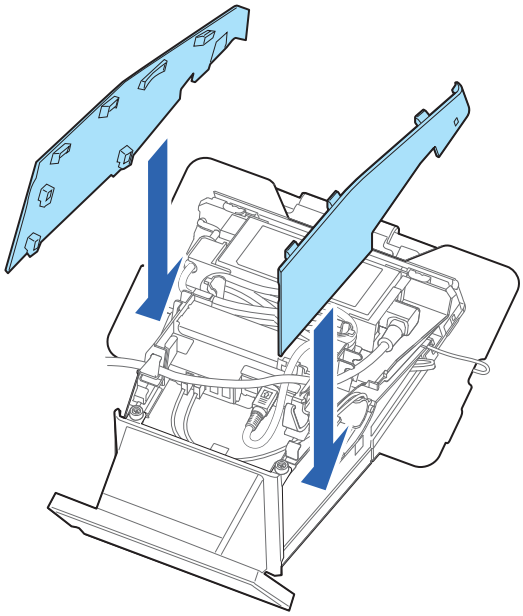
8 OT-DM30SL のフックを、プリンター側の穴に差し込み、ネジで固定します。



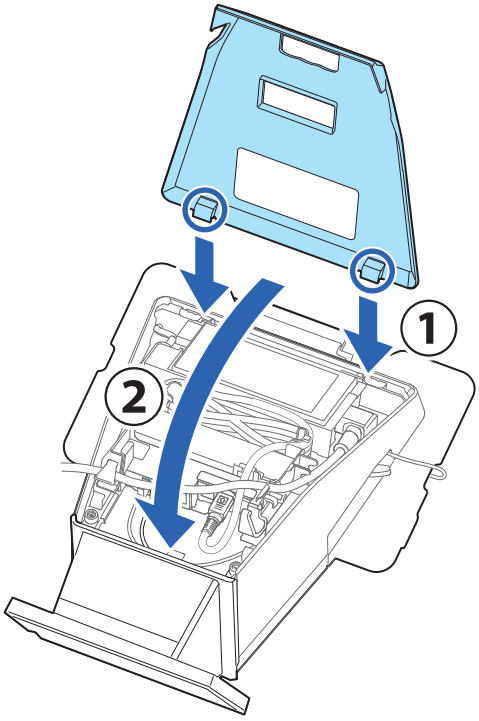
9 USB ケーブルを USB コネクターに接続してから、ケーブルがはみ出ないよう OT-DM30SL の空間に押し込みます。



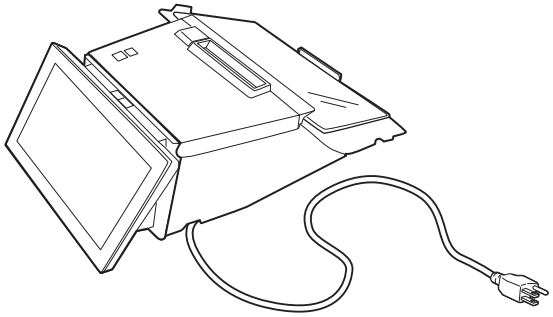
10 側面カバーを取り付けます。



11 底面カバーを取り付けます。

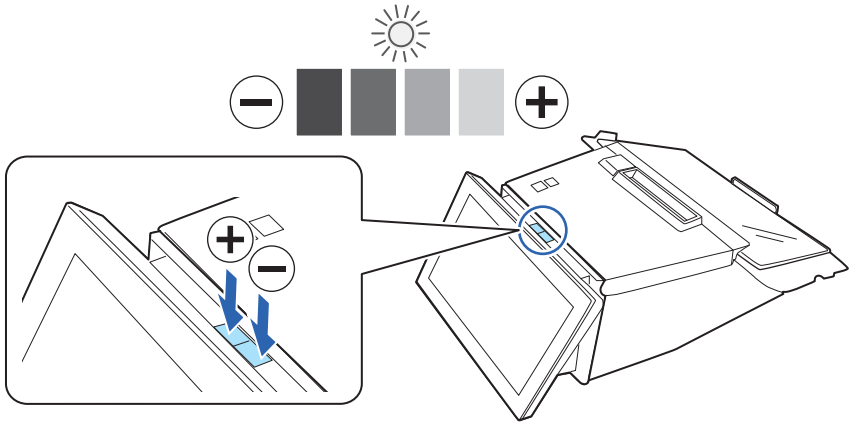


以上で、OT-DM30SL の取り付けは終了です。



画面の輝度調整

輝度調整ボタンを押すことで、画面の明るさを調整できます。明るさは 4 段階です。初期設定は、最も明るい設定になっています。



外装面のお手入れ

カスタマーディスプレイの外装面を清掃する際は、必ずプリンターの電源を切ってから、乾いた布か少し湿らせた布で汚れを拭き取ります。

注意

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- LCD 部を乾いた布等で必要以上に強く擦ると、傷が付くことがあります。

製品仕様

画面サイズ	7 インチ（800 x 480 pixel）	
表示方式	TFT LCD（1620 万色）	
供給電源	USB バスパワー	
消費電流	動作時	0.5 A （最大）
温度 / 湿度	動作時	5 ～ 45 ℃、10 ～ 90%RH 非結露
	保存時	-10 ～ 50 ℃、10 ～ 90%RH 非結露
標高	3,000 m 以下	
外形寸法	180 x 140 x 105 mm（W x D x H）	
質量	約 0.58 kg	

参考

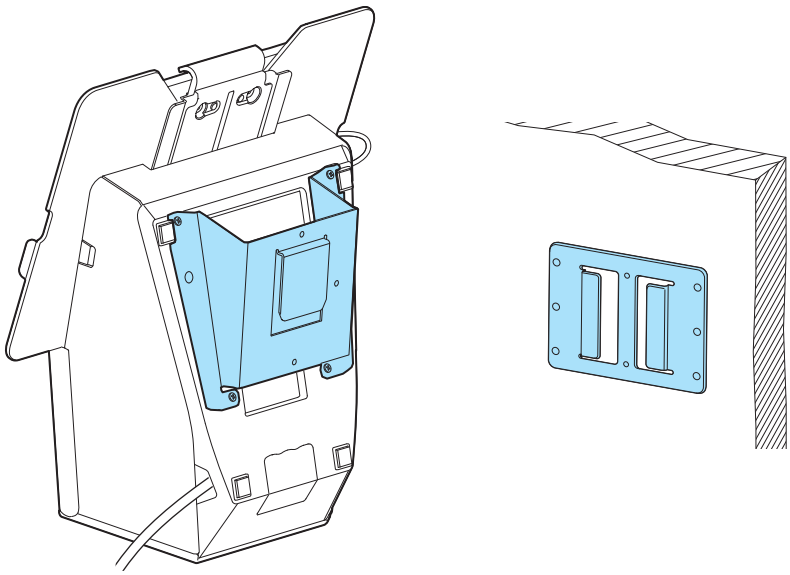
OT-DM30SL の画面の表示機能は DM-D70 と同等です。表示機能などの詳細な仕様は、DM-D70 ユーザーズマニュアルを参照してください。
☞ https://www.epson-biz.com/?prd=dm-d70&inf=manual

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

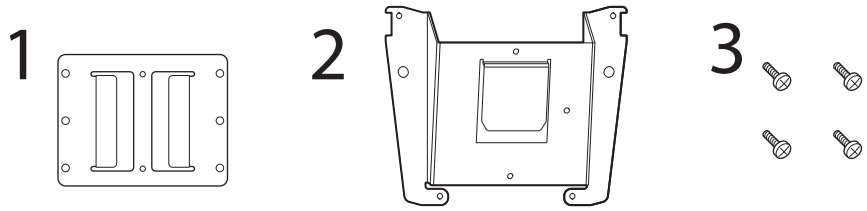
OT-WH30SL（壁掛け金具）

オプションの OT-WH30SL は TM-m30II-SL を壁に取り付けて使用するための専用の壁掛け金具です。



OT-WH30SL 同梱品

1. 壁掛け金具
2. ハンガー
3. ハンガー取り付けネジ４本（3×8)



OT-WH30SL の使用方法

OT-WH30SL の使用方法は以下のとおりです。
プリンターが壁から落下しないように、注意点などを良くお読みください。

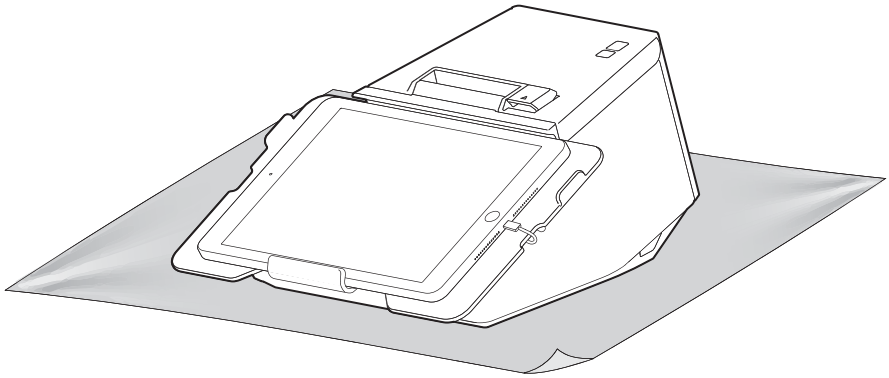
参考

- 壁掛け金具を取り付けるためのネジは同梱していません。壁の材質に合ったネジを用意してください。
- 壁掛け金具およびハンガーは、輸送中や保管中の環境条件により、端面に多少のさびが発生することがあります。その場合は紙やすりなどで、さびを取り除いてください。

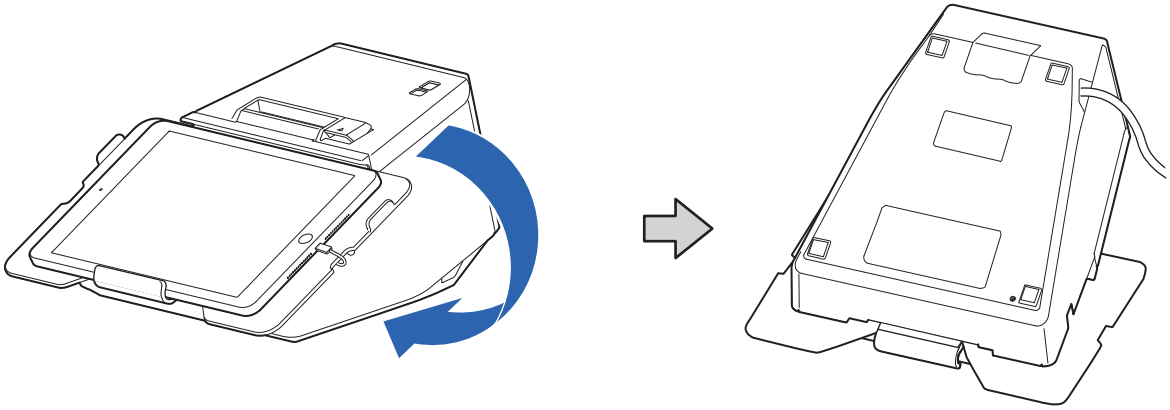
1　プリンターの電源を切ります。

2　AC ケーブルをコンセントから抜きます。

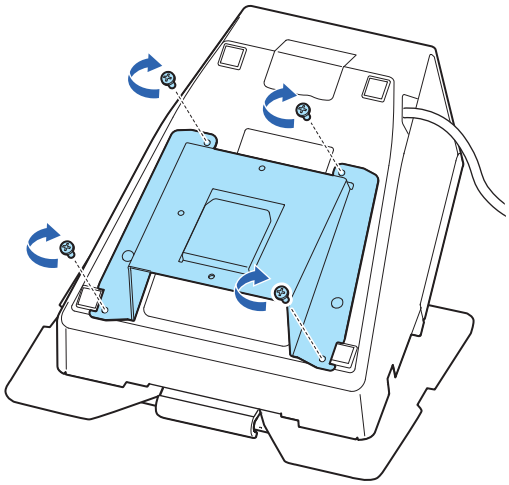
3 柔らかい布などの上にプリンターを置きます。



4 プリンターを裏返します。



5 ハンガーを同梱のネジ４本を使って取り付けます。

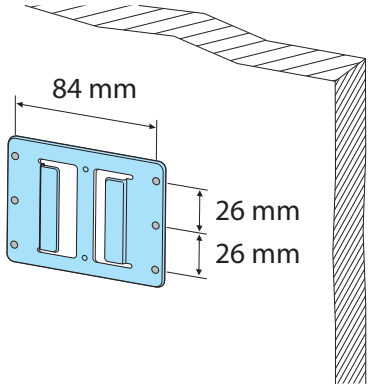


注意	ネジを完全に締めてください。完全に締まっていないと、金具やプリンターが落下したり倒れたりしてけがや事故の原因となります。

6 壁に壁掛け金具を取り付けます。

注意

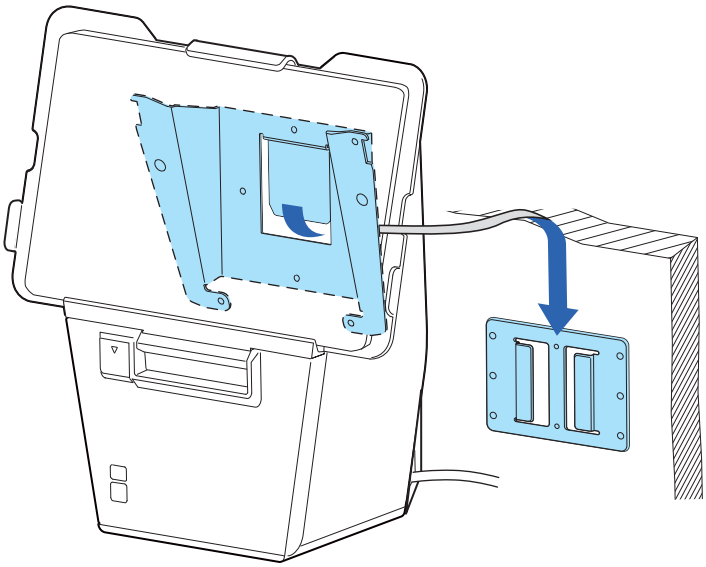
- プリンターを確実に固定するために、木、コンクリート、または金属の壁に壁掛け金具を取り付けてください。壁の厚さは 10 mm 以上を推奨します。
- 壁掛け金具の取り付けネジは、プリンターを保持するのに十分な強度が得られるように、壁の状態に合った、また壁へのねじ込みの長さが十分に確保できるネジを選んでください。ネジは径が 4 mm、長さが 12 mm 以上のものを推奨します。
- 壁掛け金具の壁への取り付けは、金具にあるネジ穴6個全てを使用して固定してください。
- 壁掛け金具の取り付けの際は、プリンターの周囲に十分なスペースがある場所を選んでください。
- プリンターのロール紙カバーが開いた状態で十分なスペースがあることを確認してください。



7 ハンガーを壁掛け金具の溝に差し込みます。

注意

取り付けの際、壁掛け金具が壁に確実に固定されているか再確認してください。



高度な活用法

ソフトウェア設定

本プリンターには、ソフトウェアの設定機能としてメモリースイッチおよびカスタマイズバリューがあり、プリンターのさまざまな設定が行えます。
各機能の概要は、次項を参照してください。設定は、下表のいずれかの方法、または ESC/POS コマンドで行えます。

設定項目＼設定方法		TM Utility for iOS, for Android	TM-m30II Utility for Windows	ソフトウェア設定モード
メモリースイッチ	受信バッファー容量	✔	✔	✔
	BUSY となる条件	✔	✔	✔
	自動改行	✔	✔	✔
	USB 省電力機能	✔	✔	✔
	受信バッファー BUSY の解除条件	✔	✔	✔
	紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択	✔	✔	✔
	エラー信号の設定	✔	✔	✔
	印刷開始時微小送り	✔	✔	✔
	ロール紙ニアエンド検出	✔	✔	✔
	ネットワークテザリング	✔*1	✔	✔
カスタマイズバリュー	ユーザー NV メモリー容量			✔
	NV グラフィックスメモリー容量			✔
	ロール紙の用紙幅	✔	✔	✔
	印字濃度	✔	✔	✔
	印字速度	✔	✔	✔
	タイ文字印字モード	✔	✔	✔
	文字コードテーブルの初期値		✔	✔
	国際文字の初期値		✔	✔
	有効なインターフェイスの選択	✔	✔	✔
	桁数エミュレーションの選択	✔	✔	✔
	オフライン中コマンド実行	✔	✔	✔
	バックフィードによるトップマージンの指定	✔	✔	✔
	有効インターフェイスの切り替え時間	✔	✔	✔
	主接続インターフェイスの選択	✔	✔	✔
	カバークローズ時の用紙自動カット	✔	✔	✔
	用紙節約	✔	✔	✔

設定項目＼設定方法		TM Utility for iOS, for Android	TM-m30II Utility for Windows	ソフトウェア設定モード
カスタマイズバリュー	フォント A の自動置き換え			✔
	フォント B の自動置き換え			✔
	フォント C の自動置き換え			✔
	漢字フォントの優先度設定			✔
	多階調印字時の印字濃度	✔	✔	✔
	オプションブザー		✔	✔
	まとめ印刷（180 度回転）	✔	✔	
USB インターフェイスの通信条件			✔	✔
Bluetooth **インターフェイスの通信条件**		✔	✔	
Bluetooth **省電力モード時の通信間隔**		✔	✔	✔

*1：TM Utility for iOS のみ

参考

- ソフトウェア設定モードについては、98 ページ「ソフトウェア設定モード」を参照してください。
- ESC/POS コマンドでは全ての設定が行えます。

機能

受信バッファー容量

- 4K バイト（初期設定）
- 45 バイト

参考

- *Bluetooth* インターフェイスの受信バッファー容量は 64K バイトになります。
- USB-A Device Charging インターフェイスの受信バッファー容量は8Kバイトになります。

BUSY となる条件

- 受信バッファーフル / オフライン（初期設定）
- 受信バッファーフル

参考

設定によらず、電源投入時およびセルフテスト実行時は常に BUSY 状態となります。

自動改行

- 常時無効（初期設定）
- 常時有効

USB 省電力機能

- 無効
- 有効（初期設定）

参考

USB 省電力機能は、USB インターフェイスの通信条件がベンダー定義クラスで、かつ、USB ドライバーが USB の省電力機能をサポートできるシステム構成の場合のみ有効です。

受信バッファーBUSY の解除条件

- 残 256 バイトで BUSY 解除（初期設定）
- 残 138 バイトで BUSY 解除

参考

受信バッファー容量を 4K バイトに設定した場合のみ有効です。

紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択

- 紙エンド検出器（初期設定）
- 無効

エラー信号の設定

- 有効（初期設定）
- 無効

印刷開始時微小送り

- 無効
- 有効（初期設定）

参考

- 本機能を使用した場合には、トップマージンは約 10.5 mm となります。
- バックフィードによるトップマージンの指定を、初期設定値（9.5mm（バックフィードなし））から変更すると、本設定は無効になります。

ロール紙ニアエンド検出

- 無効（初期設定）
- 有効

ネットワークテザリング

- 無効（初期設定）
- 有効

ロール紙の用紙幅

- 80 mm （初期設定）
- 58 mm

参考　80 mm から 58 mm に変更する場合には、紙幅が自動的に検知されるため設定不要です。

印字濃度

70 ～ 120%（5% 刻み）から選択可能
初期設定：100%
良好な印字品質を確保するため、使用する用紙に合わせて下表のように印字濃度を設定することをお勧めします。

指定原紙	印字濃度
TF50KS-EY、TF60KS-E、PD160R、PD190R、P220AGB-1、AP45KS-ND、AP50KS-ND、KT55PF	100%
P5047(48)	105%
KT48FA、KT55FA、KT48PF、P5047(55)	110%

参考　印字濃度を高く設定するほど、印字速度は低下しやすくなります。

印字速度

レベル 1 ～ 13（遅い～速い）から選択可能
初期設定：レベル 13

参考　印字デューティー、ヘッド温度、データ転送速度などの印字条件によっては、印字速度が自動調整され、間欠印字（印字途中でモーターが時々停止する）による白スジが印刷されることがあります。これを防ぐには、印字速度の設定を低速にしてください。

タイ文字印字モード

- Thai 1 pass（初期設定）
- Thai 3 pass

文字コードテーブルの初期値

43 のコードページとユーザー定義ページから指定可能
初期設定：PC437: USA, Standard Europe

国際文字の初期値

18 セットから指定可能
初期設定：アメリカ

有効なインターフェイスの選択

- *Bluetooth*
- Built-in USB
- Ethernet/Wi-Fi
- USB-A - Device Charging
- 全インターフェイス有効 （初期設定）
- *Bluetooth* 以外の全インターフェイス有効

参考

タブレット端末を USB コネクター（USB-A - Device Charging）に接続して、端末を充電しながら本製品と *Bluetooth* 接続する場合は、「*Bluetooth*」を選択してください。
この場合の供給電流は、ファームウェアバージョンによって異なりますのでご注意ください。
- 03.11B ESC/POS 以降：iOS 端末で最大 2.1 A、Android 端末で最大 1.5 A
- 03.11B ESC/POS より前：端末によらず最大 0.5 A

また、接続するタブレットによっては充電できない場合がありますので、事前に十分な確認および評価を行なった上でご使用ください。

桁数エミュレーションの選択

- 48/35 桁モード（標準桁モード）（初期設定）
- 42/32 桁モード

オフライン中コマンド実行

- 有効（初期設定）
- 無効

バックフィードによるトップマージンの指定

- 2.0 mm
- 9.5 mm（バックフィードなし）（初期設定）

注意

- バックフィード時に用紙を押さえる機構を搭載したモデルでは、横置き設置で使用する場合に限り、印刷する前に排出口にある用紙を取り除いてください。
  それ以外のモデルでは、設置方向によらず印刷する前に排出口にある用紙を取り除いてください。
  モデルの識別方法については、153 ページ「モデルの識別方法」を参照してください。
- バックフィードを有効にする場合には、自動トップロゴ印字指定は無効に設定してください。
- バックフィードを有効にしても、セルフテスト中はバックフィードされません。
- トップマージンの指定を 5 mm 以下に設定する場合は、使用環境下で不具合が発生しないかを確認してください。高温多湿の環境や、カールしやすい紙を使用した場合、紙ジャムが発生しやすくなることがあります。
- バックフィード実施時、紙のたるみにより、しわやスレ汚れが発生する場合があります。耐摩擦性の強いサーマル紙を使用することをお勧めします。
- オートカッター動作は、20 mm 以上紙送りをした後に行ってください。紙送りが短いと、紙詰まりの原因となります。

参考

TM-m30II Utility および TM Utility for iOS/Android を使用した場合には、0.5 mm 刻みで数値を指定できます。

有効インターフェイスの切り替え時間

1 ～ 10 秒（1 秒刻み）から選択可能
初期設定：1 秒

主接続インターフェイスの選択

- Auto（最初にデータを受信したインターフェイス）（初期設定）
- USB
- *Bluetooth*
- Ethernet/Wi-Fi
- 主接続なし

注意

- 複数のインターフェイスで本プリンターを使用する場合は、常時接続して使用するインターフェイスを主接続に設定してください。
- 複数のインターフェイスを使用する場合は、受信バッファー容量を 4 KB に設定してください。
- 有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。
- *Bluetooth* を使用しない場合は、第三者による不正なペアリングを防止するため、*Bluetooth* セキュリティーレベルを「Middle（中）」または「High（高）」に設定してください。
  セキュリティーレベルは、Epson TM Utility、TM-m30II Utility、またはインターフェイス設定モードで変更できます。

参考

- インターフェイスの構成によって表示される項目が異なります。
- 機能については、29 ページ「複数インターフェイスによる印刷」を参照してください。

カバークローズ時の用紙自動カット

- カットする（初期設定）
- カットしない

用紙節約

上余白の削減

- 削減しない（初期設定）
- 削減する

下余白の削減

- 削減しない（初期設定）
- 削減する

行間の削減率

- 削減しない（初期設定）
- 25%
- 50%
- 75%

改行の削減率

- 削減しない（初期設定）

- 25%
- 50%
- 75%

文字高さの削減

- 削減しない（初期設定）
- 文字内余白 25%
- 文字内余白 50%
- 文字内余白 75%
- 文字内余白 75% と文字高さ縮小

バーコード高さの削減率

- 削減しない（初期設定）
- 25%
- 50%
- 75%

参考

- 「文字内余白 75% 削減と文字高さ縮小」の対象文字はフォント A とフォント B です。これ以外の漢字などの文字は対象外です。
- グラフィックデータ中の空白ドットラインに対して用紙節約機能は働きません。
- バーコード高さを削減する場合、バーコード読み取りについては保証されません。あらかじめ使用者側で使用するバーコードリーダーでの読み取り確認をしてください。

フォント A の自動置き換え

- 置き換えなし（初期設定）
- フォント B
- フォント C

フォント B の自動置き換え

- 置き換えなし（初期設定）
- フォント A
- フォント C

フォント C の自動置き換え

- 置き換えなし（初期設定）
- フォント A
- フォント B

漢字フォントの優先度設定

- Japanese（初期設定）
- Simplified Chinese
- Traditional Chinese
- Korean

多階調印字時の印字濃度

70 ～ 100%（5% 刻み）から選択可能
初期設定：100%

オプションブザー

参考

- オプションブザーの接続方法は、60 ページ「外付けオプションブザーの接続」を参照してください。
- オプションブザーの有効 / 無効設定が「有効」に設定されていると、キャッシュドロアーを使用することはできません。キャッシュドロアーを使用するときは、必ず「無効」に設定してください。

有効 / 無効設定

- 無効（初期設定）
- 有効

エラー時鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ
- 鳴り続ける（初期設定）

オートカットコマンド鳴動パターン

パターン A ～ E から選択
初期設定：パターン A

オートカットコマンド鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

指定パルス発生コマンド 1 鳴動パターン

パターン A ～ E から選択
初期設定：パターン A

指定パルス発生コマンド 1 鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

指定パルス発生コマンド 2 鳴動パターン

パターン A ～ E から選択
初期設定：パターン B

指定パルス発生コマンド 2 鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

まとめ印刷（180 度回転）

- 無効（初期設定）
- 有効

USB インターフェイスの通信条件

クラス

- プリンタークラス（初期設定）
- ベンダー定義クラス

> 参考
>
> 本設定は USB コネクター（Type-B）のみに適用されます。

Bluetooth インターフェイスの通信条件

- デバイス名（初期設定：TM-m30II-SL_xxxxxx）
- パスキー（初期設定：0000）
- セキュリティー（初期設定：Middle（中））
- iOS デバイスの自動再接続（初期設定：有効）

> 参考
>
> デバイス名の初期設定は、TM-m30II-SL_xxxxxx です。xxxxxx は、プリンターのシリアルナンバー下 6 桁が入ります。

Bluetooth 省電力モード時の通信間隔

- Level 1（通常）（初期設定）
- Level 2（短い）

> 参考
>
> 「Level 2（短い）」に設定を変更することで、印刷開始までの時間やプリンターに接続したカスタマーディスプレイに表示されるまでの時間を短縮できます。
> ただし、通信頻度が増えるため、プリンターおよびホストの消費電力は大きくなります。
> また、ホストによっては本設定が有効とならず、ホストが指定した通信間隔となる場合があります。

ネットワーク設定

プリンターを、使用するネットワークに接続するためのネットワーク設定の手順を示します。

設定方法

ネットワーク設定には、以下の 3 つの方法があります。

方法 1: EpsonNet Config によるセットアップ

コンピューターにネットワーク設定ツール EpsonNet Config をインストールして設定する方法です。
セットアップできるようにするための事前設定が不要なため、ネットワークに接続された既存のコンピューターを使って簡単にセットアップできます。
EpsonNet Config は、弊社 Web サイトからダウンロードしてください。

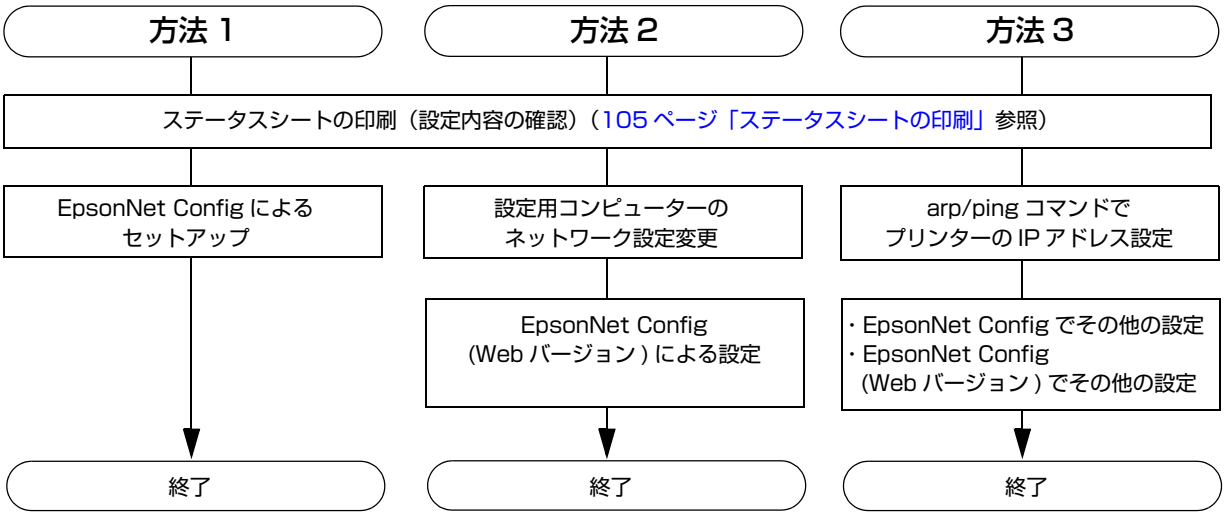
方法 2: EpsonNet Config (Web バージョン) によるセットアップ

Web ブラウザーからプリンターに搭載されている Web アプリケーションを開いて設定する方法です。
プリンターの IP アドレスを指定して開くため、使用するコンピューターをプリンターと同じネットワークセグメントに設定する必要があります。
EpsonNet Config (Web バージョン) では、EpsonNet Config より多くの項目を設定できます。

方法 3: arp/ping コマンドによるセットアップ

設定用コンピューターの arp/ping コマンドでプリンターの IP アドレスを設定した後、設定ツールでその他の設定を変更する方法です。
設定用コンピューターはプリンターと同一セグメントになければなりません。また、プリンターの arp+ping IP 設定が Enable のときのみ設定できます。
IP アドレス以外の設定には、EpsonNet Config または EpsonNet Config (Web バージョン) を使用します。

設定の流れ



EpsonNet Config によるセットアップ

EpsonNet Config を実行して表示されるデバイスリストの中から目的のプリンターを選択し、設定内容の確認と変更を行います。
プリンターが工場出荷時設定の場合、コンピューターが同じネットワークアドレスでなくても MAC アドレスでリストアップされます。

注意

- 工場出荷時、プリンターには DHCP サーバーによって付与された IP アドレスが設定されます。ひとつのネットワーク上で複数台の IP アドレスが競合するとセットアップが行えないため、DHCP サーバーが付与する IP アドレスが競合しないようにご注意ください。DHCP サーバーがない場合、電源投入後、約 1 分で固定の IP アドレス（192.168.192.168）が設定されます。なお、有線 LAN ケーブルが接続されていなかった場合は、有線 LAN ケーブルが接続された後に、これらの処理を実行します。
- DHCP が有効の場合には、決定した IP アドレスが自動的に印刷されます。ただし、有線 LAN ケーブルが未接続、または無線 LAN ユニットが未接続の場合は印刷されません。

1　プリンターを、EpsonNet Config をインストールしたコンピューターと同じネットワークに接続します。

2　EpsonNet Config を起動します。

自動でネットワークに接続されているプリンターを検出し、リスト表示します。
リストにプリンターが表示されるまで数十秒かかる場合があります。
表示されない場合は、[フィルター] が「(すべて)」または「ネットワーク接続デバイス」になっていることを確認して [最新の情報に更新] をクリックしてください。また、[ツール]-[オプション]-[探索条件] の設定を確認してください。

3　対象のプリンターを選択し、[設定開始] をクリックします。

製品名、IP アドレスで判別できない場合は、MAC アドレスで判別してください。プリンターの MAC アドレスはステータスシートで確認できます。

4　ネットワーク管理者から入手したネットワークの設定情報に基づき、プリンターの設定を変更します。

メニューから項目を選択し、設定を変更します。

5　必要な項目を設定したら、[送信] をクリックします。

変更内容がプリンターに送信され、プリンターの設定が変更されます。

参考

EpsonNet Config の詳細は、ツールと一緒にインストールされるマニュアル (操作ガイド) またはオンラインヘルプを参照してください。

EpsonNet Config(Web バージョン)によるセットアップ

以下の方法で EpsonNet Config（Web バージョン）を開き、設定内容の確認・変更を行います。

注意

- EpsonNet Config（Web バージョン）によるセットアップを行う場合には、使用するデバイスのネットワーク設定を、接続するプリンターと同じネットワークセグメントに設定する必要があります。
- 工場出荷時、プリンターには DHCP サーバーによって付与された IP アドレスが設定されます。ひとつのネットワーク上で複数台の IP アドレスが競合するとセットアップが行えないため、DHCP サーバーが付与する IP アドレスが競合しないようにご注意ください。DHCP サーバーがない場合、電源投入後、約 1 分で固定の IP アドレス（192.168.192.168）が設定されます。なお、有線 LAN ケーブルが接続されていなかった場合は、有線 LAN ケーブルが接続された後に、これらの処理を実行します。
- DHCP が有効の場合には、決定した IP アドレスが自動的に印刷されます。ただし、有線 LAN ケーブルが未接続、または無線 LAN ユニットが未接続の場合は印刷されません。

1　設定用コンピューターとプリンターを同じネットワークに接続します。

2　プリンターの IP アドレスと同じセグメントとなるように、コンピューターのネットワーク設定を変更します。

サブネットマスク : プリンターと同じサブネットマスク
IP アドレス : プリンターと同じセグメント (同じネットワークアドレス)、異なるホストアドレス
プリンターに設定されている値はステータスシートで確認してください。

例）

	プリンター	設定用コンピューター
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
IP アドレス	192.168.192.168	192.168.192.2

3　Web ブラウザーを起動し、アドレス欄にプリンターの IP アドレスを入力します。

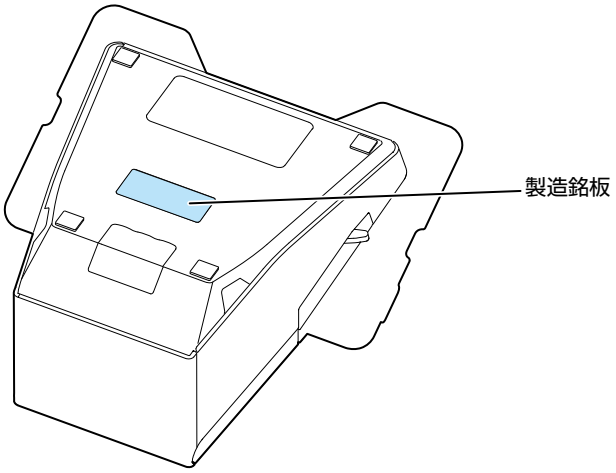
例) http://192.168.192.168

参考

初期設定時において、ブラウザーから EpsonNet Config（Web バージョン）にアクセスすると、認証の警告メッセージが表示される場合があります。

4 **認証画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。**

- ユーザー名は “epson”、パスワードの初期設定値は製品のシリアルナンバーです。シリアルナンバーはセルフテスト、または製品に貼られた製造銘板で確認できます。



- パスワードは、Optional メニューの [Password] で変更できます。

5 **ネットワーク管理者から入手したネットワークの設定情報に基づき、設定を変更します。**

Configuration メニューから項目を選択し、設定を変更します。

6 **必要なパラメーターを変更した後、[Send] ボタンをクリックします。**

プリンターに変更内容が送信されます。

7 **送信後に表示される Web ページで [Reset] ボタンクリックします。**

送信内容が有効になります。
IP アドレスなど、変更した項目によっては、設定用コンピューターとの接続が切断され、EpsonNet Config の画面が表示されなくなります。再度接続する場合は、設定用コンピューターのネットワーク設定を、設定変更したプリンターと同じネットワークセグメントに設定する必要があります。

arp/ping コマンドによるセットアップ

設定用コンピューターの OS が管理する ARP テーブル (IP アドレスと MAC アドレスの対照表) を変更することでプリンターの IP アドレスを変更します。
設定用コンピューターがプリンターと同一セグメント内のネットワークに接続されていること、プリンターの arp+ping IP 設定が Enable であることを確認してください。(工場出荷時は Disable)
プリンターの設定はステータスシートで確認できます。

1 **プリンターに設定したい IP アドレスを ARP テーブルから削除しておきます。**

arp -d (IP アドレス)
例) arp -d 192.168.0.10

2 **設定したい IP アドレスとプリンターの MAC アドレスを ARP テーブルに追加します。**

arp -s (IP アドレス) (MAC アドレス)
例) arp -s 192.168.0.10 00-26-AB-7B-00-00

3 **ping コマンドを実行して、設定を有効にします。**

ping (設定したい IP アドレス)
例) ping 192.168.0.10
Reply From 192.168.0.10: Bytes=32 Time < 10ms TTL=255 のようなメッセージが表示されたら IP アドレスの設定は完了です。

IP アドレス以外の設定は EpsonNet Config または EpsonNet Config (Web バージョン) で行います。

MAC アドレスの確認方法

プリンターの MAC アドレスは、以下の方法で確認できます。

- ステータスシートの印刷
- セルフテストによる確認（Ethernet のみ。Wireless についてはステータスシートを参照してください。）
- Web ブラウザーを使用して確認（EpsonNet Config (Web バージョン) 機能）

ネットワークテザリング用の MAC アドレスは以下の方法で確認できます。

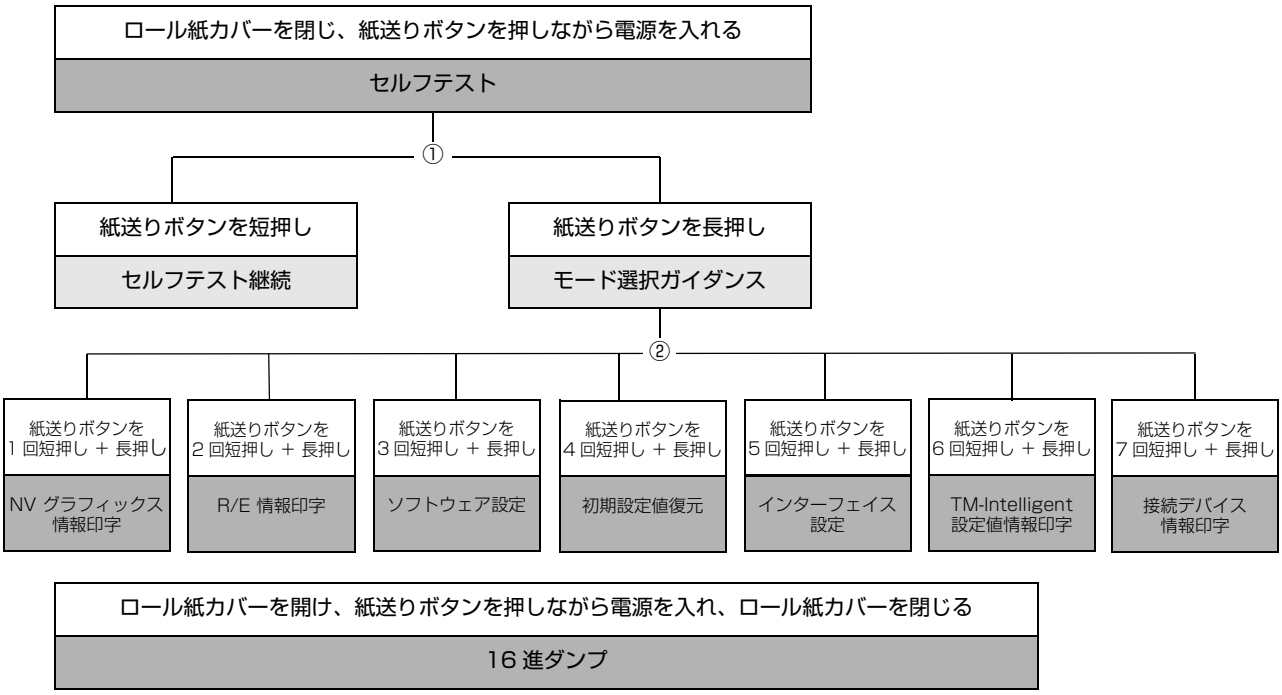
- ステータスシートの印刷（MAC Address2）

設定 / 確認モード

プリンターの各種設定を設定・確認するために、通常印字モードの他に以下のモードが用意されています。

- セルフテストモード
- NV グラフィックス情報印字モード
- R/E（レシートエンハンスメント）情報印字モード
- ソフトウェア設定モード
- 初期設定値復元モード
- インターフェイス設定モード
- 16 進ダンプモード

電源を入れるときの操作によりセルフテストモードまたは 16 進ダンプモードを選択します。
NV グラフィックス情報印字モード、R/E（レシートエンハンスメント）情報印字モード、ソフトウェア設定モードは、セルフテストの途中で行う紙送りボタン操作により選択します。



①、②では以下のガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅してユーザー操作を促します。

① セルフテスト継続ガイダンス

```
Select Modes by pressing Feed Button.
  Continue SELF-TEST: Less than 1 second
  Mode Selection    : 1 second or more
```

② モード選択ガイダンス

Mode Selection

Modes
- 0: Exit and Reboot Printer
- 1: NV Graphics Information
- 2: Receipt Enhancement Information
- 3: Customize Value Settings
- 4: Restore Default Values
- 5: Interface Setup
- 6: TM-Intelligent Information
- 7: Peripheral Device Information
- 8 or more: None

Select Modes by executing following procedure.
- step 1. Press the Feed button less than 1 second as many times as the selected mode number.
- step 2. Press Feed button for 1 second or more.

セルフテストモード

セルフテストを行うことにより、以下の項目を確認できます。

- 製品の名称
- ファームウェアバージョン
- 製品のシリアルナンバー
- インターフェイスの種類
- 周辺デバイス情報
- 搭載文字フォント
- メンテナンスカウンター情報（サーマルヘッド走行距離、オートカッター動作回数）

以下の手順で実行してください。セルフテストは ESC/POS コマンドでも実行できます。

1　ロール紙カバーを閉じます。

2　紙送りボタンを押しながら電源を入れます。（印字が開始するまで紙送りボタンを押し続けてください。）

プリンターの状態印字に続いて、セルフテスト継続ガイダンスが印字され、ペーパーLED が点滅します。

3　紙送りボタンを短押し（1 秒未満）して、セルフテストを継続します。

搭載文字がローリング印字されます。
「*** completed ***」と印字した後、プリンターは初期化され通常モードに移行します。

NV グラフィックス情報印字モード

プリンターに登録されている以下の NV グラフィックス情報を印字します。

- NV グラフィックス容量
- NV グラフィックス使用容量
- NV グラフィックス空き容量
- NV グラフィックス登録数
- 各データのキーコード、X 方向ドット数、Y 方向ドット数
- NV グラフィックスデータ

> 参考　NV グラフィックスの詳細は、25 ページ「NV グラフィックスメモリー」を参照してください。

以下の手順で実行してください。

1　セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。

モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2　紙送りボタンを 1 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、NV グラフィックス情報を印字します。

NV グラフィックス情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。

3　終了するには、電源を切るか、 “Exit and Reboot Printer” を選択します。

R/E(レシートエンハンスメント)情報印字モード

プリンターに登録されている以下のレシートエンハンスメント情報を印字します。

- 自動トップロゴ設定
- 自動ボトムロゴ設定
- 自動トップロゴ / 自動ボトムロゴ拡張設定

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 2 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、レシートエンハンスメント情報を印字します。**
情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。

3 **終了するには、電源を切るか、 “Exit and Reboot Printer” を選択します。**

ソフトウェア設定モード

プリンターのメモリースイッチおよびカスタマイズバリューを設定します。

- 印字濃度
- 自動用紙使用量削減
- カバークローズ時の用紙自動カットの有効無効
- 用紙幅設定
- タイ文字印字制御方法
- 搭載文字種の選択
- フォント自動置き換え
- USB インターフェイスの通信条件
- 印字速度
- NV メモリー容量
- オフライン中コマンド実行
- バックフィードによるトップマージンの指定
- 外付けオプションブザー制御
- インターフェイス設定
- 有効インターフェイスの切り替え時間
- 主接続インターフェイスの選択
- インターフェイス起動中表示
- 印字開始時微小送り
- ロール紙ニアエンドセンサーの有効無効
- ネットワークテザリングの有効無効

参考

- メモリースイッチおよびカスタマイズバリューの詳細は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。
- ソフトウェア設定は ESC/POS コマンドでも実行できます。

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 3 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、ソフトウェア設定モード（カスタマイズバリューセッティング）を選択します。**
ソフトウェア設定モードのガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

```
Customize Value Settings


Modes
   0: Exit
   1: Print Current Settings
   2: Print Density
   3: Print Speed
   4: Automatic Paper Reduction
   5: Auto Paper Feed&Cut at cover close
   6: Paper Width
   7: Character/Font Settings
   8: Interface Selection
   9: Interface Settings
   10: Intelligent Settings
   11: Command Execution (Offline)
   13: Other Settings

Select Modes by executing following
procedure.
   step 1. Press the Feed button less
           than 1 second as many times
           as the selected mode number.
   step 2. Press Feed button for 1
           second or more.
```

3 **印字結果に示されている回数分、紙送りボタンを短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、設定項目を選択します。**
選択された項目に対する設定値（選択肢）、現在の設定値、初期設定値が印字されます。
設定項目によっては、設定値印字の前に、さらに項目選択が続く場合があります。
設定項目の詳細については 81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

4 **設定値を紙送りボタンの短押し（1 秒未満）の回数で選択し、長押し（1 秒以上）で確定します。**
設定が保存された後、ソフトウェア設定モードのガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

5 **ソフトウェア設定モードを終了するには、電源を切るか、“Exit” を選択してモード選択ガイダンスに戻った後、“Exit and Reboot Printer” を選択します。**

参考

- 項目番号の 0 を選択するためには、印字が開始されるまで紙送りボタンを押し続けます。
- 設定方法ガイダンスに表示されていない回数のボタンを押すと、操作は無効になり、同じガイダンスが印字されます。

初期設定値復元モード

NV メモリーに保存されている以下の設定値を出荷時設定に戻すモードです。トラブル時の原因切り分けに使うことができます。

- メモリースイッチ
- カスタマイズバリュー
- USB インターフェイスの通信条件
- ステータス関連
- 文字種
- 装飾
- バーコード
- 2 次元シンボル
- 印字位置
- 漢字制御
- ロゴ印字設定
- TM-Intelligent 機能の設定

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 4 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、初期設定値復元モードを選択します。**
ガイダンスが印字されます。

3 **紙送りボタンを 1 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）します。（復元完了のメッセージが印字されるまで紙送りボタンを押し続けてください。）**

インターフェイス設定モード

インターフェイスの設定などを行うモードです。

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 5 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、インターフェイス設定モードを選択します。**
ガイダンスが印字されます。

3 **印字結果に示されている回数分、紙送りボタンを短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、設定項目を選択します。**

初期化

［Wi-Fi & Ethernet Setup］または［*Bluetooth* Setup］で［Initialize］を選択すると、通信設定を工場出荷時の状態に戻します。プリンターがリセットされて再起動します。

SimpleAP モード(OT-WL05/OT-WL06 使用時)

［Wi-Fi & Ethernet Setup］を選択し、さらに [SimpleAP] を選択すると、一時的に SimpleAP モードで起動することができます。プリンターがリセットされて再起動し、「SimpleAP Start」で始まる数行が印字されます。簡単接続を利用したい場合に選択してください。

参考

簡単接続機能については、27 ページ「無線 LAN の簡単セットアップ」を参照してください。

iOS 搭載機器との自動再接続

［*Bluetooth* Setup］を選択し、さらに［Auto Re-Connect iOS］を選択すると、iOS 搭載機器との自動再接続機能の有効 / 無効が選択できます。

参考

- 自動再接続機能については、150 ページ「自動再接続機能」を参照してください。
- TM-m30II Utility および TM Utility for iOS でも設定を変更できます。

Bluetooth セキュリティー設定

[*Bluetooth* Setup] を選択し、さらに [Security] を選択すると、*Bluetooth* のセキュリティー設定を変更できます。

注意

セキュリティー設定を「Middle（中）」または「Low（低）」から「High（高）」、または「High（高）」から「Middle（中）」または「Low（低）」に変更すると、リンクキー（ペアリング情報）が削除されます。端末とすでにペアリングされている場合は、ペアリングを解除後に、再度ペアリングを行ってください。

参考

TM-m30II Utility および TM Utility for iOS/Android でも設定を変更できます。

セキュリティー	ペアリングモード	ペアリング方式
Low（低）	常にペアリング可能	Just Works
Middle（中） （初期設定）	電源を投入した後、およびステータスシートを印刷した後の 1 分間ペアリング が可能	Just Works
High（高）	ステータスシートを印刷した後の1分間ペアリングが可能	Numeric Comparison/Passkey Entry

セキュリティーが Middle/High(高) の場合のペアリング方法(プリンター側)

セキュリティーが Middle（中）/High（高）の場合、プリンターをペアリング可能な状態にするため、以下の操作を行ってください。

1　プリンターに用紙をセットし、電源を入れます。

注意
- エラーまたはオフラインでないことを確認してください。
- 電源投入直後のネットワーク起動中の場合にはペアリングできません。

2　ロール紙カバーを開き、紙送りボタンを長押し（2 秒）して、ロール紙カバーを閉めます。

3　ステータスシートが印刷され、*Bluetooth* LED がペアリング可能状態を示す点滅パターンになります。

参考
- 以降 1 分間はペアリング可能な状態となります。
- ステータスシートボタンでステータスシートを印刷する方法でもペアリング可能状態にできます。

セキュリティーが High(高) の場合のペアリング方法(ホスト側)

セキュリティーが High（高）の場合、プリンターとペアリングするため、以下の操作を行ってください。

1　ホストデバイスの *Bluetooth* 設定画面でプリンターを検索します。

2　ペアリングしたいプリンターを選択します。

プリンターが Passkey を印刷します。

3　プリンターが印刷した Passkey と、ホストデバイスで表示された Passkey が一致することを確認し、ホストデバイス側で「ペアリング」を選択します。

TM-Intelligent 設定値情報印字モード

現在プリンターに登録されている TM-Intelligent 設定値情報を印字する機能です。

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 6 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、TM-Intelligent 設定値情報を印字します。**
情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。

3 **終了するには、電源を切るか、 “Exit and Reboot Printer” を選択します。**

接続デバイス情報印字モード

現在プリンターに接続されているデバイスの情報を印字する機能です。

- カスタマーディスプレイ情報
- 無線 LAN ユニット情報
- ハンディスキャナー情報

以下の手順で実行してください。

1 **セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。**
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 **紙送りボタンを 7 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、接続デバイス情報を印字します。**
情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。

3 **終了するには、電源を切るか、 “Exit and Reboot Printer” を選択します。**

16 進ダンプモード

16 進ダンプモードでは、ホストデバイスからのデータを 16 進数と文字で印字します。この印字結果とプログラムを見比べることで、プリンターに正しくデータが送られているか確認できます。

参考

- 印字データに該当する文字がない場合は、"." と印字されます。
- 印字データが 1 行に満たないときは、紙送りボタンを押すと、その行の印字が行われます。
- 16 進ダンプモード中は、プリンターステータスを確認するアプリケーションは正常に動作しない場合があります。プリンターは「ステータスのリアルタイム送信コマンド」に対するステータスのみ返します。

以下の手順で実行してください。16 進ダンプモードは ESC/POS コマンドでも実行できます。

1 **ロール紙カバーを開けます。**

2 **紙送りボタンを押しながら電源を入れます。（エラー LED が点灯するまで紙送りボタンを押し続けてください。）**

3 **ロール紙カバーを閉じます。**
以降、プリンターが受信したデータはすべて 16 進数とそれに対応する ASCII 文字で印字されます。

16 進ダンプモードの印字例

```
Hexadecimal Dump
To terminate hexadecimal dump,
press FEED button three times.




1B 21 00 1B 26 02 40 40 1B 69 . ! . . & . @ @ . i
1B 25 01 1B 63 34 00 1B 30 31 . % . . c 4 . . 0 1
41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A A B C D E F G H I J

            ***  completed  ***
```

4 **16 進ダンプモードを終了するには、印字停止後電源を切るか、紙送りボタンを 3 回押します。**

ステータスシートの印刷

以下の操作で、インターフェイスの設定を確認できます。

参考

電源投入直後でパワー LED が点滅している場合には印刷できません。

紙送りボタンを使う方法

1 **プリンターの電源が入っていることを確認します。**

2 **ロール紙カバーを開けます。**

3 **紙送りボタンを長押しします。（1 秒以上）**

4 **ロール紙カバーを閉じます。**

ステータスシートの印刷が開始されます。印刷終了後、通常モードに戻ります。

ステータスシートボタンを使う方法(参考)

プリンターの底面カバーを取り外している場合には、ステータスシートボタンを使用することができます。

1 **プリンターの電源が入っていることを確認します。**

ロール紙カバーが閉じていることを確認します。

2 **ステータスシートボタンを長押しします。（3 秒以上）**

ステータスシートの印刷が開始されます。印刷終了後、通常モードに戻ります。

注意

- ステータスシート印刷終了後は、主接続インターフェイスのみ印刷設定が保持されます。主接続インターフェイスについては、29ページ「複数インターフェイスによる印刷」を参照してください。
- Ethernet、Wi-Fiのステータスシートは、印刷用通信プロトコルのコネクションが確立している間は印刷されません。コネクションが、切断された後に印刷されます（タイムアウトによる切断を含む）。
- 以下の状態で、ステータスシート印刷の操作をした場合、*Bluetooth*のステータスシートは印刷されません。
  - ＊ *Bluetooth*のセキュリティー設定が「Middle（中）」または「High（高）」で、*Bluetooth*が接続中のとき
  - ＊ *Bluetooth*のセキュリティー設定が「Middle（中）」または「High（高）」で、エラーが発生しているとき
  - ＊ *Bluetooth*のセキュリティー設定が「High（高）」で、ペアリング要求を受け付けてからPasskey印刷を開始するまでの間
- USBダウンストリームポートコネクターに周辺機器を接続していない場合、Connected Peripheralには(none)と印刷されます。

*** Bluetooth Interface ***

Bluetooth Status
BD_ADDR : XX:XX:XX:XX:XX:XX
Passkey : XX
Device Name: TM-m30II-SL_XXXXXX
Module Ver : X.XX
Module Info : BT401-XXXXX
Mode : Auto re-connect enable
Security : Low

Bluetooth Status
BT : XXXXXXXXXXXX
DN : TM-m30II-SL



*** Wi-Fi & Ethernet Interface ***

Wi-Fi Status
MAC Address : Unmounted
SSID : EPSON_Printer
Network Mode : Infrastructure
Comm Standard : 802.11b/g/n
Encryption Type : WPA2-PSK
Link Status : Unknown
Channel : Unknown
Transmission : Unknown
Access Point : Unknown
Signal Level : Unknown

Ethernet Status
MAC Address : XX-XX-XX-XX-XX-XX
Physical Layer : Auto-negotiation
MAC Address2 : XX-XX-XX-XX-XX-XX
Link Status : Disconnect

Ethernet
WF : XXXXXXXXXXXX
DN : TM-m30II-SL



Network
Soft Version : 01.00(1930.20.00)

TCP/IP Status
Acquiring : Auto
IP Address : (NONE)
Subnet Mask : (NONE)
Default Gateway : (NONE)

Service Status
Time Server : (off)
Server Direct Print : (off)
Status Notification : (off)

Other Status
Date/Time : 2020/01/01 00:00:00
Wi-Fi Device ID : Unknown
Wi-Fi Region ID : 1

インターフェイス設定の初期化

以下の操作で、ネットワークの通信設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

インターフェイス設定モードを使う方法

インターフェイス設定モードの詳細は以下を参照してください。
100 ページ「インターフェイス設定モード」ー「 初期化」

ステータスシートボタンを使う方法(参考)

プリンターの底面カバーを取り外している場合には、ステータスシートボタンを使用することができます。

1 **プリンターの電源が切れ、ロール紙カバーが閉じていることを確認します。**

2 **ステータスシートボタンを押しながら、プリンターの電源を入れます。**
初期化実行のメッセージが印字され、プリンターが再起動します。

TM-Intelligent 機能

本製品は TM-Intelligent 機能をサポートし、以下の機能を持っています。
- サーバーダイレクト
- スプーラと迂回印刷
- ステータス通知

各機能は設定ユーティリティーで設定できます。TM-m30II Utility for Windows での設定方法の詳細は TM-m30II Utility ユーザーズマニュアルを参照してください。
また、弊社ウェブサイトから専用マニュアルとサンプルプログラムをダウンロードできます。

サーバーダイレクトプリント

サーバーダイレクトプリントとは、本製品が Web サーバーから印刷データを取得して印刷する機能です。Web サーバーのアプリケーションは、本製品からのリクエストに対応するレスポンスに印刷データを含めることで、本製品またはネットワーク上の TM プリンターに印刷できます。

以下の特長があります。
- 3 つの異なる URL から印刷データを取得できます。
- 印刷データは、ePOS-Print XML 形式で利用できます。
- 本製品を経由して、ネットワーク上の TM プリンターに印刷できます。

サーバーダイレクトプリントの詳細については、サーバーダイレクトプリントユーザーズマニュアルを参照してください。

スプーラーと迂回印刷

スプーラーとは、印刷がエラーとなった場合に印刷を再試行する機能です。
迂回印刷とは、本製品への印刷が失敗した場合に、ネットワーク上の他の TM プリンターで印刷する機能です。

参考

本機能は、以下の制御方法または機能でのみ使用できます。
- Epson ePOS SDK for Android
- Epson ePOS SDK for iOS
- Epson ePOS SDK for JavaScript
- ePOS-Print XML
- サーバーダイレクトプリント

子機プリンター

本製品は、以下の TM プリンターを子機として設定し、印刷を制御することができます。
TM-T90 series、TM-T90KP、TM-T88 series、TM-T70 series、TM-T20 series、
TM-m30 series、TM-m10 series、
TM-P80 series、TM-P60 series、TM-P20 series、
TM-L100、TM-L90

参考

TM-i/DT プリンターから本製品をネットワークプリンターとして使用する場合は、TM-m30 series として登録してください。登録方法は、TM-i/DT プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

ステータス通知

ステータス通知とは、プリンターのステータスを定期的に Web サーバーに通知する機能です。Web サーバーは自動的に空のレスポンスを返します。
お客様に作成していただいたプリンター管理アプリケーションを Web サーバーで運用すれば、離れた場所から店舗に置かれたプリンターの状態を把握できます。
ステータス通知の詳細については、サーバーダイレクトプリントユーザーズマニュアルを参照してください。

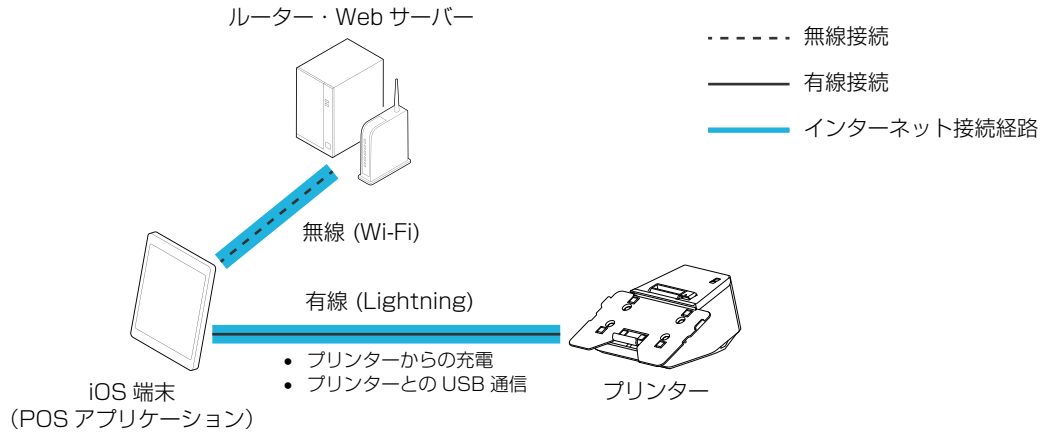
ネットワークテザリング（iOS 端末のみ）

タブレット POS は、汎用のタブレットデバイスに POS アプリケーションをインストールして使用する POS システムです。タブレットデバイスが Wi-Fi で通信する場合、店舗内の電波状態によっては通信が不安定になり、POS システムが正常に動作しないことがあります。
ネットワークテザリングは、Lightning-USB ケーブルで本機に接続した iOS 端末にネットワーク機能を提供する機能です。これにより、POS システムを安定稼働させることができます。同時に iOS 端末への充電も可能です。
本機能は、プリンターのネットワークテザリングを有効に設定することで利用できます。

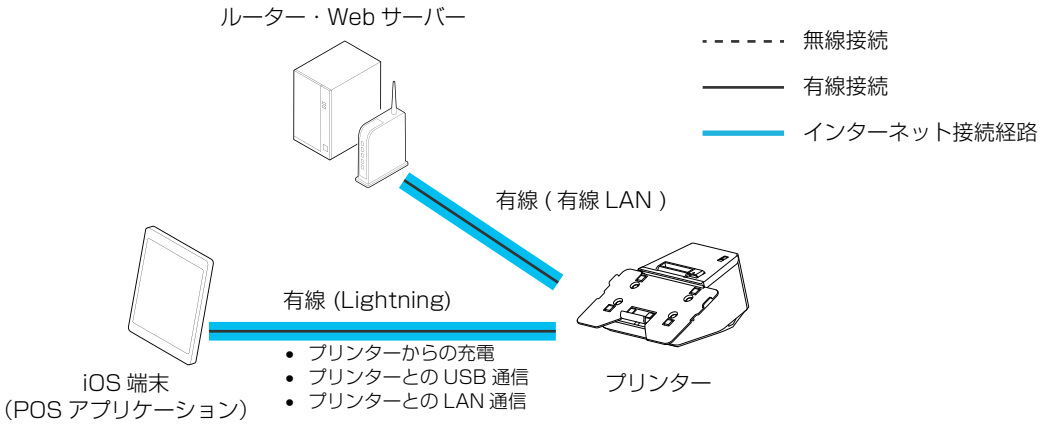
注意

- ネットワークテザリングの設定が有効の場合、ネットワークに有線接続されているプリンターの USB-A Device Charging (USB 端子の色：白色) へ iOS 端末を接続すると、iOS 端末のネットワーク通信は Wi-Fi 通信よりも優先してネットワークテザリングを使用した有線接続に切り替わります。
- ネットワークテザリングを使用した有線接続は、通信速度が 1.5 Mbps 程度となり、環境によっては Wi-Fi 通信よりも劣る場合があります。

❏ Wi-Fi で通信する場合（ネットワークテザリングを使用しない）



❏ 有線 LAN で通信する場合（ネットワークテザリングを使用する）



ネットワークテザリングが使用可能なタブレットデバイス

本機能は iOS 10.1 以降の iOS デバイスで動作確認済みです。

ネットワークテザリングが使用可能なファームウェアバージョン

03.03B ESC/POS 以降

参考

- ファームウェアバージョンの確認方法は 97 ページ「セルフテストモード」を参照してください。
- ファームウェアのバージョンアップの方法については 118 ページ「ユーティリティー」を参照してください。

ネットワークテザリングを有効にする

Epson TM Utility for iOS、TM-m30II Utility、またはソフトウェア設定モードを利用して、本製品のネットワークテザリングを有効にします。

Epson TM Utility を使用する場合

メニューの [プリンターの設定を変更する] から [ネットワークテザリング] をタップすることでネットワークテザリングの有効・無効を設定できます。



参考　Epson TM Utility の入手方法については 119 ページ「ダウンロード」を参照してください。

TM-m30II Utility を使用する場合

[詳細設定]-[インターフェイス]-[ネットワークテザリング] から設定できます。詳しくは TM-m30II Utility ユーザーズマニュアルをご覧ください。

ソフトウェア設定モードを使用する場合

[3. Customize Value Settings]-[13. Other Settings]-[8. Network Tethering] から設定できます。81 ページ「ソフトウェア設定」をご覧ください。

接続手順

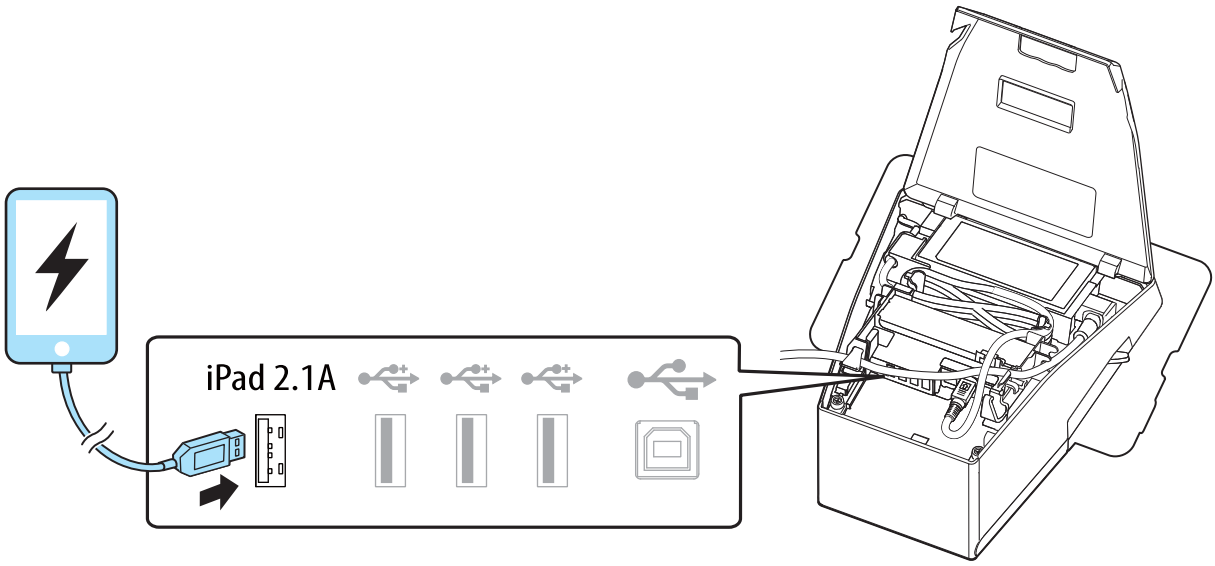
以下の手順で接続してください。

1. **プリンターを有線でネットワークに接続します。**
2. **プリンターの電源を入れ、Ethernet LED が点滅から点灯へ切り替わるまで待ちます。**
3. **iOS 端末の [設定]-[Wi-Fi] を選択し、Wi-Fi を無効にします。**



4 プリンターと iOS 端末を Lightning-USB ケーブルで接続します。

USB コネクター (USB-A - Device Charging (USB 端子の色：白色)) に接続してください。



5 iOS端末の[設定]-[Ethernet]を選択し、IPアドレスが設定されていることを確認します。



参考

- iOSデバイスの[設定]に[Ethernet]が表示されない場合、プリンターのネットワークテザリングが無効になっている可能性があります。ネットワークテザリングの設定方法は 111 ページ「ネットワークテザリングを有効にする」を参照してください。
- DHCP サーバーが無い場合は手動で IP アドレスやサブネットマスクの設定を行ってください。
- iOS 端末から印刷したい場合は、アプリケーションから USB またはネットワークの印刷経路を選択して印刷を実行してください。

アプリケーション開発情報

本章では、本プリンターの制御方法、および本プリンターを使用したアプリケーションを開発する際に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

本プリンターは以下の制御コマンドに対応しています。

- ePOS-Print XML
- ePOS-Device XML
- ESC/POS

ユーザーは、上記コマンドまたは下記開発キットを利用してプリンターを制御できます。

- Epson ePOS SDK
- OPOS ADK
- OPOS ADK for .NET
- EPSON Advanced Printer Driver (APD)

ePOS-Print XML

ePOS-Print XML は、XML で定義した、エプソン独自の POS プリンター用制御コマンド体系です。http 通信ができる環境や OS のアプリケーションから印刷できます。ePOS-Print XML の詳細については、ePOS-Print XML ユーザーズマニュアルを参照してください。

ePOS-Device XML

ePOS-Device XML は、プリンターに接続された各種周辺機器（本体プリンターを含む）を制御する機能を XML で定義したコマンド体系です。コンピューター、スマートフォン、タブレット端末などのアプリケーションが XML 形式のリクエストメッセージを作成し、Socket 通信でプリンターへ送信します。プリンターに組み込まれた ePOS-Device Service はリクエストメッセージを解釈して周辺機器制御を実行し、レスポンスを返します。ePOS-Device XML の詳細については、ePOS-Device XML ユーザーズマニュアルを参照してください。

ESC/POS

ESC/POS は、エプソン独自の POS プリンター、カスタマーディスプレイ用制御コマンド体系です。
プリンターのすべての機能を直接制御できますが、ドライバーや開発キットを使用するのに比べて、より詳細な知識が必要です。
ESC/POS の詳細については、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。ESC/POS コマンドリファレンスは下記 URL からアクセスできます。
☞ https://www.epson-biz.com/pos/reference_ja/

キャッシュドロアーの制御方法

ドロアーキックコネクターの２番ピンまたは５番ピンにパルス信号を出力して、ドロアーをオープンできます。また、ドロアーキックコネクターの３番ピンの信号レベルを確認して、ドロアーの開閉状態を確認できます。これらの制御はドライバーまたはコマンドでおこないます。

ESC/POS コマンド

指定パルスの出力コマンドやステータス送信のコマンドが用意されています。
詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。

Windows 用プリンタードライバー(APD)

印刷開始時にドロアーをオープンするように設定できます。詳細は、ドライバーのマニュアルを参照してください。
制御方法については、ドライバーの Status API のマニュアルを参照してください。

OPOS(OCX ドライバー)

SetupPOS ユーティリティーでキャッシュドロアーを登録し、OpenDrawer メソッドまたは DirectIO 機能で制御します。
詳細は「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド CashDrawer」および OPOS 技術協議会発行の「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書」を参照してください。

OPOS for .NET

SetupPOS ユーティリティーでキャッシュドロアーを登録し、OpenDrawer メソッドまたは DirectIO 機能で制御します。
詳細は「EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル アプリケーション開発ガイド CashDrawer (EPSON Standard)」および OPOS 技術協議会発行の「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書」を参照してください。

Epson ePOS SDK

各 SDK のライブラリーに指定パルスの出力コマンドやステータス送信のコマンドが用意されています。詳細は各 SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

参考

- ドロアーキックコネクター２番ピン、５番ピンのどちらで駆動するかは、接続するキャッシュドロアーによります。
- OPOS 技術協議会発行のドキュメントは、日本マイクロソフトのウェブサイトから入手できます。

外付けオプションブザーの制御方法

外付けオプションブザーは、エラーのときに鳴ったり、オートカット時に鳴ったりするように設定できます。
ドライバー、コマンドにより、ブザーを任意のタイミングで鳴らすこともできます。
また、ブザー音のパターンや鳴動回数を設定したりすることもできます。

ESC/POS コマンド

ブザー制御コマンドまたは指定パルスの出力コマンドを使用します。
詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。

Windows 用プリンタードライバー(APD)

DirectIO 機能またはドロアーオープン用 API を使用します。詳細はドライバーの Status API のマニュアルを参照してください。

OPOS(OCX ドライバー)

SetupPOS ユーティリティーで POS プリンターを登録し、DirectIO 機能で制御します。
詳細は「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド POSPrinter(TM シリーズ)」を参照してください。

OPOS for .NET

SetupPOS ユーティリティーで POS プリンターを登録し、DirectIO 機能で制御します。
詳細は「EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル アプリケーション開発ガイド POSPrinter」を参照してください。

Epson ePOS SDK

各 SDK のライブラリーにブザー機能のコマンドが用意されています。詳細は各 SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

参考

外付けオプションブザーの設定方法については、60 ページ「外付けオプションブザーの接続」を参照してください。

ソフトウェア

アプリケーション開発用として、下記のソフトウェアが用意されています。

開発キット

名称	概要
Epson ePOS SDK	Web アプリケーションやスマートデバイスのネイティブアプリケーションからプリンターを制御するための開発キットです。ライブラリー、マニュアル、サンプルプログラムが含まれます。
for Android	
for iOS	
for JavaScript	
EPSON OPOS ADK	OLE 技術*1 を用いて POS 用周辺機器を制御できる OCX ドライバーです。アプリケーション側からは POS 用周辺機器を独自のコマンドで制御する必要がなくなるため、効率的なシステム開発が実現できます。
EPSON OPOS ADK for .NET	OPOS ADK for .NET は、Microsoft POS for .NET 準拠の業界標準のドライバーです。 UPOS（UnifiedPOS）仕様準拠のアプリケーションを開発できます。 アプリケーションの開発には、Microsoft Visual Studio .NET などの開発環境をご用意ください。
Epson TM Print Assistant	アプリケーションと TM プリンター間の印刷データを中継するネイティブアプリケーションです。 Epson TM Print Assistant を利用すると、スマートデバイスと接続した TM プリンターに Web アプリケーションまたは FileMaker などの URL スキーム連携可能なアプリケーションから印刷するシステムを開発できます。
for Android	
for iOS	

*1 OLE 技術とは、Microsoft 社が開発したソフトウェアの部品化技術です。OPOS ドライバーは一般的な Windows 用のプリンタードライバーとは異なり、Visual Basic などの開発環境でプログラミングを行うことが前提です。市販のアプリケーションから印刷を実行するためのドライバーではありません。
POS for .NET 仕様書、OLE for Retail POS 仕様書などの OPOS 技術協議会発行のドキュメントは、日本マイクロソフトのウェブサイトから入手できます。

ドライバー

名称	概要	動作環境
EPSON Advanced Printer Driver (APD)	一般的な Windows 用プリンタードライバーに、POS 用途特有の制御を追加したドライバーです。また、プリンター状態の監視や ESC/POS コマンドの送信を行うステータス API（エプソン独自提供 DLL）も付属しています。	Windows
EPSON TM Virtual Port Driver	POS アプリケーションから USB/LAN 接続したエプソン製 TM/BA/EU プリンターを仮想的なシリアル / パラレルポートとしてアクセスできるようにするシリアル / パラレル -USB/LAN 変換ドライバーです。 シリアル / パラレル I/F 接続のデバイスを制御していた POS アプリケーションを変更せずに、直接 ESC/POS コマンドで USB/LAN で接続したデバイスを制御できます。	Windows

ユーティリティー

名称	概要	動作環境
Epson TM Utility	App Store または Google Play でダウンロードできるユーティリティーです。iOS や Android デバイスから、プリンターの設定変更や無線接続のセットアップなどを実施できます。 また、以下のような機能も有しています。 • サンプルレシートの印刷 • プリンターステータスの表示 • QR コードによる選択 • ファームウェアアップデート	iOS、Android
TM-m30II Utility	プリンター内部の各種設定値を確認・変更するためのユーティリティーです。以下のような機能を有しています。 • 現在の設定確認 • 動作テスト • ロゴの登録 • 用紙節約の設定 • 印刷制御の設定 • 通信インターフェイスの設定 • ネットワークの設定 • インテリジェント機能の設定 • 設定の保存と復元	Windows
EpsonNet Config	エプソン製ネットワーク製品のネットワーク設定ツールです。	Windows、Mac
TM *Bluetooth*® Connector	*Bluetooth* プリンターをペアリングし、生成された *Bluetooth* ポートを、ドライバーやアプリケーションが使用するポートへ対応付けします。デバイスの検索時に、エプソンのプリンターのみ表示されます。また、製品名を指定して検索もできるため便利です。	Windows
Deployment Tool	ネットワーク設定およびプリンターの設定を一括に行います。TM プリンターの初期導入時、複数の TM プリンターの設定を効率的に行うことができます。	Windows
Monitoring Tool	ネットワークに接続されたエプソン製プリンターの状態を一覧で確認できます。 また、WPA-Enterprise で使用する証明書やプリンターの設定を複数台一括で更新できます。	Windows
TM-m30II Firmware Updater	プリンターのファームウェアを更新するためのツールです。 実行ファイルとファームウェアがパッケージされています。	Windows

その他

マニュアル	概要
ePOS-Print XMLユーザーズマニュアル	ePOS-Print XML の構文を説明しています。サンプルプログラムとセットで提供しています。
ePOS-Device XML ユーザーズマニュアル	ePOS-Device XML の構文を説明しています。サンプルプログラムとセットで提供しています。

ダウンロード

各種ソフトウェアとマニュアルは、下記ウェブサイトからダウンロードできます。
☞ https://www.epson.jp/support/sd/

iOS 用アプリケーション開発および配布について

Bluetooth または Lightning-USB ケーブルを使って接続するアプリケーションソフトを App Store に登録する場合、エプソンから Apple 社に事前申請が必要です。App Store に登録するアプリケーションソフトごとに、以下の URL から申請してください。

☞ https://global.epson.com/products_and_drivers/tm/ja/mfi.html

バーコード、2 次元シンボル印刷に関する注意事項

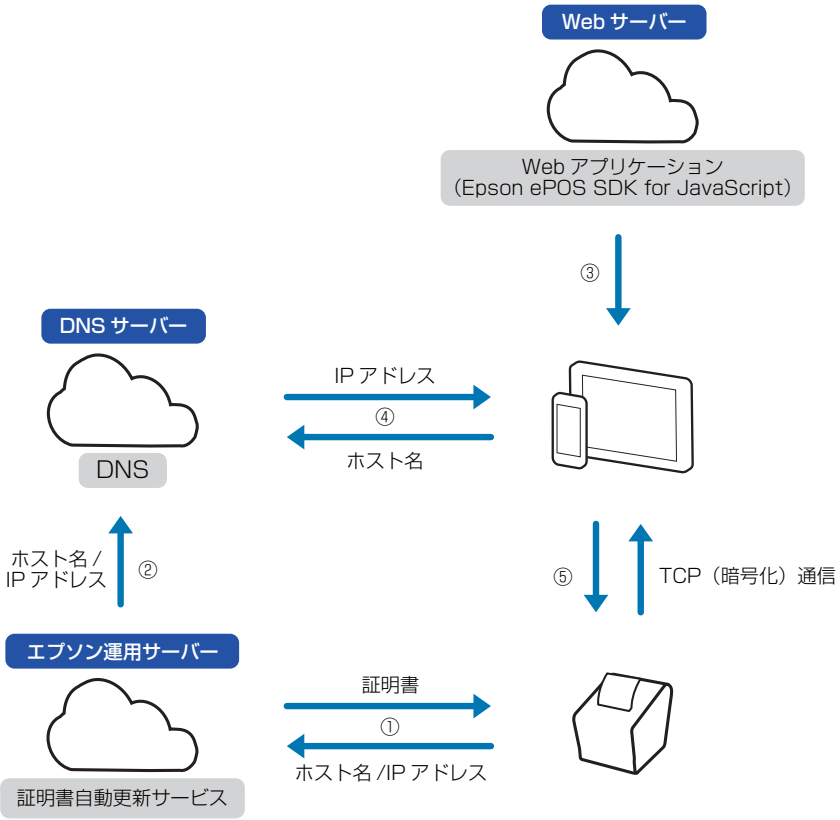
- コード規格に応じたクワイエットゾーンは、使用者側で確保してください。
- PDF417（2 次元シンボル）印刷では、以下の設定を推奨します。
  シンボル 1 段の高さ　：モジュール幅の 3 ～ 5 倍
  シンボルの縦サイズ　：約 5 mm 以上
- ラダーバーコードおよび 2 次元シンボルの認識率は、モジュール幅、印字濃度、環境温度、用紙の種類、リーダーの性能などにより変動するため、あらかじめ使用者側で認識確認をした上で使用条件を設定し、リーダーの制限事項を満足するよう考慮してください。
- 多階調グラフィックスで印刷したバーコード・2 次元シンボルの読み取り品質は保証されません。
- グラフィックスで作成したラダーバーコード・2 次元シンボルを印刷する場合は、印字速度をレベル 5 に設定してください。

証明書自動更新機能

本機能は、プリンターに登録されたセキュリティー証明書の登録と定期更新を自動化するものです。これにより、アプリケーション使用者の更新作業などの負担を軽減できます。

概要

Epson ePOS SDK for JavaScript を使ったアプリケーションソフトから印刷する際に、セキュリティー通信（SSL/TLS 通信）を利用する場合は、プリンターへのセキュリティー証明書の登録と定期的な更新が必要です。
本機能を利用することでセキュリティー証明書の登録と定期更新を自動化し、使用者側での作業が不要になります。
本機能を実行するためには、接続するプリンターのシリアルナンバーの入力が必要です。



① プリンターはエプソン運用サーバーから証明書をダウンロードし、ホスト名と IP アドレスを送信する
② エプソンサーバーは DNS にホスト名と IP アドレスを設定する
③ ホストデバイスはブラウザーを使用し、Web アプリケーションを利用して印刷を行う
④ ホストデバイスは DNS からホスト名に紐づいた IP アドレスを取得する
⑤ ホストデバイスはプリンターと TCP（暗号化）通信を用いて印刷を行う

参考　エプソン運用サーバー側では、お客様の個人情報は取得していません。

使用環境

- プリンターのファームウェアバージョン：03.21B ESC/POS 以降
- Epson ePOS SDK for JavaScript Ver.2.24.0b 以降を使って開発されたアプリケーションソフト
- ホストデバイス、プリンターともインターネット環境に接続

必要なソフトウェア

- Epson ePOS SDK for JavaScript Ver.2.24.0b 以降

以下のいずれかの設定ユーティリティ

- TM-m30II Utility
- Epson TM Utility
- EpsonNet Config（Web バージョン）

ソフトウェア情報は、117 ページ「ソフトウェア」を参照してください。
EpsonNet Config（Web バージョン）については、92 ページ「EpsonNet Config（Web バージョン）によるセットアップ」を参照してください。

制限事項

- セキュリティー証明書の更新は、プリンター起動時および更新時刻（プリンターに更新時刻が設定されている場合）に実行されます。プリンターの電源を切らずに連続稼働させる場合は、必ず更新時刻を設定してください。
- セキュリティー証明書の更新時にはプリンターが再起動します。再起動中はプリンターを使用できません。更新時刻にはプリンターを使用しない時刻を設定してください。
- NTP などを利用しプリンターの時刻を設定してください。プリンターの時刻が大幅にずれていると、本機能が正常に動作しないことがあります。
- Proxy の構成によっては利用できない場合があります。
  この場合は、ブラウザーのプロキシー除外リストに以下を追加してください。
  *.omnilinkcert.epson.biz
- すでにセキュリティー証明書が登録されている場合は、その証明書を上書きします。
- 本機能ではホストデバイスの証明書ストアに ISRG Root X1 が必要です。

実施方法

Epson ePOS SDK for JavaScript でのプログラム方法

Epson ePOS SDK for JavaScript でのプログラム方法は、Epson ePOS SDK for JavaScript に収録されているユーザーズマニュアル、サンプルプログラムを参照してください。

プリンターの設定

1　TM-m30II Utility、Epson TM Utility、EpsonNet Config（Web バージョン）のいずれかを使用して以下の項目を設定します。

- CA 署名証明書自動更新：有効に設定
- 更新時刻：証明書の更新時刻を設定
- 時刻設定：正しい時刻を設定（TimeServer または UTC の設定、および時差）
- プロキシー：必要に応じてプロキシーを設定

2　ホストデバイスとプリンターをインターネット環境に接続します。

3　Epson ePOS SDK for JavaScript で作成されたアプリケーションソフトから印刷します。

本機能を使用するためには、connect メソッドを実行する際に、プリンターのホスト名を指定する必要があります。ホスト名はプリンターのシリアルナンバーを変換して生成します。
アプリケーション側では、プリンターのシリアルナンバーを入力するプログラムが必要です。
ホスト名への変換方法は、Epson ePOS SDK for JavaScript のサンプルプログラムを参照してください。

動作確認

ステータスシートを印刷すると、証明書自動更新の状態を確認できます。

```
Auto Cert Update : Enable
 Server Access   : OK
```

Auto Cert Update / 証明書自動更新の設定

- Disable：無効
- Enable：有効

Server Access / 証明書自動更新用サーバーとの直前の通信結果

- OK：通信成功
- Unknown：通信していない、または通信中
- NG(Failure)：通信失敗

NG(Failure) が印刷された場合は、以下を確認してください。

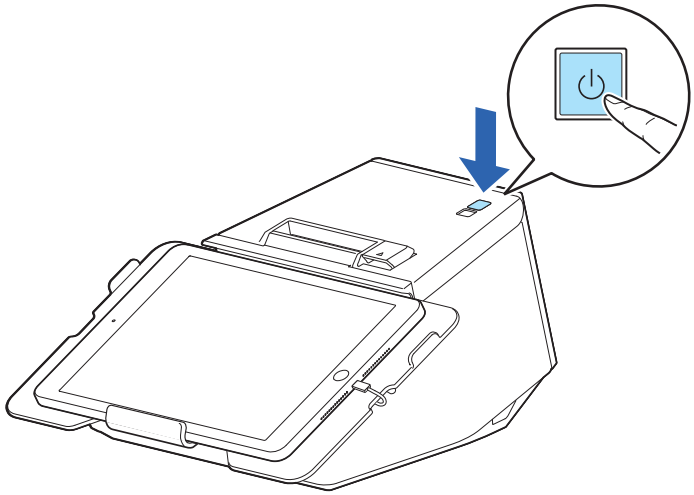
- インターネット環境に接続されていること
- 時刻設定が正しいこと

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

電源の入 / 切

パワースイッチを操作すると、プリンターの電源を入れたり切ったりできます。



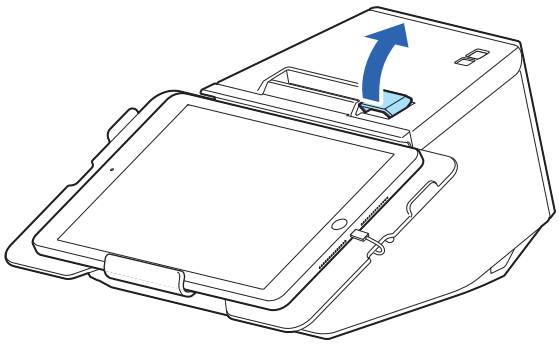
ロール紙のセット / 交換

ロール紙のセットと交換は、以下の手順に従ってください。

> 注意　必ず指定されたロール紙を使用してください。
> ☞ 139 ページ「用紙仕様」

横置き設置の場合

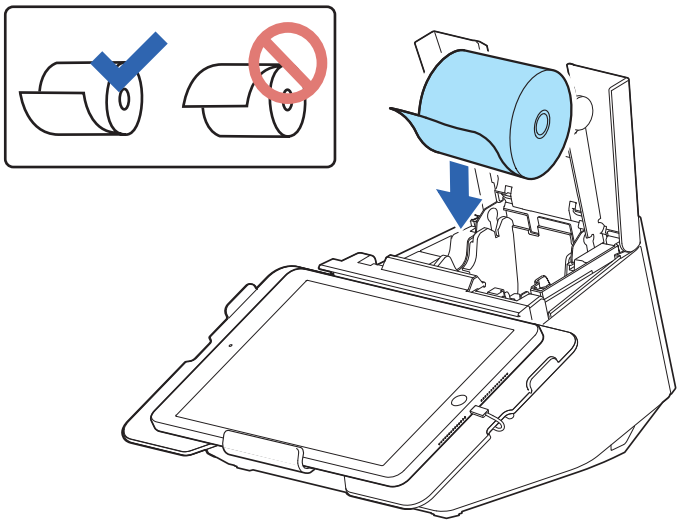
1 **ロール紙カバーを開けます。**



2 **使用済みのロール紙があれば取り出します。**

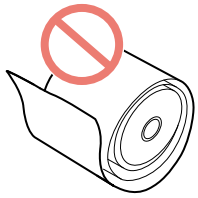
3 **ロール紙を正しい向きに入れます。**

このとき、ロール紙の手前にたるみができていないことを確認してください。もし、たるみがあった場合は、たるみをなくしてからセットしてください。



注意

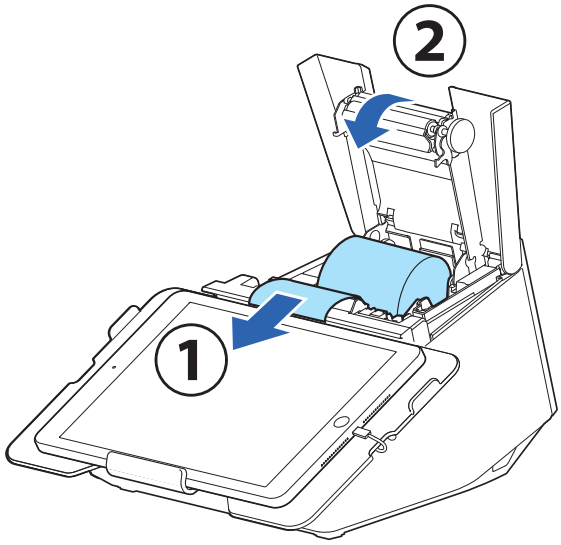
- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、ロール紙の先端を引っ張り、きつく巻き付けてからセットしてください。巻きが緩んだままセットすると、紙詰まりや印字不良の原因となります。



- 使用前にロール紙が変形していないことを確認してください。変形したものを使用すると、故障の原因となります。

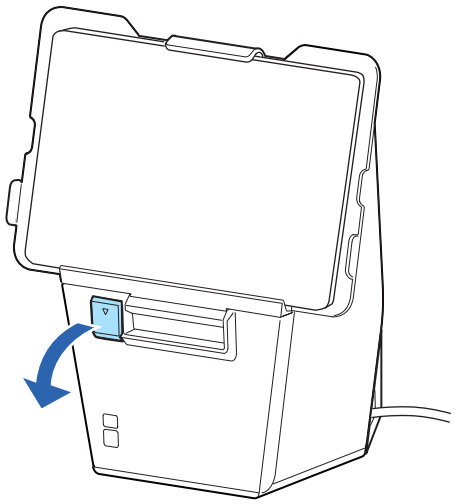
4　ロール紙の先端を少し引き出して、ロール紙カバーを閉めます。

プリンターの電源が入っている場合は、ロール紙が自動的にカットされます。



縦置き設置の場合

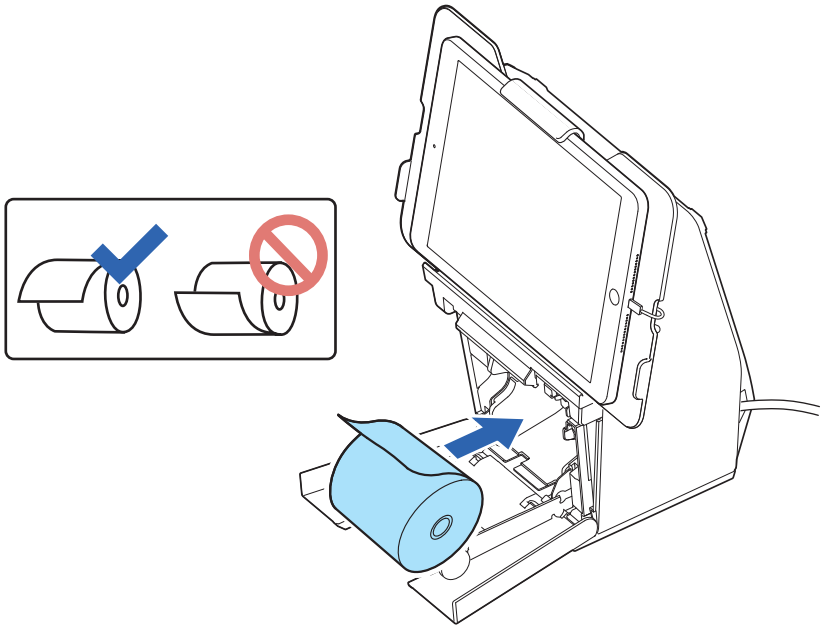
1 ロール紙カバーを開けます。



2 使用済みのロール紙があれば取り出します。

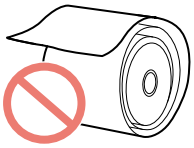
3 ロール紙を正しい向きに入れます。

このとき、ロール紙の手前にたるみができていないことを確認してください。もし、たるみがあった場合は、たるみをなくしてからセットしてください。



注意

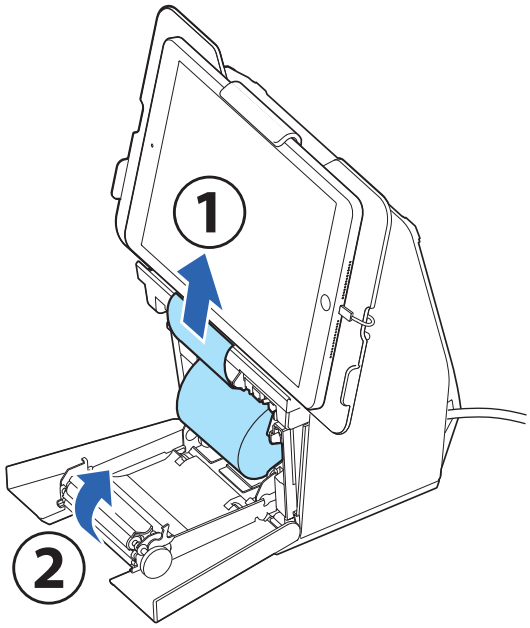
- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、ロール紙の先端を引っ張り、きつく巻き付けてからセットしてください。巻きが緩んだままセットすると、紙詰まりや印字不良の原因となります。



- 使用前にロール紙が変形していないことを確認してください。変形したものを使用すると、故障の原因となります。

4　ロール紙の先端を少し引き出して、ロール紙カバーを閉めます。

プリンターの電源が入っている場合は、ロール紙が自動的にカットされます。



プリンターの持ち方

プリンターを移動する際は、プリンター本体を持ってください。
正面タブレットや背面ディスプレイを持つと、正面タブレットや背面ディスプレイに無理な力がかかり、破損し落下する可能性があります。

プリンターの輸送

プリンターをメンテナンス、修理などで輸送する場合は、以下の処置をしてください。

- 正面タブレット、背面ディスプレイを取り外します。
- ロール紙を取り除きます。
- 横置き設置にし、上下方向を維持したまま梱包します。

ロール紙が詰まったときは

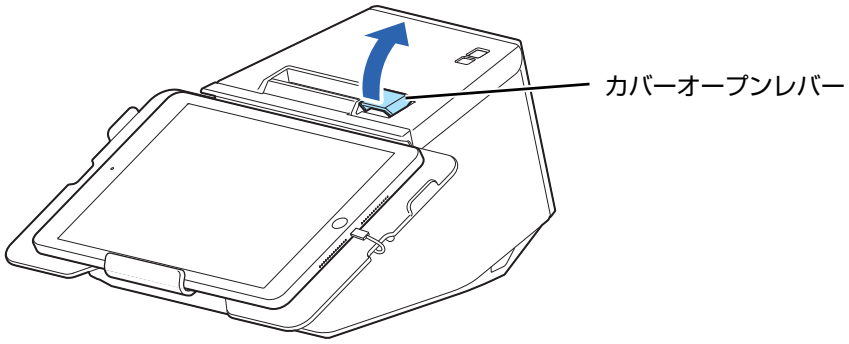
> ⚠ **注意**　サーマルヘッドとその周辺には触らないでください。印字直後は高温になっていることがあります。

> **注意**　ロール紙が詰まったときは、無理にロール紙を引き抜かないでください。

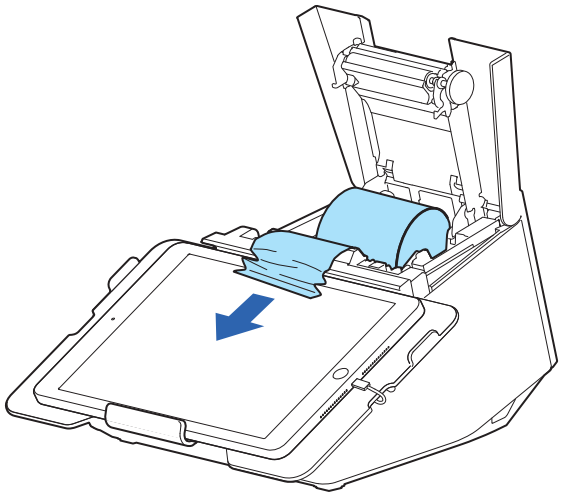
ロール紙が詰まったときは、以下の手順に従ってください。

1　**プリンターの電源を切ります。**

2　**カバーオープンレバーを操作して、ロール紙カバーを開けます。**



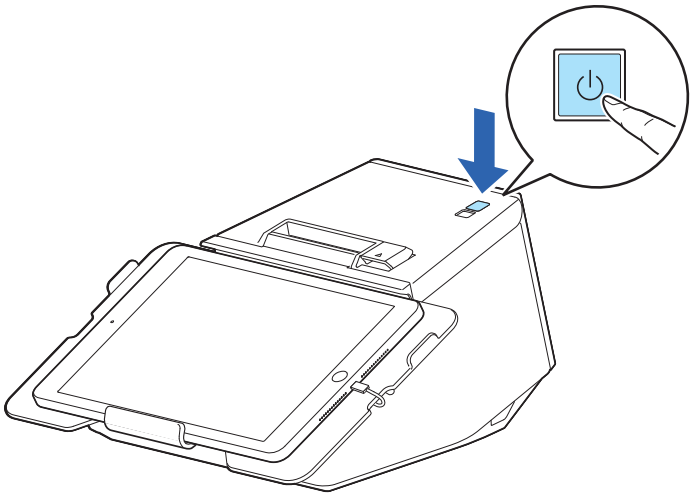
3　**詰まったロール紙を取り除きます。**



4　**ロール紙カバーを閉じます。**

ロール紙カバーが開かないときは

カバーオープンレバーを引いてもロール紙カバーが開かない場合は、電源を入れなおしてください。



プリンターのお手入れ

外装面のお手入れ

プリンターの外装面を清掃する際は、必ずプリンターの電源を切ってから、乾いた布か少し湿らせた布で汚れを拭き取ります。

注意

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- プリンターに取り付けたタブレットやディスプレイのお手入れは、それぞれの製品のマニュアルを参照してください。

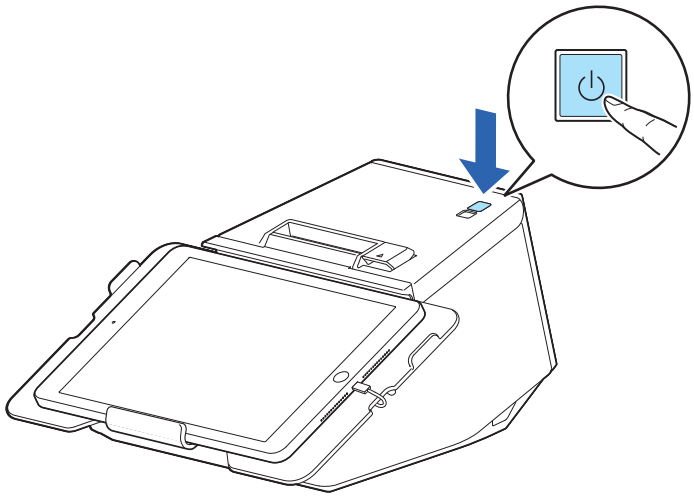
サーマルヘッド / プラテンローラーのお手入れ

印字品質を保つため、以下の手順に従って、サーマルヘッドのお手入れを行ってください。お手入れは定期的に（3カ月に1回程度）行うことをお勧めします。サーマルヘッドのお手入れには、アルコール溶剤（エタノールまたはイソプロピルアルコール）を含ませた綿棒を使用してください。
また、使用する紙によっては、プラテンローラーに付着した紙粉が紙送り不良の原因となることがあります。その場合は、軽く水を含ませた綿棒を使用して、プラテンローラーに付着した紙粉を除去してください。完全に乾いてから、電源を入れてください。

注意

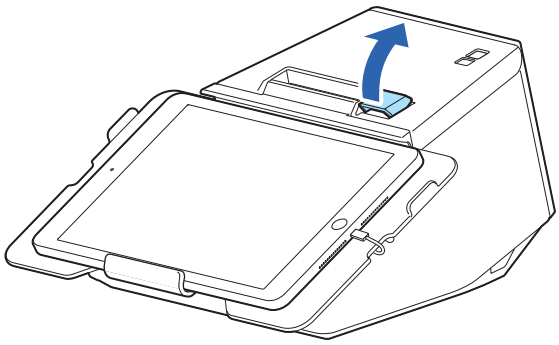
- 印字後はサーマルヘッドとその周辺は高温になっている場合があります。すぐにサーマルヘッドに触らずに、しばらく時間をおいて温度が下がるのを待ってからお手入れしてください。
- 指や硬いものでサーマルヘッドに傷を付けないようにしてください。

1　プリンターの電源を切ります。

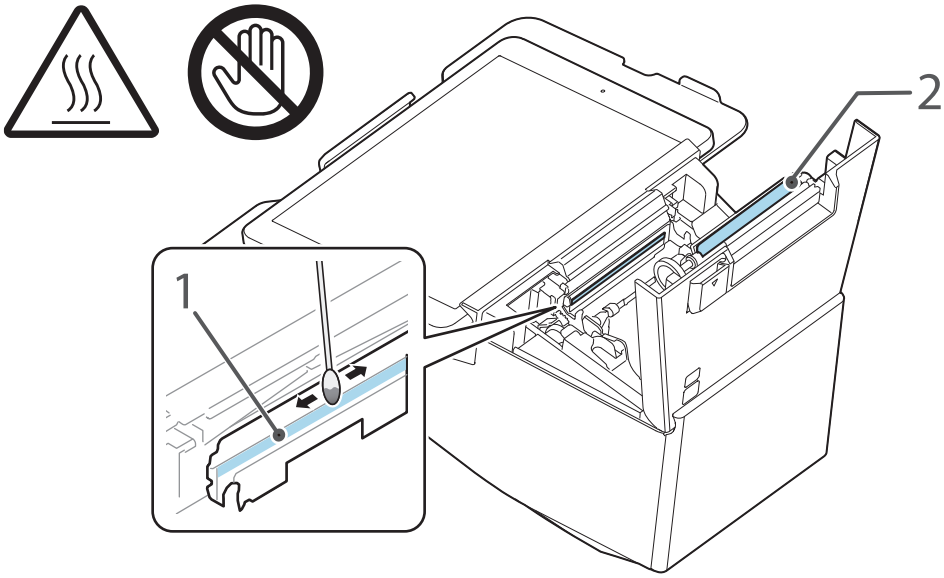


2 AC ケーブルをコンセントから抜きます。

3 ロール紙カバーを開けます。



4 サーマルヘッドはアルコール溶剤（エタノールまたはイソプロピルアルコール）を含ませた綿棒で、プラテンローラーは軽く水を含ませた綿棒で、汚れを取り除きます。



1. サーマルヘッド
2. プラテンローラー

5 AC ケーブルをコンセントに接続します。

付録

製品仕様

印字方式		ラインサーマル
紙送り方向		フリクションフィードによる 2 方向送り
紙送り速度		約 200 mm/s（紙送りボタンによる連続紙送り時）
カット形態		パーシャルカット（中央 1 点切り残し）
インターフェイス		*Bluetooth*［*Bluetooth* 3.0（EDR 対応）］ 有線 LAN［10BASE-T/100BASE-TX］ USB Type-B［USB 2.0, Full-speed（12 Mbps）］ USB Type-A［USB 2.0, Full-speed（12 Mbps）］
バッファー	受信バッファー	4 KB/45 バイト （*Bluetooth* インターフェイスは 64 KB） （USB-A Device Charging インターフェイスは 8 KB）
	ダウンロードバッファー （ダウンロードビットイメージ、ダウンロード文字）	12 KB
	NV グラフィックス格納エリア	384 KB
バーコード /2 次元シンボル印刷		UPC-A, UPC-E, JAN8 / EAN8, JAN13 / EAN13, Code39, Code93, Code128, ITF, CODABAR(NW-7), GS1-128, GS1 DataBar, PDF417, QR code, Maxi Code, Data Matrix, Aztec Code, Two-dimensional GS1 DataBar, Composite Symbology
キャッシュドロアー機能		2 ドライブ
供給電源		PS-180
消費電流（24 V 時）		1.8 A
AC 消費電力[*1] （100 ～ 230 V /50 ～ 60 Hz）	動作時	約 32.8 W
	待機時	約 1.6 W
充電用 USB コネクター（USB-A - Device Charging 端子の色：白色）	定格電流	2.1 A
	定格電圧	5.1 V
寿命[*2]	プリンターメカニズム	1700 万行（印字 + 紙送り）
	ヘッド	150 km
	オートカッター	220 万カット
MTBF[*3]		36 万時間

MCBF*4	6500 万行
温度・湿度	動作時：5 ～ 45 ℃、10 ～ 90%RH 保存時：-20 ～ 60 ℃、10 ～ 90%RH
外形寸法（W × D × H）	289 × 322 × 166 mm
質量	約 3.5 kg（AC アダプターを含む / 用紙を除く）

*1: 弊社動作条件における平均電力です。使用条件およびモデルにより異なります。
*2: 摩耗故障期に入り始めるポイントを示します。
*3: 偶発故障期における平均故障間隔を表します。
*4: 寿命に至るまでの摩耗故障、偶発故障を含めた総合的な平均故障間隔を表します。

印刷仕様

			紙幅 58 mm 設定時	紙幅 80 mm 設定時
印刷方式			ラインサーマル	
ドット密度			203×203 dpi	
印字幅	48/35 桁モード（標準桁モード）		52.5 ± 0.2 mm、420 ドット	72.0 ± 0.2 mm、576 ドット
	42/32 桁モード		52.5 ± 0.2 mm、420 ドット	68.3 ± 0.2 mm、546 ドット
印字桁数	48/35 桁モード（標準桁モード）	フォント A	35 桁 *1	48 桁 *1
		フォント B	42 桁	57 桁
		フォント C	46 桁	64 桁
		特殊フォント A	35 桁	48 桁
		特殊フォント B	46 桁	64 桁
		漢字フォント A	17 桁 *1	24 桁 *1
		漢字フォント B	日本語 ： 21 桁 韓国語 ： 26 桁	日本語 ： 28 桁 韓国語 ： 36 桁
	42/32 桁モード	フォント A	32 桁	42 桁
		フォント B	42 桁	54 桁
		フォント C	46 桁	60 桁
		特殊フォント A	35 桁	45 桁
		特殊フォント B	46 桁	60 桁
		漢字フォント A	16 桁	21 桁
		漢字フォント B	日本語 ： 21 桁 韓国語 ： 26 桁	日本語 ： 27 桁 韓国語 ： 34 桁

改行幅	3.75 mm （初期設定、コマンドにより変更可能）
最大印字速度 *2	250 mm/s*3
多階調グラフィックス印字	最大 16 階調（弊社指定紙使用時）

dpi：25.4 mm あたりのドット数（dots per inch）

*1：初期設定

*2：25 ℃、標準印字濃度の場合

*3：ラダーバーコード、2 次元シンボル、多階調グラフィックスの印刷時は最大 100 mm/s となる。

注意

- 印字速度は、プリンターへの印加電圧とヘッド温度条件により自動的に切り替わります。
- 最大印字速度よりもデータ転送速度が遅い場合、印刷速度が変動し、印字結果に影が入ったり、給紙時にドットの位置ずれを起こす場合があります。さらに、最大印字速度よりもデータ転送速度が大幅に遅い場合、印刷が断続的に途切れます。

文字仕様

文字種		ANK	英数字 95 文字
			拡張グラフィックス 128 文字 ×43 ページ（ユーザー定義ページを含む）
			国際文字 18 セット
		日本語	JIS X0208-1990 / 6,879 文字、特殊文字 /845 文字
			JIS X0213：2004 / 11,233 文字、特殊文字 /1 文字
		簡体字中国語	GB18030-2022 (Lv.2) / 28,806 文字
		繁体字中国語	Big5 / 13,502 文字
		韓国語	KSC5601 / 8,224 文字
文字コード		日本語	ISO-2022-JP / Shift_JIS / Shift_JIS-2004
		Unicode[*1]	UTF-8
文字構成	48/35 桁モード（標準桁モード）	フォント A	12×24（横 2 ドットスペースを含む）
		フォント B	10×24（横 1 ドットスペースを含む）
		フォント C	9×17（横 2 ドットスペースを含む）
		特殊フォント A	12×24（横 2 ドットスペースを含む）
		特殊フォント B	9×24（横 2 ドットスペースを含む）
		漢字フォント A	24×24
		漢字フォント B	日本語 ： 20×24 韓国語 ： 16×16
	42/32 桁モード	フォント A	13×24（横 3 ドットスペースを含む）
		フォント B	10×24（横 1 ドットスペースを含む）
		フォント C	9×17（横 2 ドットスペースを含む）
		特殊フォント A	12×24（横 2 ドットスペースを含む）
		特殊フォント B	9×24（横 2 ドットスペースを含む）
		漢字フォント A	26×24（横 2 ドットスペースを含む）
		漢字フォント B	日本語 ： 20×24 韓国語 ： 16×16

文字サイズ*2 (W × H)	フォント A	1.25×3.00 mm
	フォント B	1.13×3.00 mm
	フォント C	0.88×2.13 mm
	特殊フォント A	1.25×3.00 mm
	特殊フォント B	0.88×3.00 mm
	漢字フォント A	3.00×3.00 mm
	漢字フォント B	日本語 ： 2.50×3.00 mm 韓国語 ： 2.00×2.00 mm

*1: 製品に搭載されている文字種のみ印字可能
*2: 文字間のスペース分は含まない。64 倍角まで上記標準寸法の倍数に拡大される。
48/35 桁モード、42/32 桁モードとも文字サイズは同一。

参考

文字のエンコードを UTF-8 に指定することで、搭載しているすべての文字種の印字が可能となります。
Unicode による印字についての詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスの「FS (C」、または各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。（114 ページ「アプリケーション開発情報」）

用紙仕様

		紙幅 58 mm 設定時	紙幅 80 mm 設定時
種類		感熱紙	
形状		ロール形状	
寸法	ロール紙外径	最大外径：83 mm	
	巻芯	外径：18 mm	
	巻き上がり幅	58 + 0.5/-1.0 mm	80 + 0.5/-1.0 mm
	紙幅	57.5 ± 0.5 mm	79.5 ± 0.5 mm
	紙厚	最大 80 μm、最小 48 μm	
指定ロール紙型番		下記ウェブサイトの製品情報ページから「オプション・消耗品」を確認してください。 ☞ https://www.epson.jp/products/receiptprinter/	
指定原紙型番		TF50KS-EY、TF60KS-E（日本製紙（株）） PD160R、PD190R（王子製紙（株）） P220AGB-1（三菱製紙（株））	

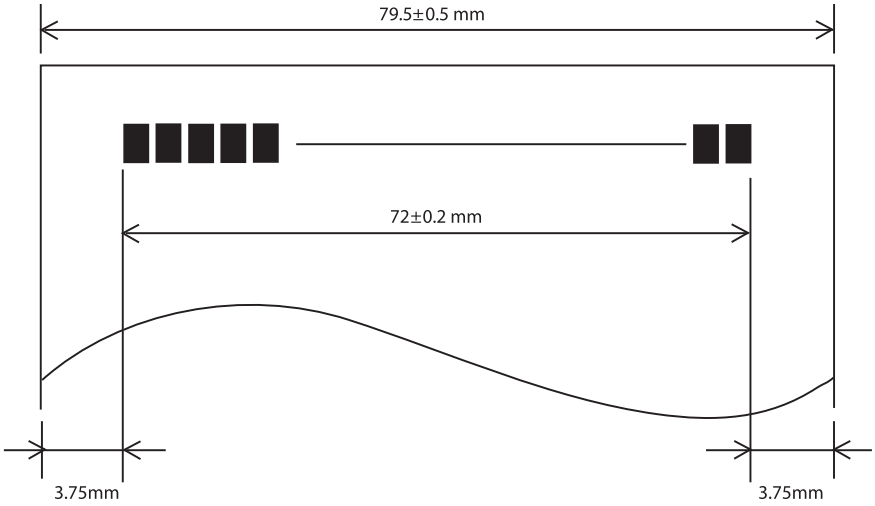
注意

- 用紙が巻き芯へ糊付けされているロール紙は使用できません。
- 印字品質を確保するため、使用するロール紙によって印字濃度の設定（81 ページ「ソフトウェア設定」参照）を変更することをお勧めします。
- 記録面へプレプリントした感熱紙の使用は避けることをおすすめします。使用すると、印刷時にサーマルヘッドが感熱紙表面に貼り付く（スティッキング）現象が発生し、印刷不良等の障害を引き起こすことがあります。また、プレプリントにより印刷濃度の低下を招くことがあります。記録面にプレプリントした感熱紙を使用する場合は、用紙メーカーが推奨する条件（インク種類／印刷条件等）に従ってプレプリントを実施し、その感熱紙にて事前に印刷不良や印刷濃度の低下等の障害がないことを確認してください。

印刷領域

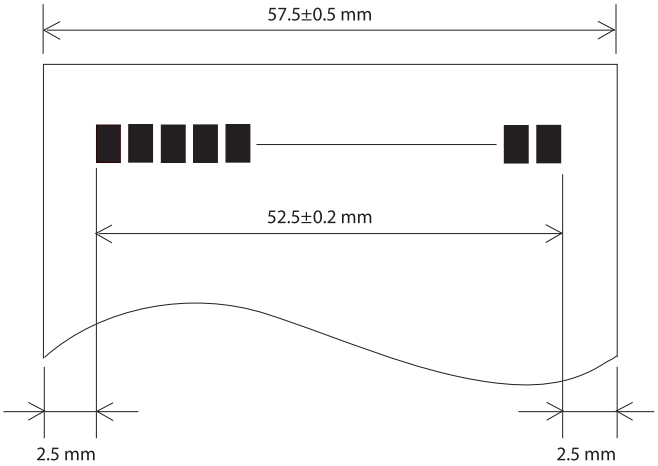
紙幅 80 mm 設定時

最大印字領域は、72.0±0.2 mm（576 ドット）の印字領域で紙幅 79.5±0.5 mm に対し、左右に約 3.75 mm のスペースがあります。

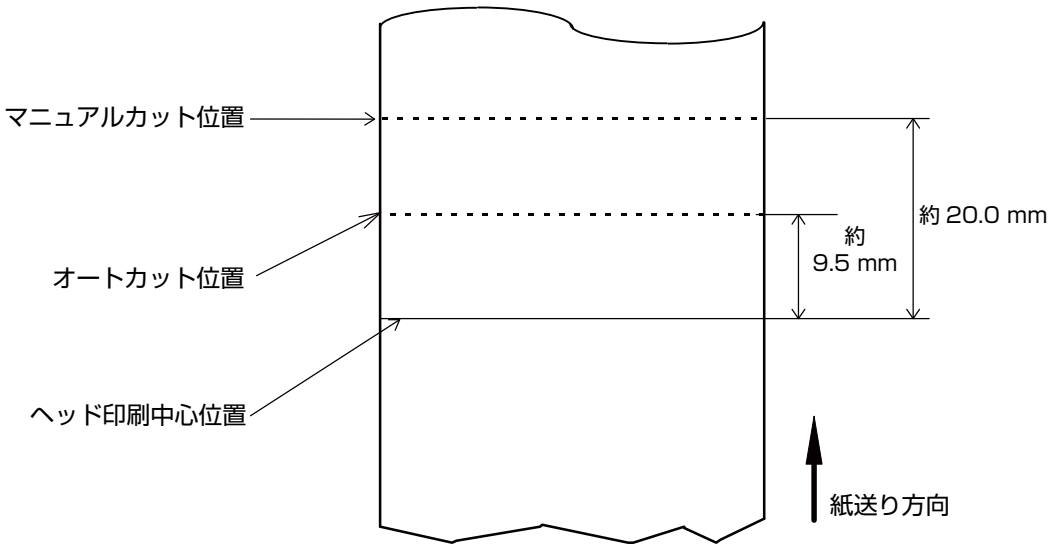


紙幅 58 mm 設定時

最大印字領域は、52.5±0.2 mm（420 ドット）の印字領域で紙幅 57.5±0.5 mm に対し、左右に約 2.5 mm のスペースがあります。



印刷位置とカッターの位置



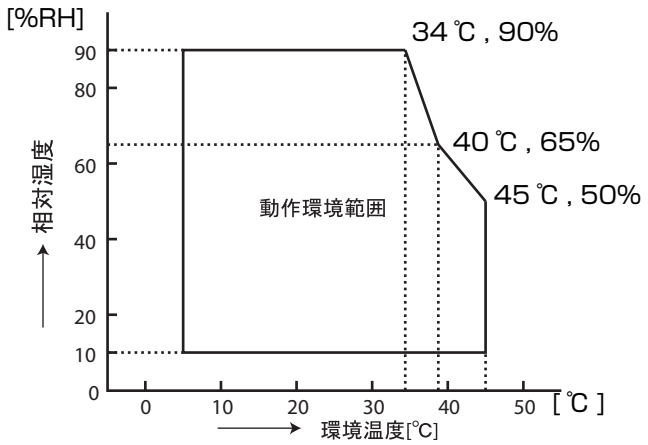
注意

- 紙の「たわみ」や「ばらつき」等があるためカッター切断位置と上記の値には差があります。カッター切断位置は余裕をもって設定してください。
- カットした紙を取る際、切り離し部で紙が引っ張られ、次の印刷のピッチが詰まることがあります。ピッチムラのない印刷のために、紙カット後に印刷を行う場合は、印刷直前に約 1 mm {16/406 インチ} の紙送りの後、印刷を行ってください。印刷開始時微小送りの機能が有効の場合は、この動作を自動的に行います。設定方法は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

電気的仕様

動作電圧		DC +24 V±7%
DC 消費電流 (24 V、25℃ 標準印字濃度の場合)	待機時	平均：約 0.1 A
	動作時	平均：約 1.8 A 注）印字率が約 18% の場合 • フォント A • 48 桁 • ASCII 文字連続 30 行 + 紙送り 5 行 + オートカット (20h ～ 7Fh の繰り返し)

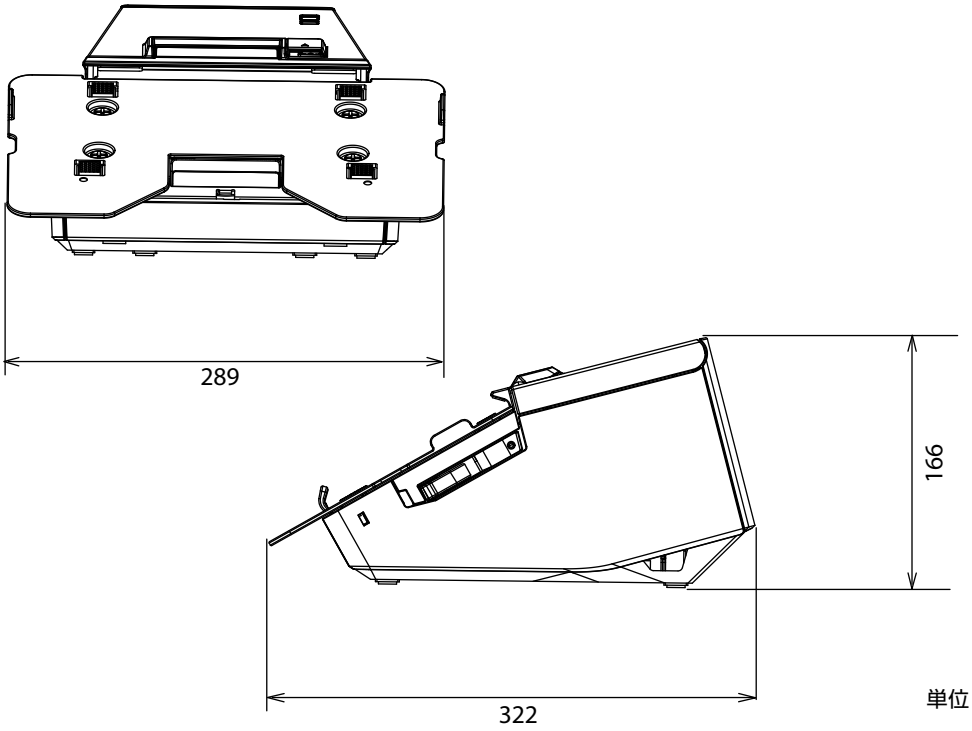
環境仕様

温度／湿度	動作時	5 ～ 45 ℃、10 ～ 90%RH 非結露（下図の動作環境範囲参照）
	保存時	-20 ～ 60 ℃、10 ～ 90%RH（用紙を除く）
		
耐振動	梱包時	周波数：周波数 : 5 ～ 55 Hz 加速度：約 19.6 m/s^2 {2 G} スイープ：10 分（片道） 時間：1 時間 方向：XYZ 加振後、外観・内部の目視および動作上の問題がないこと。
耐衝撃	梱包時	梱包仕様：エプソン標準工場出荷時梱包 高さ：60 cm 方向：1 角、3 稜、6 面 落下後、外観・内部の目視および動作上の問題がないこと。
	非梱包時	高さ：5 cm 方向：4 辺、片支持 非動作時において落下後、外観・内部の目視および動作上の問題がないこと。
騒音	動作時	約 55 dB（ANSI Bystander position） 注）上記の騒音値は、弊社評価条件による。 使用する用紙と印字内容、設定値（印字速度、印字濃度）により、騒音値は変わります。
標高		3,000 m 以下

外形図

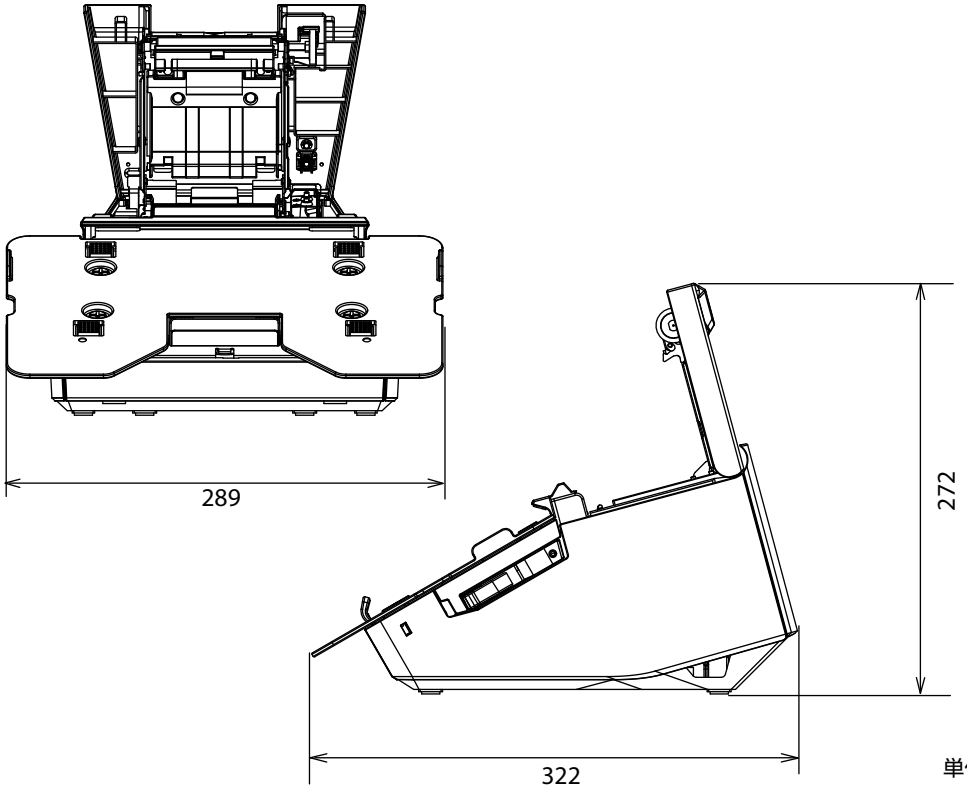
タブレットテーブル(標準)取り付け時

- ロール紙カバーが閉じた状態



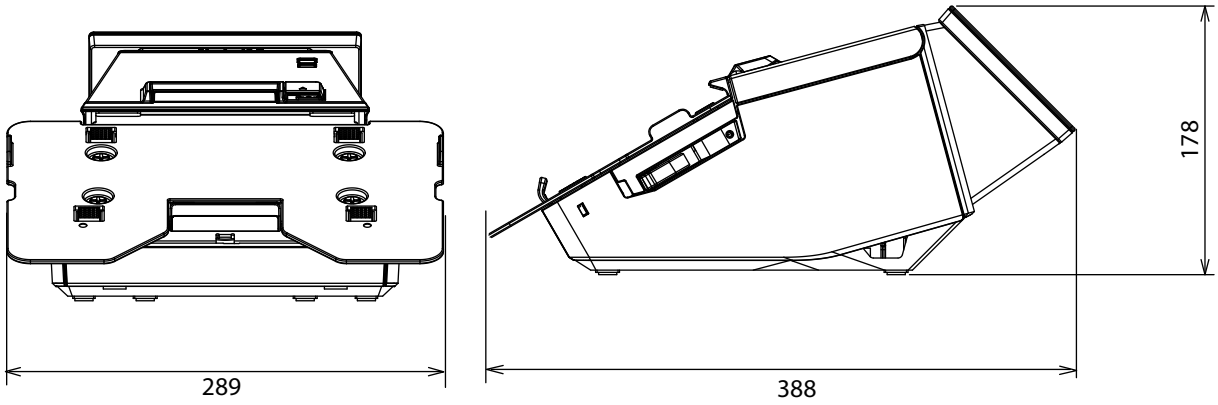
単位：mm

- ロール紙カバーが開いた状態



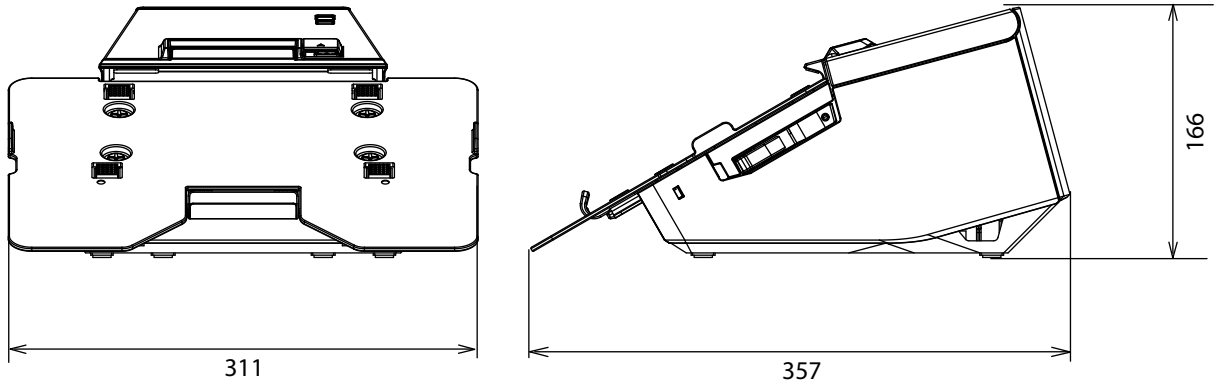
単位：mm

OT-DM30SL 装着時



単位：mm

タブレットテーブル(大)取り付け時



単位：mm

インターフェイス仕様

USB インターフェイス

USB インターフェイスコネクター

USB type-B コネクター

USB 通信仕様

USB ファンクション

項目		仕様
全体仕様		USB 2.0 互換
通信速度		Full-Speed（12 Mbps）
通信方式		USB バルク転送方式
電源仕様		USB 自己電源ファンクション
USB バス消費電流		2 mA
USB パケットサイズ（Full-Speed 接続時）	USB バルク OUT	64 bytes
	USB バルク IN	64 bytes
USB デバイスクラス		USB ベンダー定義クラスと USB プリンタークラスを切り替え可能

参考

USB デバイスクラスの設定は、81 ページ「ソフトウェア設定」を参照してください。

USB ディスクリプター

		USB ベンダー定義クラス	USB プリンタークラス
Vendor ID		04B8h	04B8h
Product ID		0202h	0E2Ah
String Descriptor	Manufacturer	EPSON	EPSON
	Product	TM-m30II-SL	TM-m30II-SL
	Serial number	製品のシリアルナンバーに基づく文字列	製品のシリアルナンバーに基づく文字列

ネットワークインターフェイス

有線 LAN インターフェイス、無線 LAN インターフェイス共通

サポートプロトコル

プロトコル	用途
IP, ARP, ICMP, UDP, TCP	基本通信プロトコル
LP, LPR, TCP Socket Port	印刷用プロトコル
HTTP/HTTPS	ePOS-Print、ePOS-Display、EpsonNet Config（Web バージョン）で使用
SNMP, ENPC	設定、監視に使用
DHCP, APIPA	IP アドレスなどの自動設定に使用

ネットワークパラメーター

項目	工場出荷時設定
IP アドレス取得	自動
APIPA	無効
arp/ping	無効
Socket Timeout	90 （秒）
コミュニティー名 1 (Read Only)	"public"
コミュニティー名 2 (Read/Write)	なし
SNMP IP Trap 1	無効
SNMP IP Trap 2	無効
通信モード	オートネゴシエーション

印刷用通信プロトコル

- LP, LPR　　：印刷データの転送を行います。
- TCP Socket Port　：双方向のダイレクトソケット通信によって印刷データおよびプリンターステータスの転送を行います。

LP, LPR

- 最大同時接続数　：6
- 印刷可能接続数　：1（他のユーザーは接続が解放されるまで待機）
- タイムアウト　　：90 秒（変更可能）
- ジョブの削除　　：対応しません
- バナー印刷　　：対応しません

ソケット通信

- ポート種類　　：ダイレクトな印刷用 TCP 通信ポート

- ポート番号　　：9100
- ポート通信方向　：双方向
- 最大同時接続数　：6
- 印刷可能接続数　：1（他のユーザーは接続が解放されるまで待機）
- タイムアウト　　：90 秒（変更可能）

有線 LAN インターフェイス

通信仕様

10BASE-T/100BASE-TX

無線 LAN インターフェイス(OT-WL05/OT-WL06 使用時)

参考

- 無線LANを使用する場合にはLANケーブルを抜いてください。LANケーブルが接続されていると無線 LAN が無効になります。
- OT-WL05 はファームウェアバージョン 03.03B ESC/POS 以降で使用できます。ファームウェアのアップデートは、Windows コンピューターの場合は TM-m30II ファーム ウェア アップデーターから、スマートデバイスの場合は Epson TM Utility から行うことがで きます。詳細は、118 ページ「ユーティリティー」を参照してください。

仕様

- IEEE802.11a/b/g/n/ac（2.4 GHz 帯または 5 GHz 帯）に準拠しています。
- IP アドレス自動取得機能（DHCP、APIPA）をサポートしています。
- インフラストラクチャーモードおよび 802.11 アドホックモード * をサポートしています。
  * OT-WL06 はアドホックモード非対応です。

適合規格

OT-WL05 使用時 :

- IEEE802.11b（2.4 GHz）
- IEEE802.11g（2.4 GHz）
- IEEE802.11n（2.4 GHz）
- IEEE802.11a（5 GHz）
- IEEE802.11n（5 GHz）

OT-WL06 使用時 :

- IEEE802.11b（2.4 GHz）
- IEEE802.11g（2.4 GHz）
- IEEE802.11n（2.4 GHz）
- IEEE802.11a（5 GHz）
- IEEE802.11n（5 GHz）
- IEEE802.11ac（5 GHz）

セキュリティー

- WEP*
- WPA-PSK(AES)
- WPA2-Personal
- WPA2-Enterprise

  * OT-WL06 は WEP 非対応です。

初期設定

インターフェイス設定モードで初期化するとこの設定になります。

パラメーター	設定値
Communication standard	802.11b/g/n
Network mode	Infrastructure mode
SSID	EPSON_Printer
Encryption type	WPA2-Personal
Passphrase	EpsonNet
IP アドレス	DHCP による自動取得

※上記の設定で WPA2-PSK（AES）のアクセスポイントにも接続可能。

SimpleAP モード時の設定(工場出荷時の設定)

パラメーター	設定値
SSID	EPSON_Printer
Passphrase	12345678
IP アドレス	192.168.192.168
サブネットマスク	255.255.255.0

※SimpleAP モードでは DHCP サーバーが動作しており、ホストに自動的に IP アドレスを割り当てます。

Wi-Fi 使用時の注意

- キッチンの電子レンジなど、電波干渉を発生させる機器から、できるだけ離して設置してください。
- 電波干渉を発生する周波数帯から離れたチャンネルをご使用ください。
- 電波干渉を発生させる機器と本製品の間に、遮へい板を設置してください。
- 干渉が発生しない周波数帯、2.4 GHz または 5 GHz のどちらかをご使用ください。
- アクセスポイントのオートチャンネル設定時、機器が電波干渉を発生するチャンネルにならないようにご注意ください。

Wi-Fi 接続に関する注意

本製品はすべての Wi-Fi 機器との接続動作を確認したものではなく、すべての Wi-Fi 機器との動作を保証するものではありません。特にアドホックモードにおいては、接続する機器との組み合わせにより、正常に接続できない場合があります。事前に十分な確認、評価を行った上でご使用ください。

使用上の注意

- プリンターの設定を初期化または変更した時は、変更内容を反映するためプリンターがリセットされます。ネットワーク設定や環境により、変更内容が反映されるまで約 1 分かかります。また、リセットされるまでの間、アプリケーションが電源オフを表示する場合があります。その場合は、約 1 分待ってから再度プリンターと接続してください。
- Wi-Fi 通信が混雑しているところでは、アプリケーションが通信が切断されたと誤認識し、応答遅延のため電源オフを表示する場合があります。その場合は、[Power Save] を無効にし問題を改善してください。

Bluetooth インターフェイス

仕様

- *Bluetooth* 3.0（EDR 対応）
- *Bluetooth* Power Class 2
- アンテナ内蔵
- パスキーの設定が可能
- デバイス名の設定が可能
- ペアリング情報 最大保持数：8

工場初期設定

設定内容	設定項目	工場出荷時設定
Bluetooth 通信設定	*Bluetooth* passkey	"0000"
	Bluetooth device name	"TM-m30II-SL_xxxxxx" （xxxxxx はシリアル No. の下 6 桁の数値）
	Bundle Seed ID	"TXAEAV5RN4"
	iOS 搭載機器との自動再接続 有効･無効	"1"（有効）
	Bluetooth セキュリティー	Middle（中）
	Bluetooth 省電力モード時の通信間隔	Level 1（通常）

対応 iOS 機器

対応 iOS 機器については、下記ウェブサイトを参照してください。
☞ https://www.epson.jp/support/taiou/shuhen/sd/tm_bluetooth_ios.htm

自動再接続機能

自動再接続機能とは、iOS 搭載機器との *Bluetooth* 接続が切れたときに、プリンターが自発的に接続を復元しようとする機能で、以下の場合に自動で再接続を行います。

- プリンターの電源オン時
- 一旦悪化した電波状態が回復したとき

自動再接続機能を有効または無効に設定したときの、プリンターの動作および接続方法は以下のとおりです。

自動再接続機能	有効	無効
Bluetooth 非接続時のプリンターの動作	以下の再接続シーケンスを行います。 【再接続シーケンス】 1. 最後に接続していた iOS 搭載機器への接続を試みます。 2. 手順 1 の試行が失敗した場合、他の機器からの接続を待ちます。 3. 手順 2 で接続しなかった場合、再び最後に接続していた iOS 搭載機器への接続を試みます。 接続が完了するまで手順 1 と 2 を繰り返します。	*Bluetooth* 搭載機器からの接続を待ちます。
iOS 搭載機器との再接続	自動的に再接続します。	iOS 搭載機器の *Bluetooth* 設定画面を操作して再接続します。
別機器への接続の切り替え	方法 1: 接続中の iOS 搭載機器の *Bluetooth* 機能を無効にした後、接続したい *Bluetooth* 搭載機器を操作して接続します。 (自動再接続が有効の場合、接続まで時間がかかる場合があります。)	
	方法 2: 接続中の iOS 搭載機器から、TM Utility または Epson ePOS SDK の切断機能を搭載したアプリを使用して接続を切断した後、接続したい *Bluetooth* 搭載機器を操作して接続します。	

※ 以下の場合は、有効に設定されていても無効時と同じ動作をします。
・最後に接続した *Bluetooth* 搭載機器が iOS 搭載機器ではない場合
・プリンターの操作で無線通信設定初期化を実行した場合
・Epson TM Utility の「プリンター選択」画面で *Bluetooth* 接続を切断した場合
・Epson ePOS SDK for iOS の disconnectDevice API を使用して *Bluetooth* 接続を切断した場合

※ iOS 搭載機器以外からプリンターを使用する場合は、本機能を無効にすることをおすすめします。接続に時間がかかる場合があります。

※ 複数の iOS 搭載機器でプリンター 1 台を共有する場合は、意図しない *Bluetooth* 通信の再接続を防ぐために、本機能を無効にしてお使いください。プリンターの使用を終了した iOS 搭載機器で disconnectDevice API を使用して *Bluetooth* 接続を切断しても、プリンターを再起動すると接続を復元してしまいます。

※ 自動再接続機能の設定は、100 ページ「インターフェイス設定モード」を参照してください。

使用上の注意

印字開始までの時間について

ホストコンピューターとプリンターとの無線接続を維持するのではなく、印字を開始する際に都度接続を行う場合は、ホストコンピューターが印字開始を指示してから実際にプリンターが印字するまでに時間がかかる場合があります。これは、ホストコンピューターとプリンターとの間で、接続のための処理を行う時間が必要なためです。
ポートオープンからデータ送信までの時間は、300 msec 以上の間隔を空けてください。

コネクションの切断タイミングについて

ホストコンピューターのアプリケーションからのデータ転送がすでに終了している場合でも、プリンター内部のバッファーにデータが残っている場合があります。コネクション切断時に、バッファーに残っているデータは破棄されることがあるため、印字を行う際や無線のコネクションを切断する際には、送信したデータが確実に印刷されたことを、ステータスなどを利用して確認してください。

プリンターがオフラインのときに無線接続が終了すると、再接続できない場合があります。このような場合は、オフラインの原因を解除し再接続してください。

多階調印字について

Bluetooth 通信で多階調印字を行うと、データ転送条件によっては印字速度変動や間欠印字が発生し、印字濃淡や白スジが発生する場合があります。

Wi-Fi の電波干渉について

周波数帯 2.4 GHz の場合、*Bluetooth* 通信と干渉することがあります。オプションの無線 LAN ケーブルセットを 2.4 GHz で使用した場合、*Bluetooth* 通信または印刷を妨害することがあります。*Bluetooth* と Wi-Fi を同時に使う場合、5 GHz の使用を推奨します。

Android 搭載機器との通信について

- Android 2.3 および 2.3.2 とは接続できません。
- Android 2.3.3 以降との接続は、Insecure 接続で通信してください。
- データ通信目的で、USB コネクター（USB-A - Device Charging）に Android 端末を接続する場合、下記の条件を満たしていることをご確認ください。
  条件：Android OS バージョン 10 以上、かつカーネルバージョン 4.9.15 以上であること
  ただし、条件を満たしている端末においても動作を保証するものではありません。動作を確認のうえご使用ください。

iOS 搭載機器との通信について

印字データの削除と、*Bluetooth* 接続の切断が発生する

現象

iOS 搭載機器の仕様によっては、プリンターに送信した印字データが削除されることがあります。本現象が発生した場合は、プリンターと iOS 搭載機器の *Bluetooth* 接続も切断されます。

発生条件

プリンターが印刷できない状態のときに、プリンターに 64 KB 以上の印字データを送信した場合に現象が発生します。

＜プリンターが印刷できない状態＞
- ロール紙カバーが開いている
- 用紙なし

対応方法
プリンターが印刷できない状態で、プリンターにデータを送信しないでください。
エプソンが提供している SDK を使用しているお客様は SDK のユーザーズマニュアル 第 3 章 プログラミングガイドの「プリンターの状態を確認してから印刷する」を参照してください。
本現象が発生すると *Bluetooth* 接続が切断されてしまうため、自動再接続機能を無効で使用している場合は、iOS 搭載機器の *Bluetooth* 設定画面から再接続を行ってください。
エプソンが提供している SDK を使用している場合はこの接続処理は必要ありません。

プリンターが送信したデータを iOS アプリケーションが受信できない

現象
プリンターが iOS 搭載機器にデータを送信したとき、iOS バージョンと iOS 搭載機器の組み合わせによっては、iOS 搭載機器がデータを受信しているにもかかわらず、iOS アプリケーションがデータを受信できないことがあります。

発生条件
以下の条件の組み合わせで発生する可能性があります。
- iOS バージョン：7.1, 7.1.1
- iOS 搭載機器：iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPad Air、iPad mini 3、iPad (4th generation)、iPad mini、iPod touch (5th generation)、iPhone 4s、iPhone 4、iPad (3rd generation)、iPad 2
- アプリケーションの処理：アプリケーション実行中に *Bluetooth* ポートをクローズし、再度オープンした場合。

対応方法
お使いの iOS 搭載機器の種類により対応方法が異なります。下表を参照してください。

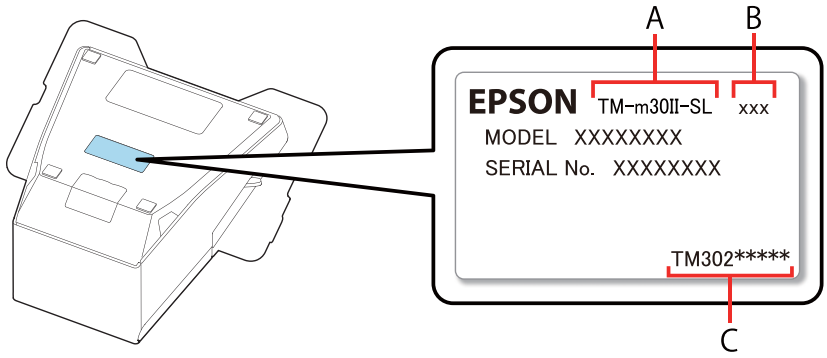
iOS 搭載機器	対応方法
• iPhone 4s • iPhone 4 • iPad（3rd generation） • iPad 2	Epson ePOS SDK for iOS を使用することで回避できます。

文字コード表

文字コード表については、下記 URL からアクセスできる「TM プリンター 文字コード表」を参照してください。
☞ https://www.epson-biz.com/pos/reference_ja/

モデルの識別方法

製品背面に貼ってある製造銘板の C 部の型番（下図参照）が、TM302-SLW または TM302-SLB であればバックフィード時に用紙を押さえる機構を搭載しています。



A：製品名
B：モデル番号
C：製品型番